

③

令和2年度 重点事業の概要



令和2年2月18日



目 次

1	5大構想	1
	(1) 歴史文化の拠点づくり	2
	(2) 海洋文化の拠点づくり	4
	(3) 教育文化の拠点づくり	6
	(4) 「健康長寿のまち」の推進	8
	(5) 「まちは劇場」の推進	10
2	人口活力の維持対策	13
3	アセットマネジメント	17
4	災害対策	21
5	局別の主要事業	
	(1)総務局	25
	(2)企画局	33
	(3)市民局	47
	(4)区役所	59
	(5)観光交流文化局	67
	(6)環境局	93
	(7)保健福祉長寿局	99
	(8)子ども未来局	115
	(9)経済局	127
	(10)都市局	157
	(11)建設局	179
	(12)消防局	193
	(13)上下水道局	201
	(14)教育局	207

令和2年度当初予算(案) 局別の主要事業 目 次

1 総務局	25
(1) 津波避難施設整備事業	28
(2) 同報無線デジタル化整備に係る情報伝達手段検討事業	29
(3) 防災情報共有システム整備事業	30
(4) 戦略広報の推進	31
(5) 働き方改革推進事業	32
2 企画局	33
(1) アリーナ誘致(関連調査)事業	36
(2) リニア中央新幹線開業後の静岡市のまちづくりに係る研究事業	37
(3) 新清水庁舎整備事業	38
(4) 静岡大学将来構想協議会の運営	39
(5) (仮称)駿河学びのまちづくりグランドデザイン策定事業	40
(6) 東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業	41
(7) SDGs推進事業	42
(8) テレワーカー移住促進事業	43
(9) 交流人口の増加策(しずおか中部連携中枢都市圏事業)	44
(10) 新幹線通学費貸与事業	46
3 市民局	47
(1) ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業	50
(2) 「市民活動支援システム」活用推進事業	51
(3) 「静岡シチズンカレッジ コ・コ・に」推進事業	52
(4) 生涯学習施設建設及び改修事業	53
(5) しずおか女子きらっ☆プロジェクト	54
(6) LGBTフレンドリー推進事業	55
(7) 地域の自主防犯力強化事業	56
(8) 高齢運転者の安全運転支援事業	57
(9) 消費者行政強化促進事業	58
4 区役所	59
(1) 葵区役所	60
(2) 駿河区役所	62
(3) 清水区役所	64
5 観光交流文化局	67
(1) 駿府城公園お堀の水辺(葵舟)活用事業	70
(2) 今川義元公生誕五百年祭推進事業	71
(3) 東海道歴史街道まち歩き推進事業(誘客促進事業)	72
(4) 東海道歴史街道まち歩き推進事業(受入環境整備)	73
(5) 東海道歴史街道まち歩き推進事業(中部5市2街連携「街道観光」推進事業)	74

(6) 駿河湾フェリー運航支援事業	75
(7) 地域連携DMO推進事業	76
(8) ナイトツーリズム推進事業	77
(9) 駿府城跡天守台野外展示事業	78
(10) 駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	79
(11) 歴史文化施設建設事業	80
(12) 歴史文化施設プレ事業	81
(13) 三保松原保全活用事業	82
(14) 「まちは劇場」推進事業	83
(15) 賑わい創出イベント	84
(16) 市民参加型舞台公演事業	88
(17) 静岡市民文化会館基本計画等策定事業	89
(18) 清水エスパルス応援機運醸成事業	90
(19) オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	91
(20) 野球を活かしたまちづくり推進事業	92

6 環境局 93

(1) 地球温暖化対策普及啓発事業	96
(2) 静岡型水素タウン促進事業	97
(3) 沼上清掃工場基幹改修事業	98

7 保健福祉長寿局 99

(1) 認知症ケア推進体制整備事業	102
(2) 「自宅でずっと」在宅医療・介護連携推進事業	103
(3) 地域包括支援センター運営事業	104
(4) 生活支援体制整備事業	105
(5) 市民参加型フレイル予防プロジェクト	106
(6) 成年後見制度利用促進事業	107
(7) 生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業	108
(8) 高齢者就労促進事業	109
(9) がん検診事業	110
(10) 特定健康診査受診率向上対策事業	111
(11) 元気いきいき！シニアサポーター事業	112
(12) 「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業(しぞ〜かでん伝体操)	113
(13) がん患者支援事業費助成	114

8 子ども未来局 115

(1) 産婦健康診査事業	118
(2) 産後ケア事業／ママケアデイサービス事業	119
(3) 幼児期の教育・保育の施設整備	120
(4) 発達早期支援事業	121
(5) 放課後児童クラブの整備・運営	122
(6) 結婚新生活支援事業費助成	123
(7) 里親支援事業	124

(8) 子どもの貧困対策の推進	125
(9) ひきこもり対策推進事業	126

9 経済局 127

(1) 海洋・地球総合ミュージアムプレ事業	130
(2) 海洋・地球総合ミュージアム整備事業	131
(3) 清水港港湾整備事業費負担金	132
(4) 清水港線跡遊歩道整備事業	133
(5) 海洋産業クラスター創造事業	134
(6) 清水港客船誘致委員会負担金	135
(7) 外国人観光客誘致促進事業(インバウンド対策)	136
(8) シニア等の外部人材による中小企業支援	137
(9) 中小企業の課題解決による成長の促進	138
(10) プレミアムフライデー推進事業	139
(11) 若者の地元就職・UIJターン就職促進事業	140
(12) 企業立地用地開発推進事業	141
(13) 企業立地促進事業費助成	142
(14) 首都圏シティプロモーション推進事業・WeWorkを活用した首都圏プロモーション支援等事業	143
(15) 「静岡市プラモデル化計画」推進事業	144
(16) 清水港後背地における地域経済の活性化検討事業	145
(17) 圏域経済拡大支援事業	146
(18) 荒廃農地再生・集積促進事業費助成	147
(19) 茶産地総合対策事業費助成	148
(20) 認定農業者・新規就農者育成支援事業費助成	149
(21) 農地基盤整備事業(県単独農業農村整備調査費負担金・非農用地活用検討事業)	150
(22) 海岸保全施設(胸壁)整備事業	151
(23) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における「お茶のまち静岡市」プロモーション事業	152
(24) しずまえ鮮魚普及事業	153
(25) オクシズプロモーション事業	154
(26) オクシズの森林整備・地域材活用促進事業	155
(27) オクシズ生活拠点形成事業	156

10 都市局 157

(1) 静岡都心地区まちなか再生事業	160
(2) 静岡型MaaS推進事業	161
(3) 地域交通弱者対策事業費助成	162
(4) (仮称)追分大坪駅設置概略検討事業	163
(5) 自転車利用計画推進事業	164
(6) 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業	165
(7) 大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業	166
(8) 草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	167
(9) JR草薙駅北口駐輪場整備事業	168
(10) 静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	169
(11) 鯨ヶ池周辺地区保全活用事業	170

(12) 麻機遊水地関連事業	171
(13) 日本平公園整備事業	172
(14) 要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成	173
(15) 要緊急安全確認大規模建築物耐震対策事業費助成	174
(16) 建物の耐震化事業費助成	175
(17) ブロック塀等耐震改修事業費助成	176
(18) 狭あい道路拡幅整備事業	177
(19) 空き家情報バンク登録・活用事業	178

11 建設局 179

(1) 道路ネットワークの整備	182
(2) (市)羽衣海岸線、(都)清水港三保線の整備事業	184
(3) 道の駅整備事業	185
(4) 交通安全施設整備事業(自転車走行空間の整備)	186
(5) 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修)	187
(6) 河川構造物耐震・津波対策事業	188
(7) 道路自然災害防除事業(法面对策)	189
(8) 急傾斜地崩壊対策事業	190
(9) 地籍調査事業	191
(10) 女性技術者活躍推進事業	192

12 消防局 193

(1) 消防自動車等整備事業	196
(2) 消防庁舎施設保全事業	197
(3) 消防団施設整備事業	198
(4) 消防総合情報システム・消防救急デジタル無線部分更新事業	199
(5) 消防団員確保対策事業	200

13 上下水道局 201

(1) 浸水対策推進プラン	204
(2) 水道管路更新事業	205

14 教育局 207

(1) 静岡市型35人学級編制の完全実施(下限撤廃)	210
(2) 特別支援教育の推進	211
(3) 小中学校校舎大規模改修・小中学校校舎トイレリフレッシュ事業	212
(4) 英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト(グローバル人材の育成)	213
(5) 総合的な不登校対策推進事業	214
(6) 高校生、短大生、大学生等に対する奨学金貸付事業	215
(7) 日本一おいしい学校給食の提供事業	216
(8) 学校図書館の充実	217

5 大 構 想

1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

【目標】

徳川家康公が晩年暮らした駿府城公園周辺の魅力を高める取組を通じて、来街者の増加による地域経済の活性化を図るとともに、大御所が愛した「平和都市・静岡」を世界に向けてアピールする。

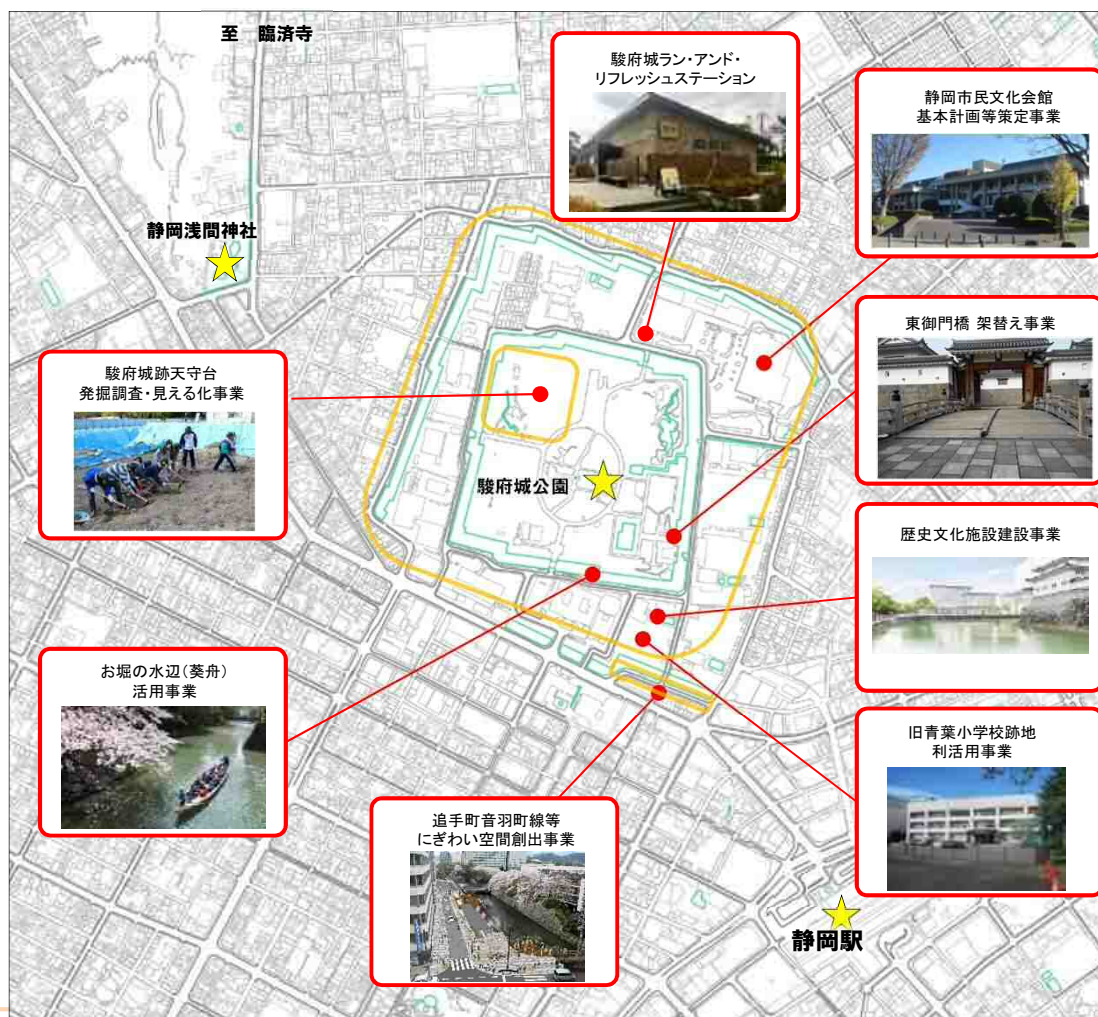
【方針】

① 歴史文化の伝承と新たな魅力の創出による風格ある街並みの形成

駿府城公園や浅間神社などの**歴史的資源**をみがきあげ、歴史を感じる空間を創ることにより、駿府城公園周辺エリアのブランド力を高め、静岡都心への**集客力**を高める。

② 駿府城公園周辺における賑わいと潤いのある新たな公共空間の創造

駿府城公園などの**歴史的施設**で、公共空間を活用した、地域資産の魅力を向上させる取組を行うことにより、市民の静岡都心への誇りと愛着を高め、「**まちなかライフ**」の楽しさを演出する。



1 歴史文化の拠点づくり【静岡都心】

令和2年度 主要事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設建設事業	ハード	604,483	80
2	観光交流文化局	文化振興課	継続	静岡市民文化会館基本計画等策定事業	ハード	30,000	89
3	観光交流文化局	歴史文化課	拡充	駿府城跡天守台野外展示事業	ハード	25,000	78
4	観光交流文化局 都市局	観光・MICE推進課 緑地政策課	拡充	駿府城公園お堀の水辺(葵舟)活用事業	ハード ソフト	38,694	70
5	観光交流文化局	観光・MICE推進課 歴史文化課	拡充	今川義元公生誕五百年祭推進事業	ハード ソフト	10,120	71
6	観光交流文化局	歴史文化課	継続	歴史文化施設プレ事業	ソフト	5,219	81
7	観光交流文化局 都市局	歴史文化課 公園整備課	継続	駿府城跡天守台発掘調査・見える化事業	ハード ソフト	16,203	79
8	観光交流文化局	文化財課	継続	駿府九十六ヶ町 町名碑設置事業	ソフト	2,460	-
9	観光交流文化局	文化振興課	継続	第79期A級順位戦最終局開催事業	ソフト	7,000	-
10	観光交流文化局	歴史文化課	継続	朝鮮通信使発信・交流事業	ソフト	8,333	-
11	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	東海道歴史街道まち歩き推進事業	ソフト	19,609	72 73
12	企画局	アセットマネジメント 推進課	継続	旧青葉小学校跡地利活用推進事業	ハード	188	-
計						767,309	

2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

【目標】

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を図り、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成にも取り組むことで、国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現を目指す。

【方針】

①産学民官の連携による「海洋文化拠点」の形成

大学等の研究機関や周辺企業等との連携を深め、新たな海洋産業の振興や海洋人材の育成を図るとともに、海洋・地球に関する総合的な展示施設である「(仮称)海洋・地球総合ミュージアム」を整備し、この施設が国際海洋文化都市のシンボル施設となることを目指す。

②「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた求心力の強い港町の創生

清水都心ウォーターフロント地区において、民間活力を引き出すような観光の基盤整備や、わくわくドキドキを肌で感じるような多彩な賑わいづくりの施策を進めるとともに、地震や津波に備えた災害対策を推進する。



2 海洋文化の拠点づくり【清水都心】

令和2年度 主要事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	経済局	海洋文化都市 推進本部	拡充	海洋・地球総合ミュージアム整備事業	ハード	11,062	131
2	企画局	アセットマネジメント 推進課	拡充	新清水庁舎整備事業	ハード	65,777	38
3	経済局	海洋文化都市 推進本部	拡充	清水港客船誘致委員会負担金	ソフト	70,340	135
4	経済局	海洋文化都市 推進本部	新規	清水港線跡遊歩道整備事業	ハード	105,350	133
5	観光交流文化局	観光・MICE推進課	継続	駿河湾フェリー運航支援事業	ソフト	25,800	75
6	経済局	海洋文化都市 推進本部	新規	海洋・地球総合ミュージアムプレ事業	ソフト	3,300	130
7	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港海づり公園整備事業	ハード	153,442	-
8	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港港湾整備事業費負担金	ハード	371,709	132
9	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港ウォーターフロント活性化推進事業 (光の景観まちづくり、フリトラ市の開催、WF 地区デザイン提案検討)	ソフト	20,190	-
10	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	清水港まぐろ活用推進事業	ソフト	1,900	-
11	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	みなとオアシス運営事業	ソフト	2,439	-
12	経済局	海洋文化都市 推進本部	継続	海洋産業クラスター創造事業	ソフト	17,200	134
13	経済局	商業労政課	継続	商店街の外国人観光客対応促進事業	ソフト	1,871	136
計						850,380	

3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

【目標】

JR東静岡・草薙駅周辺地区に、すべての人が質の高い教育を受けることのできる機会を創出し、地域経済の活性化を図るとともに、多くの若者が集まり、交流が生まれるまちを目指す。

【方針】

①教育文化の薫りが漂う都市空間の創造

文化スポーツの殿堂の整備を目指す東静岡地区と、大学や図書館、美術館などが集積し、文教エリアとしての特性を有する草薙地区に、教育文化の新たな価値を創造し、地域経済の活性化を果たす。

②高等教育を始めとした学習機会の提供とシチズンシップに富んだ人材の養成

多様な高等教育を始め、生涯にわたって学習できる機会を充実させるとともに、積極的にまちづくりに関わろうとする公共意識を持った人材の養成や、市民参画を促す施策を進める。

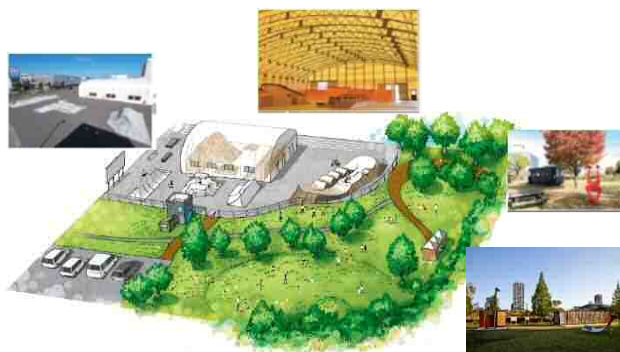


3 教育文化の拠点づくり【草薙・東静岡副都心】

令和2年度 主要事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	企画局	企画課	継続	(仮称)駿河学びのまちづくりグランドデザイン 策定事業	ソフト	3,129	40
2	市民局 ほか	生涯学習推進課 ほか	拡充	「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業	ソフト	18,265	52
3	企画局	企画課	継続	静岡大学将来構想協議会の運営	ソフト	3,000	39
4	都市局	清水駅周辺整備課	継続	草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業	ソフト	7,000	167
5	企画局	企画課	継続	「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」運営事業	ソフト	56,340	41
6	市民局	市民自治推進課	継続	「市民活動支援システム」活用推進事業	ソフト	2,839	51
7	都市局	清水駅周辺整備課	新規	JR草薙駅北口駐輪場整備事業	ハード	11,500	168
8	建設局	道路計画課	新規	JR草薙駅北口周辺交通環境改善事業	ハード ソフト	35,000	-
計						137,073	



東静岡アート&スポーツ/ヒロバ



専門課程
学校・地域 ひとつなぎコーディネーター養成講座

4 「健康長寿のまち」の推進

【目標】

人生100年時代を見据え、あらゆる年齢の人が住み慣れた地域で、いつまでも健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるまちを実現する。

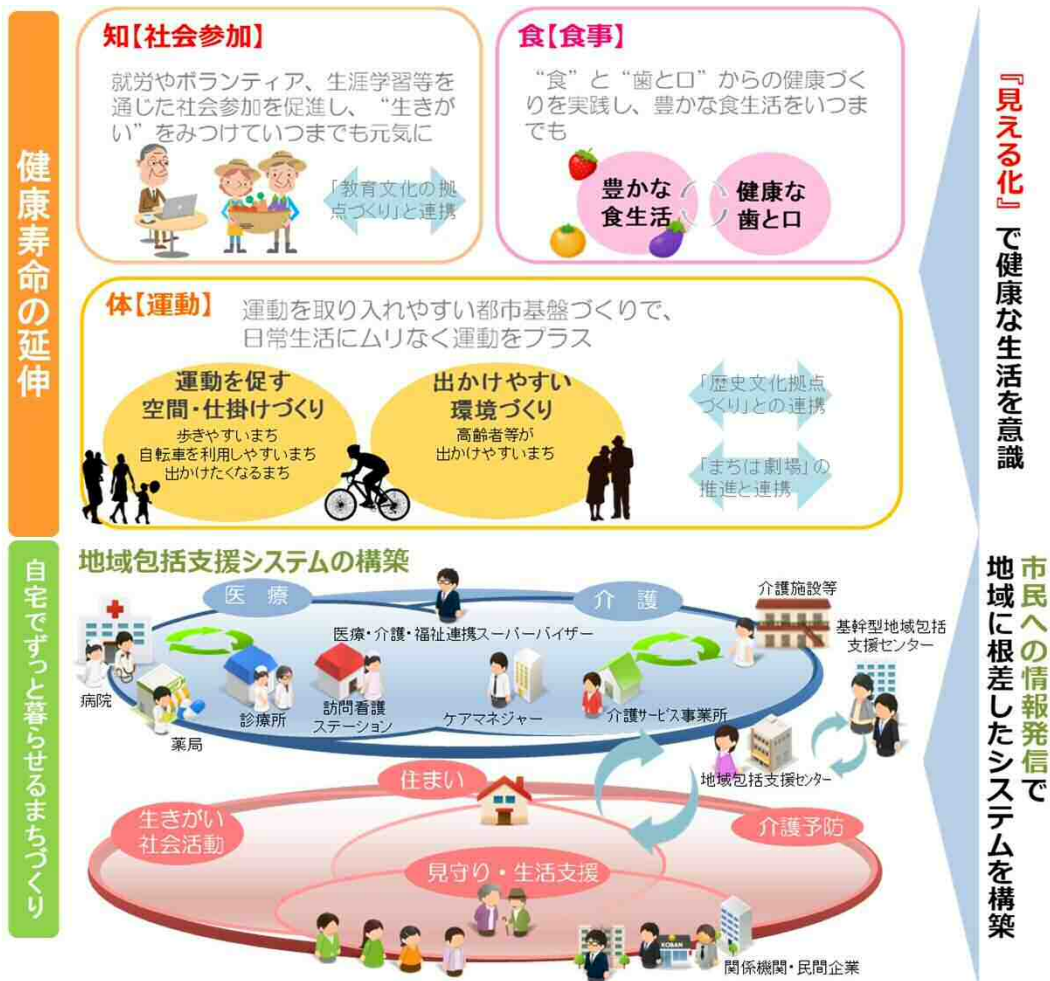
【方針】

①健康寿命75歳への延伸

徳川家康公の**健康長寿**の秘訣と言われる“知への好奇心（社会参加）”、“食事”、“運動”を柱として、市民一人ひとりが、これらを日常的に取り入れやすい都市環境づくりと市民の**自発的**な健康づくりの支援を推進する。

②自宅ですっと暮らせるまちづくり

自宅ですっと暮らせるまちの実現に向け、医療・介護等の専門職や地域の市民の連携により、切れ目のない医療・介護や介護予防、生活支援といった**支援の体制**を構築するとともに、市民に積極的に情報発信することで、地域に根差した**静岡型地域包括ケアシステム**の構築を目指す。



4 「健康長寿のまち」の推進

令和2年度 主要事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	認知症ケア推進体制整備事業	ソフト	38,600	102
2	保健福祉長寿局	福祉総務課	拡充	成年後見制度利用促進事業	ソフト	43,412	107
3	市民局	生活安心安全課	新規	高齢者の安全運転支援事業	ソフト	4,700	57
4	保健福祉長寿局	福祉総務課	拡充	生涯活躍のまち静岡 (CCRC) 推進事業	ソフト	27,926	108
5	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	「自宅ずっと」在宅医療・介護連携推進事業 地域包括支援センター運営事業 地域ケア会議推進事業 生活支援体制整備事業	ソフト	1,018,903	103 ～ 105
6	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	市民参加型フレイル予防プロジェクト	ソフト	1,881	106
7	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	医療・介護・福祉スーパーバイザー 人材配置事業	ソフト	11,025	-
8	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	静岡型地域包括ケアシステム情報発信事業	ソフト	2,798	-
9	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症初期集中支援推進事業	ソフト	10,398	-
10	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症地域支援・ケア向上事業	ソフト	956	-
11	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症疾患医療センター運営事業	ソフト	10,223	-
12	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	認知症高齢者見守りシステム事業	ソフト	1,212	-
13	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	継続	徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業	ソフト	607	-
14	保健福祉長寿局	地域包括ケア 推進本部	拡充	S型デイサービス事業	ソフト	71,394	-
15	保健福祉長寿局	福祉総務課	継続	高齢者就労促進事業	ソフト	30,000	109
16	保健福祉長寿局	高齢者福祉課	継続	しずおかハッピーシニアライフ事業	ソフト	830	-
17	保健福祉長寿局	介護保険課	継続	元気いきいき！シニアサポーター事業	ソフト	69,571	112
18	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	歯科保健推進事業	ソフト	8,874	-
19	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	新規	特定健康診査受診率向上対策事業	ソフト	4,856	111
20	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	糖尿病性腎症重症化予防事業	ソフト	3,540	-
21	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	ICTなどを活用した特定保健指導実施率向上 事業	ソフト	6,956	-
22	保健福祉長寿局	健康づくり推進課	拡充	しずおかカラダにeat75事業	ソフト	275	-
23	保健福祉長寿局	地域リハビリテー ション推進センター	継続	「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業 (しぞ〜かでん伝体操)	ソフト	6,412	113
24	経済局	商業労政課	継続	企業OB等による中小企業支援	ソフト	12,120	137
25	都市局	交通政策課	拡充	地域交通弱者対策事業費助成	ソフト	4,000	162
26	都市局	交通政策課 ほか	継続	自転車利用計画推進事業	ソフト	13,578	164
27	教育局	学校給食課	継続	日本一おいしい学校給食の提供事業	ソフト	85,712	216
計						1,490,759	

5 「まちは劇場」の推進

【目標】

本市に根付いた大道芸や演劇、音楽などの芸術文化の持つ創造性を活かし、誰もが気軽に楽しむことができる仕掛けづくりを通じて、市民の芸術文化等の創造活動への参加や活動を促すことで、市民が主役のまちづくりを進め、シビックプライドの醸成及び交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。

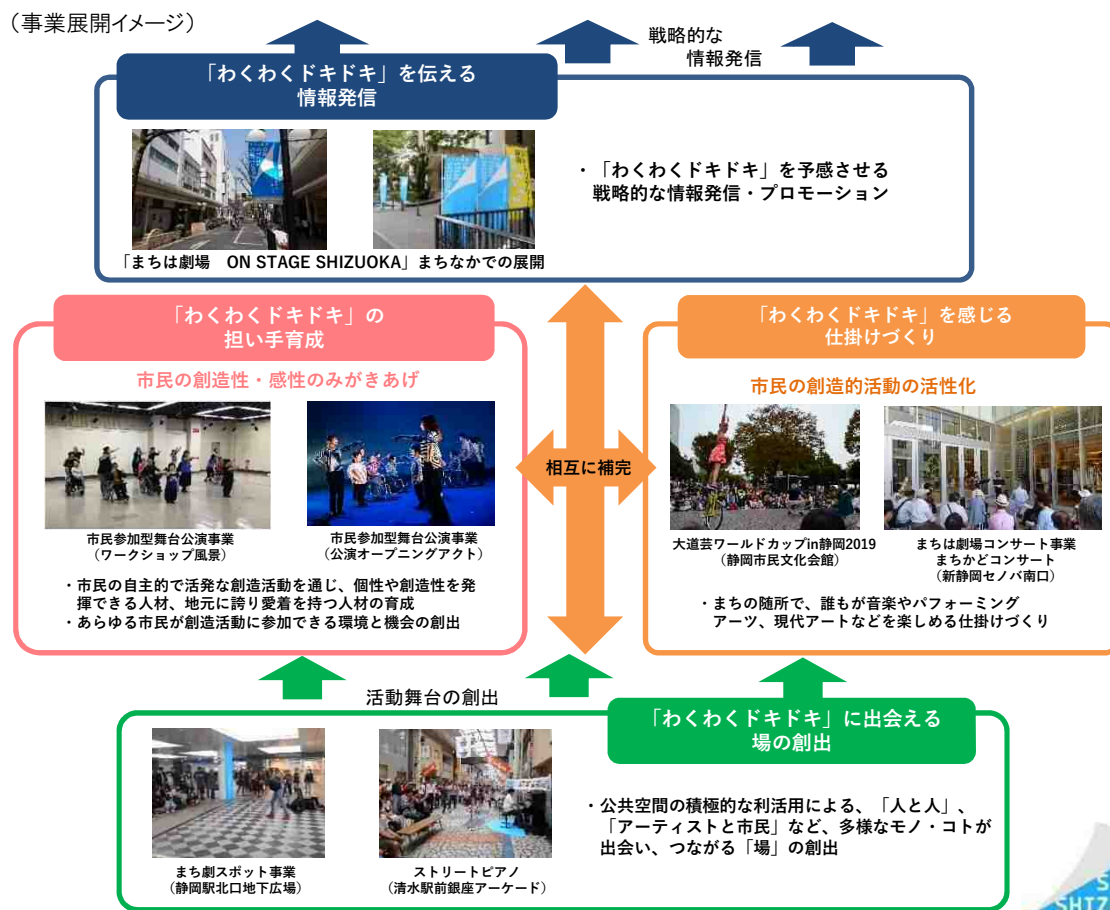
【方針】

① わくわくドキドキの仕掛けづくりと人材育成

まちに来るたびに「わくわくドキドキ」を感じられるコンテンツ（仕掛け）づくりと共に、市民の創造活動を支援・活性化することで担い手としての人材を育成し、まち全体の魅力を向上させることで、市民満足度の向上と市外からの来訪者の増加を図る。

② 公共空間の積極的な活用による「舞台」の創出と戦略的な情報発信

公共空間（まちかど）でのパフォーマンスの「舞台」を創出し、大道芸や音楽、演劇、ダンス等の芸術文化に身近に触れる機会を増やすと共に、本市の取組を戦略的に情報発信することで、一般の来訪者、アーティスト等誰にとっても「行ってみたいまち」となることを目指す。



5 「まちは劇場」の推進

令和2年度 主要事業



No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	「まちは劇場」推進事業	ソフト	37,574	83
2	観光交流文化局 ほか	まちは劇場推進課 ほか	拡充	賑わい創出イベント	ソフト	560,215	84 ～ 87
3	観光交流文化局	観光・MICE推進課	拡充	ナイトツーリズム推進事業	ソフト	15,000	77
4	都市局	緑地政策課	拡充	静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業	ハード	30,000	169
5	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	市民参加型舞台公演事業	ソフト	12,000	88
6	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	まちは劇場コンサート事業	ソフト	34,700	-
7	経済局	産業政策課	拡充	静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター 運営事業	ソフト	85,755	-
8	子ども未来局	青少年育成課	継続	静岡市成人式開催事業	ソフト	18,982	-
9	観光交流文化局	まちは劇場推進課	継続	まち劇スポット事業	ソフト	1,278	-
10	経済局	商業労政課	継続	中心市街地活性化推進事業	ソフト	9,936	-
11	経済局	商業労政課	継続	プレミアムフライデー推進事業	ソフト	6,400	139
12	経済局 都市局 建設局	商業労政課 都市計画課 道路計画課	継続	学生と連携した商店街振興事業 (都)北街道線魅力空間創出事業	ソフト	10,995	-
計						822,835	

人口活力の維持対策

これまでの取組（第1期戦略）

第1期戦略（2015～2019）の概要

人口目標 2025年に総人口70万人維持

戦略体系と主な取組

- 1 「まち」の存在感を高め、交流人口を増やす
「まちは劇場」推進事業など
- 2 「ひと」を育て、「まち」を活性化する
就活よろず支援体制強化事業など
- 3 「しごと」を産み出し、雇用を増やす
新ＩＣ周辺等産業集積推進事業など
- 4 移住者を呼び込み、定住を促進する
移住促進に向けた情報発信事業など
- 5 女性・若者の活躍を支え、子育ての希望をかなえる
しずおか女子きらっ☆プロジェクトなど
- 6 時代に合った「まち」をつくり、圏域の連携を深める
健康シニア笑顔いっぱい推進事業など

評価（基本目標及びKPIの達成見込み）

(R1.12.3現在)

評価	A	B	C	D	—
件数	42	11	1	2	10

A: 目標値を達成 B: 目標値の7割以上達成 C: 目標値の5割以上達成 D: 目標値の5割未満 —: 計測不能

主な結果

- 国立社会保障・人口問題研究所による2025年推計人口の上方修正
65.3万人（2013発表）→67.0万人（2018年発表）
- 人口減少に対する危機感の共有と官民連携の実現
包括連携協定、移住セミナー等における連携
- 移住先候補地等としての高い評価
住みたい田舎ランキング東海エリア総合1位（宝島社）
- × 住民基本台帳登録人口（2019年11.1現在）698,147人
要因：東京一極集中の加速
- × 総合戦略と総合計画との関係の分かりにくさ

見直しのポイント

- ICTの急速な進化など社会環境の劇的な変化にも対応
（人口活力や未来技術、SDGsに着目）
- 総合計画との一元化

第2期戦略 2020～2022

総合計画との一元化：第2期戦略の3次総後期実施計画への継ぎ込み・施策の共通化

目標：人口活力の維持及び持続可能なまちの実現

将来にわたりにぎわうまちの中、主体的に活躍する市民により、
活発な都市活動がなされている都市を目指す。

※朱書き：3次総後期実施計画の施策がなく、新たに設定する施策

戦略1 暮らしやすい魅力的な「まち」をつくる



ア 地域の課題解決につながる未来技術を活用

(KPI：市の事業における未来技術導入検討の件数 3件(2018)→6件)

主な事業：静岡型Ma a S推進事業、静岡型水素タウン促進事業など

イ 持続可能なまちづくりを推進

(KPI：SDG s宣言をした企業・団体等の事業所数 230件(2019)→400件)

主な事業：SDG s推進事業、アセットマネジメント推進事業など

ウ 多面的な広域行政を推進

(KPI：他市町との連携事業の件数 52件(2019)→60件)

主な事業：しずおか中部連携中枢都市圏事業、南北軸連携推進事業など

戦略2 新しい「ひと」の流れを呼び込む



ア 首都圏等からの移住・定住を促進

(KPI：静岡市移住支援センター等を経由した移住者数 98世帯203人(2015-19計)→135世帯280人)

主な事業：安心移住に向けた受入体制等整備事業、テレワーカー移住促進事業など

イ 国内外からの誘客と交流を推進

(KPI：市内宿泊者数 1,763千人(2015-17平均)→2,027千人)

主な事業：シティプロモーション推進事業、外国人観光客誘致事業など

ウ 市外から地域の課題解決に貢献する人材を呼び込む

(KPI：市外からの人材を活用した事業数 3事業(2019)→10事業)

主な事業：首都圏シティプロモーション推進事業、ふるさと納税(NPO等指定寄附)事業など

戦略3 「ひと」が育つ環境をつくる



ア 子どもを産み育てやすいまちづくりを推進

(KPI：今後もこの地域で子育てをしていきたいと思う市民の割合 96.5%(2017)→97.0%)

主な事業：ママケアデイサービス事業、子ども医療費助成事業など

イ 多様な人材が活躍する場づくりを促進

(KPI：生産年齢人口における就業者の割合 74.7%(2015)→現状値以上)

主な事業：働き方改革の実現に向けた環境整備事業、高齢者就労促進事業など

ウ 地域社会や世界で活躍するグローバル人材を育成

(KPI：地域をよくするために何をすべきか考えることがあると答える児童・生徒の割合

50.4%(小) 全国平均54.5%、36.5%(中) 全国平均39.4%(2019)→全国平均以上)

主な事業：英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト、わかものまちな推進事業など

戦略4 稼ぐことができる「しごと」をつくる



ア 次代を担う本市を代表する産業の成長支援

(KPI：市内総生産額 3兆880億円(2014)→3兆2,140億円)

主な事業：中小企業アクセラレーション支援事業、海洋産業クラスターの創造事業など

イ 新たな価値や需要を掘り起こし、本市ブランドを推進

(KPI：市民が静岡市産の農林水産物を国内外に誇れる地域資源であると思う割合 56.1%(2017)→65%)

主な事業：お茶ツーリズム推進事業、しずまへ鮮魚普及促進事業など

ウ 世界に挑戦する中小企業の振興

(KPI：市内総生産額 3兆880億円(2014)→3兆2,140億円)

主な事業：中小企業海外展開支援事業、ものづくり中小企業事業強化支援事業など

ア セ ッ ト

マ ネ ジ メ ン ト

アセットマネジメント

「健全で持続可能な都市経営の実現」を目指し、将来負担の軽減を図るため、本市が保有する公共施設※1の統廃合を進め総資産量を適正化したり、計画的に効率よくメンテナンスを行って施設の寿命を延ばしたり、公共施設の整備や管理に民間活力を積極的に導入する、アセットマネジメントを推進します。

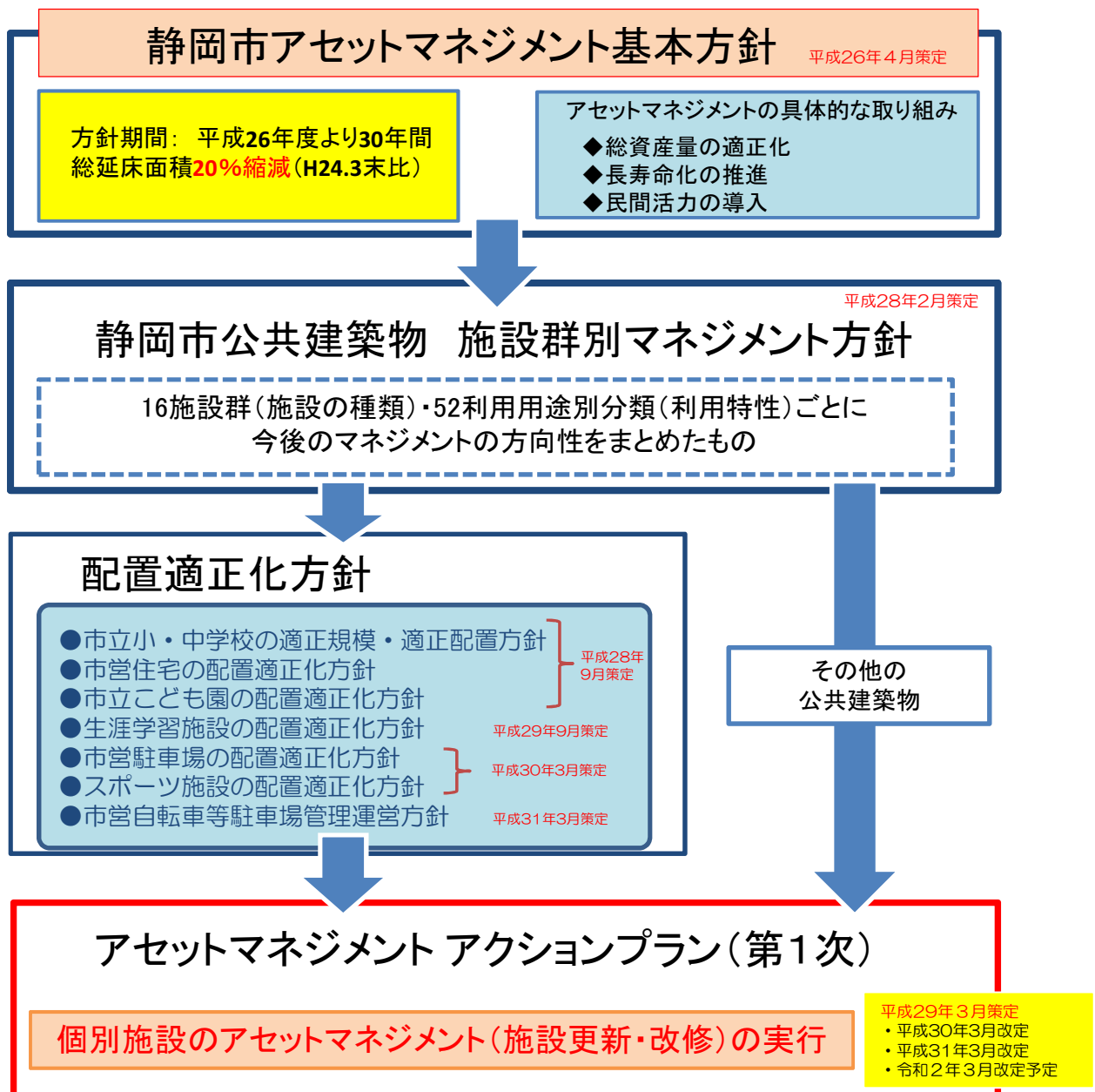
※1: 1,529施設（平成24年3月末時点: 基本方針より）

アセットマネジメントの推進にあたっては、「静岡市アセットマネジメント基本方針」を最上位方針に定めた上で、利用用途別に分類した「公共建築物施設群別マネジメント方針」において、各々の利用用途に応じた今後のマネジメントの方向性を示しています。

さらに、類似する施設が多い施設群についてはマネジメント方針で示した方向性を補完すべく「配置適正化方針」を定め、戦略的に実行していくこととしております。

また、実効性のあるアセットマネジメントを推進するために、「アセットマネジメント アクションプラン（第1次）」を策定し、第3次総合計画、予算編成と連動して取り組んでまいります。

■■■アセットマネジメント実行体系図■■■



令和2年度 主なアセットマネジメント関連事業

No.	局名	課名	事業名			令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1 総資産量の適正化						※面積は予定面積(小数点以下は切り捨て)	
1	市民局 子ども 未来局	生涯学習推進課 子ども未来課	建替	飯田生涯学習交流館建設事業【R2整備】 仮称清水北部地域児童館建設事業【R2整備】 (生涯学習交流館と児童館の合築)	面積減 37㎡ 面積増 269㎡	245,100 105,000	53 -
2	市民局	生涯学習推進課	建替	船越生涯学習交流館建設事業【R2設計】	面積減 694㎡	45,400	53
3	環境局	ごみ減量推進課	建替	清水ストックヤード建設事業【R2調査】	面積減 3,450㎡	47,379	-
4	子ども 未来局	こども園課	廃止	市立こども園等の適正配置に伴う施設整備事業 (興津南こども園)【R2解体】	面積減 448㎡	19,300	-
5	都市局	住宅政策課	廃止	市営住宅耐震対策事業【R2解体】	面積減 233㎡	16,200	-
6	教育局	教育施設課	統合	小学校校舎等改修事業【R2設計】 (小中一貫教育と小中学校の適正規模化の推進)	面積増 1,233㎡	40,000	-
小計						518,379	
2 長寿命化の推進							
1	財政局	管財課		静岡庁舎長寿命化に伴う設備改修事業		118,000	-
2	市民局	生涯学習推進課		折戸生涯学習交流館耐震補強事業		257,900	53
3	市民局	生涯学習推進課		南部生涯学習センター中規模改修事業		41,500	53
4	市民局	戸籍管理課		沼上霊園管理事務所改修事業		13,000	-
5	観光交流 文化局	観光・MICE推進課		観光施設リニューアル事業(由比本陣施設公衆便所改修)		7,400	-
6	観光交流 文化局	日本平動物園		日本平動物園獣舎改修事業(熱帯鳥類夜行性動物館)		48,925	-
7	環境局	廃棄物処理課		沼上清掃工場基幹改修事業		2,759,250	98
8	環境局	廃棄物処理課		既存施設の整備事業(庵原衛生プラント)		30,900	-
9	保健福祉 長寿局	静岡看護専門学校		静岡看護専門学校空調設備更新事業		29,000	-
10	子ども 未来局	子ども未来課		児童クラブ室改修事業		7,500	-
11	子ども 未来局	子ども未来課		豊田児童館耐震補強・改修事業		21,000	-
12	子ども 未来局	こども園課		市立こども園改修事業(薬科こども園外6件)		285,712	-
13	経済局	産業振興課		駿府匠宿改修事業		26,000	-
14	経済局	商業労政課		東部勤労者福祉センター大規模特定天井改修事業		131,400	-
15	経済局	中山間地振興課		梅ヶ島新田温泉浴場大規模改修事業		4,000	-
16	都市局	交通政策課		駐車場・駐輪場施設長寿命化事業		67,600	-
17	都市局	住宅政策課		市営住宅アセットマネジメント促進事業		383,350	-
18	都市局	住宅政策課		安倍口団地地域居住機能再生推進事業		364,600	-
19	消防局	財産管理課		消防庁舎施設保全事業(葵消防署)		117,954	197
20	消防局	財産管理課		消防庁舎施設保全事業(千代田消防署)		267,686	-
21	教育局	教育施設課		小中学校大規模改修・中規模改修事業		1,154,000	212
22	教育局	教育施設課		小中学校トイレリフレッシュ・受変電設備等改修事業		974,300	212
23	教育局	中央図書館		中央図書館大規模改修事業		456,500	-
小計						7,567,477	
3 民間活力の導入							
1	企画局	アセットマネジメント推進課	PFI	新清水庁舎整備事業		65,777	38
2	子ども 未来局	こども園課	民間割譲	市立こども園等の適正配置に伴う施設整備事業		13,882	-
3	経済局	海洋文化都市推進本部	PFI	海洋・地球総合ミュージアム整備事業		11,062	131
4	都市局	緑地政策課	Park-PFI	静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業		30,000	169
5	都市局	緑地政策課	PFI	大浜公園再整備事業		※ 0	-
小計						120,721	
合計						8,206,577	

※債務負担行為(令和2年度は予算計上なし)

災 害 对 策

防災都市

～様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進～

【目標】

- ① 津波避難施設の整備や、救急広域化の推進により、南海トラフ巨大地震に備えた災害対応力を強化するなど、市民生活を脅かす様々な危機に対し、被害を最小限に抑えるため、危機管理体制を確立する。
- ② 頻発する大型台風やゲリラ豪雨などによる風水害の発生に的確に対処していくため、国、県と連携して総合的な治水対策に取り組むとともに、がけ崩れや地すべりなどから市民の生命・財産を守るため、土砂災害対策を推進する。

【方針】

○防災・減災のための情報発信とインフラ整備

将来にわたりずっと住み続けられる安心・安全な静岡市にするために、災害時の必要な情報を入手し、発信できるシステムの構築や、災害の影響を最小限に留める都市機能の維持など「**災害に強いまちづくり**」を進めていく。

○浸水災害対策

近年の気候変動や都市化の進展に伴い、多発する浸水被害への対策を推進していくため策定した「静岡市浸水対策推進プラン」に基づき雨水ポンプ施設や河川改修、雨水幹線など、「**浸水被害を軽減させるための施設整備**」を着実に進めていく。

○ソフト対策とハード対策を適切に組み合わせる

防災情報の発信や避難訓練など、短期的に一定の効果を得るソフト対策と、河川堤防の整備や建物の耐震化など、効果の発現までに長期間を要するハード対策を適切に組み合わせた「**多重防御の施策**」を推進する。

“心配”を“安心”に変えるために>>>

あらゆる災害リスクを考え、最悪の事態に備える

○浸水対策の推進

「静岡市浸水対策推進プラン」を柱に、浸水被害への対策を推進

○道路斜面の強化

台風や豪雨などが起因する道路寸断による孤立集落の発生を未然に防ぐための対策を実施

○住宅などの耐震化を助成

地震の揺れにより多くの被害を受ける木造住宅を耐震化することで、命を守る

○公共建築物の耐震化

学校、こども園、医療施設などの公共建築物において、国の基準より厳しい、市の耐震基準で耐震化を実施

○津波避難施設の整備

津波対策として、「津波を防ぐ」「津波から逃げる」「津波に備える」を3つの柱にハードやソフトを整備

○胸壁の整備

地域住民の安全を守るため、施設の高さが不足している箇所について、津波を防御できる高さまでの嵩上げを実施

○火災の危険を排除

地震発生時の火災はもちろん、日常火災に迅速適切な消防活動に対応するため、火災予防対策の充実強化、地域防災力の向上

○上下水道施設の耐震化

地震などの災害に備え重要な水道管や、取水場、浄水場、配水池などの施設の耐震化を計画的に実施

防災都市

～様々な危機に備えた減災力が高い安心・安全なまちづくりの推進～

令和2年度 主要事業

No.	局名	課名	新規 拡充 継続	事業名	ハード ソフト	令和2年度 当初予算額 (千円)	ページ
1	総務局	危機管理課	継続	津波避難施設整備事業	ハード	126,600	28
2	総務局	危機管理課	新規	同報無線デジタル化整備に係る情報伝達 手段検討事業	ソフト	4,994	29
3	総務局	危機管理課	新規	防災情報共有システム整備事業	ソフト	48,000	30
4	経済局	水産漁港課	継続	海岸保全施設(胸壁)整備事業	ハード	122,366	151
5	都市局	建築指導課	新規	要安全確認計画記載建築物耐震 事業費助成	ソフト	3,750	173
6	都市局	建築指導課	継続	要緊急安全確認大規模建築物耐震対策 事業費助成	ソフト	12,266	174
7	都市局	建築指導課	継続	建物の耐震化事業費助成	ソフト	213,068	175
8	都市局	建築指導課	継続	ブロック塀等耐震改修事業費助成	ソフト	83,296	176
9	都市局	建築指導課	継続	狭あい道路拡幅整備事業	ソフト	87,022	177
10	建設局	河川課	継続	河川構造物耐震・津波対策事業	ハード	80,000	188
11	建設局	道路保全課	継続	道路自然災害防除事業(法面对策)	ハード	585,265	189
12	建設局	建設政策課	継続	急傾斜地崩壊対策事業	ハード	96,388	190
13	建設局	建設政策課	拡充	地籍調査	ソフト	64,915	191
14	消防局	警防課	拡充	消防団員確保対策事業	ソフト	20,821	200
15	建設局 上下水道局	河川課 下水道計画課	継続	浸水対策推進プラン	ハード	3,509,581	204
計						5,058,332	



台風19号による浸水被害
(令和元年10月12日)



広野2号雨水幹線(φ2,600mm)
(平成29年度に一部区間完成)

総務局

総務局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿



「災害に強く安心・安全なまち」の実現

災害時の被害を最小限にするため、「自助・共助・公助」の力を高めるための取組を行い、「災害に強く安心・安全なまち」を実現する。

「世界に輝く静岡」の実現

発信する情報のベクトルを揃え、職員の広報力を向上させ、静岡市のために行動する人を増やすことで、「世界に輝く静岡」を実現する。

「働き方改革推進」による「市民サービスの向上」

「働き方改革」により多様で柔軟な働き方を確保するとともに、生産性を重視した働き方を推進することで、全ての職員が生き生きと働き、「より質の高い市民サービスを提供する市役所」となる。

令和2年度の主な取組

I 災害から市民の生命と財産を守る

自助に関する取組

①[継続] 静岡市HPハザードマップ更新（2,092千円）

浸水や地震などの被害が想定される地域において、指定避難所等の防災情報を示し、防災意識の向上と被害の軽減を図る。



②[継続] 感震ブレーカー設置費の助成（15,000千円）

通電発火による火災発生防止のため、「感震ブレーカー」の設置促進を図る。

③[継続] 防災教育事業（2,863千円）

防災講演会、DIGの実施やマイタイムラインなどの普及啓発により、防災意識の向上を図る。



共助に関する取組

①[継続] 防災資機材購入費助成（50,000千円）

自主防災組織等の地域の団体の活動を支援するため、地域の防災資機材購入のための費用を助成する。



②[継続] 津波避難ビル整備費助成（30,000千円）

近隣に津波避難施設がない、若しくは避難施設の受け入れ人数が不足している等の地域解消のため、津波避難ビルの整備促進を図る。



③[継続] 水防活動経費（5,845千円）

大雨などによる市内主要河川の増水等に備え、日頃からパトロールや訓練などの水防活動を実施し、被害軽減を図る。

公助に関する取組

①[継続] 津波避難施設整備事業（126,600千円）

津波避難困難地域解消のため、津波避難ビルの指定を進めるとともに、避難ビルがない地域に、津波避難タワーを建設する。



②[新規] 同報無線デジタル化整備に係る情報伝達手段検討事業（4,994千円）

デジタル化に伴う同報無線設備の整備方法や規模等、最適な配備の検討のみならず、防災メールや防災ラジオなど他の情報伝達手段を含め、必要性や適正を検討する。

③[新規] 防災情報共有システム整備事業（48,000千円）

市内部の防災情報共有をシステムで行うとともに、避難勧告等の発表や緊急速報メールの配信等、これまで個別実施していた住民への災害情報の提供を一元的に実施する。

Ⅱ 「伝わる」情報発信

戦略広報の推進

【新規】戦略広報事業（30,000千円）

戦略広報監に民間出身の専門人材を起用するとともに、市の最優先政策である5大構想に焦点を絞り、効果的なPRを行う。



①【継続】中部5市2町イベントニュース（GoTo）発行（37,700千円）

年4回、イベント情報紙を域内市町に配布。令和2年度は新たに、効果測定のアナウンスを実施し、葵プレミアム等の市政PR商品をプレゼントする。



②【継続】都市認知度向上事業

本市の地域資源について、PR専門家によりプロデュースし、首都圏メディアへ向けた情報発信を行う。

（19,810千円）



シティプロモーション事業

③【継続】「静岡市はいいねえ。」キャンペーン事業（9,804千円）

本市出身のさくらももこ氏のオリジナルイラストを使用した職員用の名刺やノベルティ等を効果的に活用し、PRする。

④【継続】We Workでの情報発信

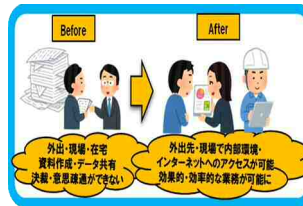
コミュニティ型ワークスペース「WeWork」にて、首都圏でのシティプロモーションを実施する。



Ⅲ 職員の働く環境の整備

①【拡充】モバイルワーク勤務導入事業（8,730千円）

外出先や在宅環境等でWebサービスや庁内システムが利用できる端末20台を導入し、効率的・効果的な業務を推進する。



働き方改革の推進

②【継続】テレビ会議システム導入事業（3,095千円）

静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所の3庁舎にテレビ会議システムを設置・活用し、移動時間や旅費の削減を図る。



③【拡充】新技術実装推進事業

職員がPCで行う定型的な作業をRPAで自動化し、作業時間の短縮、人的ミスの低減等を図る。

（8,913千円）



その他環境整備



職員研修



PC、システム等の整備・運用



職員健康診断

津波避難施設整備事業

危機管理課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/18)	市債	その他	
当初予算額	126,600	91,433	34,600		567
前年度予算額	84,400	60,954	21,100		2,346

目的
津波の襲来から市民の生命を守るため、緊急避難場所となる津波避難タワー（中島②）を整備する。



事業概要
津波浸水想定区域に計画されている津浪避難施設（タワー、命山、避難橋）全19基のうち、最後の1基を整備する。
事業期間：令和元年～令和2年度
令和2年度の実施内容
津波避難タワーの建設 1か所
建設場所 駿河区西島
完成時期 令和2年9月予定
収容人数 540人

年度	エリア名	種類	建設地(予定地含む)	浸水深→基準水位	
1					
2	H25	完成	中島③	駿河区西島地内(大浜公園内)	1.8m → 2.6m
3			大里東①	駿河区下島地内(塩田公園内)	0.1m → 0.1m
4			三保⑦	清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.3m → 2.3m
5	H26	完成	三保⑧	清水区三保地内(ふれあい広場内)	2.1m → 2.2m
6			不二見①	清水区宮加三内地内(宮加三公園内)	3.1m → 3.2m
7			三保⑤	清水区三保地内(紅産業社有地)	2.5m → 2.6m
8	H27	完成	長田南④	駿河区用宗一丁目地内(汐入公園内)	1.0m → 1.6m
9			三保⑥	清水区三保地内(三井デュボン・フロロケミカル社有地)	1.3m → 1.7m
10			中島①	駿河区中島地内(大浜荘内)	0.5m → 安政 (基準水位なし)
11	H28	完成	三保③	清水区三保地内	0.4m → 0.4m
12			三保④	清水区三保地内	1.1m → 1.1m
13			三保①	清水区三保地内	0.6m → 0.8m
14			長田南①	駿河区石部地内	0.9m → 1.1m
15	H29	完成	長田南③	駿河区用宗二丁目地内	1.2m → 1.4m
16			長田南⑥	駿河区広野五丁目地内	1.4m → 1.7m
17			三保②	清水区三保地内	1.4m → 1.4m
18	H30	完成	長田南⑤	駿河区用宗一丁目地内	0.8m → 1.0m
19			不二見②	清水区宮加三内地内	0.8m → 1.2m
	H31		中島②	駿河区西島地内	1.3m → 1.5m

【新規】

同報無線デジタル化整備に係る情報伝達手段検討事業 危機管理課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	4,994	1,664			3,330
前年度予算額					

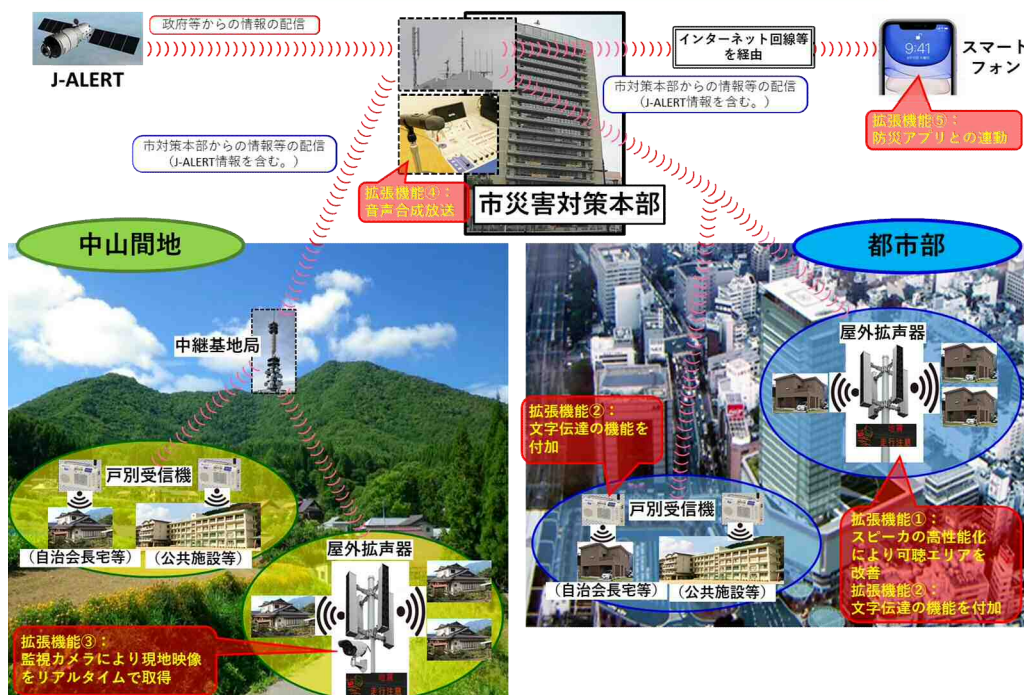
目的
老朽化による同報無線設備の更新に向けて、同報無線を含めた防災情報伝達手段の調査検討を実施する。



事業概要

- 同報無線子局の再配置計画の検討
音質の改善等による空白エリアの解消と子局数の削減を目的とした再配置計画の検討
- デジタル化に伴う拡張機能の調査
 - ・可聴エリアの改善
 - ・文字、映像伝達機能の付加
 - ・防災アプリとの連動
- 概算事業費の算出
設備の更新と再配置によるインシヤルコスト及びライフサイクルコストの削減の検討

同報無線 システムの概要とデジタル化に伴う機能の拡張 (全体像)



【新規】

防災情報共有システム整備事業

危機管理課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	48,000		48,000		
前年度予算額					

目的
 災害対策本部、各区本部及び各地区支部等に防災情報共有システムを整備し、防災情報を一元的に管理共有することで、災害対応の迅速化を図る。

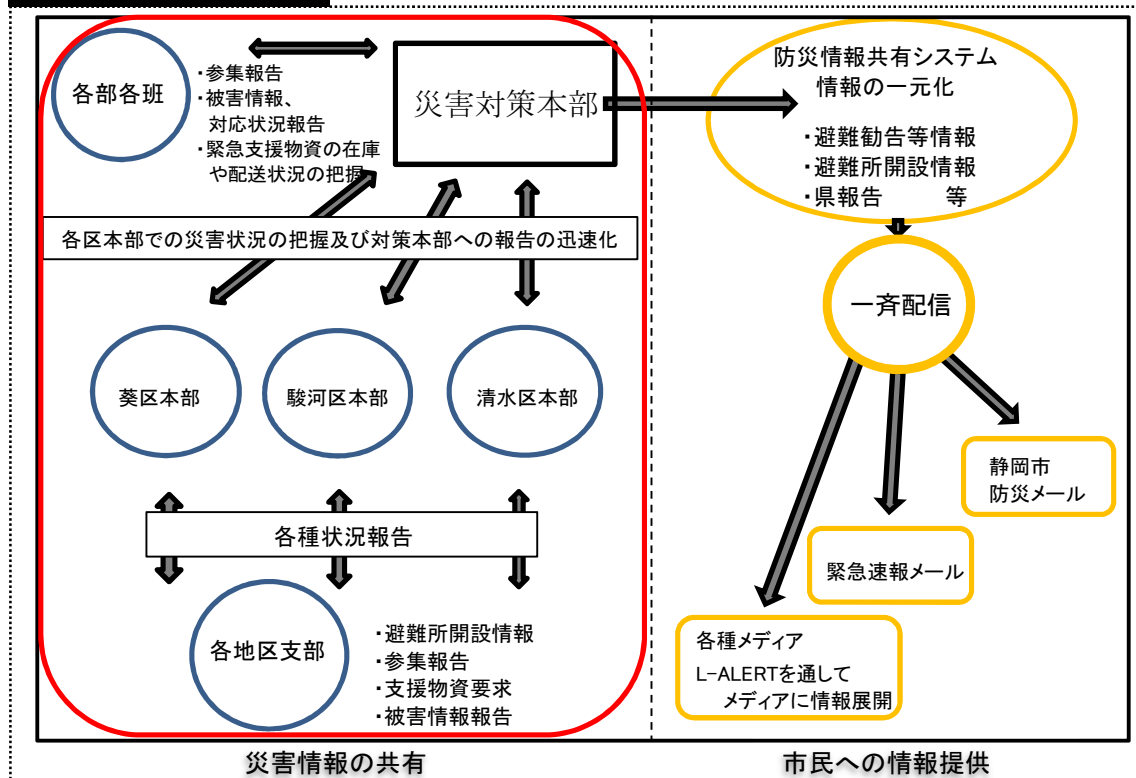


事業概要

- 情報の一元化
 迅速な災害対応を図るため、災害対策本部や各地区支部間等における災害情報等の一元的な集約・管理による共有
- 外部システムとの連携の強化
 一元化した情報を迅速に提供するため、「静岡市市民メール」等の外部システムとの関係の強化

※開発期間：令和元年度～令和2年度（令和3年度より運用開始予定）

防災情報共有システム



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	30,000				30,000
前年度予算額					

目的	<ol style="list-style-type: none"> 1 静岡市のために行動する人の増加 2 職員の広報力の向上 3 発信する情報のベクトルを揃えること
----	---



事業概要	静岡市の最優先政策群である5大構想のPR・プロモーション
	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報戦略策定業務 ※1 5,000千円 5大構想の3年間の広報戦略を策定 2 5大構想PR・プロモーション業務 ※2 25,000千円 戦略広報監に民間出身の専門人材を起用し、戦略に基づいた効果的なPR・プロモーションイベントやキャンペーンなどを実施 <p>※1 静岡市の魅力をより効果的・効率的に発信するため、PRする事業を5大構想に絞り、明確な目標設定、年度ごとのプロセスを明示する。</p> <p>※2 情報が伝わらない時代で、かつ高尚な目的が多い行政施策の持つメッセージをわかりやすく万人に受け入れられるメッセージにデザインし発信する。</p>



	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,738				20,738
前年度予算額	10,856				10,856

目的
 職員の多様で柔軟な働き方を確保するとともに、生産性を重視した働き方を推進することで、全ての職員が生き生きと働き、より質の高い市民サービスを提供する市役所となるために実施する。



事業概要

- 1 **モバイルワーク勤務導入事業** **拡充** 8,730千円
 ○外出先や在宅における庁内システムの利用と、Webサービスの利用ができる端末の導入
 モバイルワーク用端末 20台
 ○外出先での決裁等の即時処理やインターネットを利用した所属との情報共有等により、時間の効率化、隙間時間の活用を実現
- 2 **テレビ会議システム導入事業** 3,095千円
 ○テレビ会議システム（専用端末 3台）の導入
 （静岡庁舎・清水庁舎・駿河区役所に各1台）
 ○離れた場所にいる職員同士が、「会わなくても打合せができる」環境を作ることで、移動時間・旅費を削減
- 3 **新技術実装推進事業** **拡充** 8,913千円
 ○職員がパソコンで行うデータ入力等の事務作業をソフトウェアが自動で処理するRPAツール等を導入
 想定事業数 5業務
 （窓口業務・導入効果が高い業務など）
 ○作業時間の短縮、転記ミスの減少等が可能となり、審査時間の短縮、より丁寧な市民サービスの提供を実現



モバイルワーク勤務導入事業



テレビ会議システム導入事業



新技術実装推進事業

企 画 局

企画局 当初予算のポイント

令和4(2022)年度の
目指すべき姿
(最終アウトカム)

SDGsの視点を組み込んだ「世界水準のまち」へ

国内外から様々な人々が訪れる、高い求心力を持つまち

魅力ある地域資源を活用し、持続的に発展するまち

周辺自治体を牽引し、リーダーシップを発揮するまち



戦略
(中間アウトカム)

5大構想の推進

「駿河学びのまちづくり」の推進

静岡都心・東静岡副都心・
清水都心の賑わい創出

SDGsの推進

SDGsを組み込んだ
総合計画の推進

市民・市内企業の
SDGsの認知度向上

公民連携、広域連携の推進

公民連携事業の推進

中部5市2町連携による
圏域の競争力強化

人口活力維持対策の推進

移住・定住人口の拡大

関係人口の創出

令和2年度
主な実施事業
(アクション)

～「目指すべき姿」からのバックキャストिंगの視点により各事業を実施～

【1】5大構想・重点プロジェクト等事業

152,482千円(78,677千円)

3次総の最優先施策群である5大構想と重点プロジェクトを
押し進め、「世界に輝く静岡」の実現を図る

- ①【**拡充**】アリーナ誘致(関連調査)事業
- ②【**新規**】リニア中央新幹線開業後の静岡市のまちづくりに係る研究事業
- ③【**新規**】ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)導入研究事業
- ④【**新規**】大内新田地区土地利活用可能性検討調査事業
- ⑤【**拡充**】新清水庁舎整備事業
- ⑥【**継続**】静岡大学将来構想協議会の運営
- ⑦【**継続**】(仮称)駿河学びのまちづくりグランドデザイン策定事業
- ⑧【**継続**】東静岡アート&スポーツ/ヒロバ運営事業



新清水庁舎 完成イメージ



東静岡
アート&スポーツ/ヒロバ



令和2年度
主な実施事業
(アクション)

【2】SDGs関連事業

68,915千円(70,031千円)

SDGsの「市政への組み込み」「普及啓発」「情報発信」の
取組を推進し、本市の政策を世界水準へ引き上げる

- ① **【拡充】** SDGs推進事業
 - (仮称) TGCしずおか2021 (予定)
 - TGCしずおか連携事業
 - SDGsシーズン
 - SDGs国際会議開催準備経費 他



- ② **【継続】** SDGsの市政への組込



SDGs COLLECTION supported by TGCしずおか 2020 (2020.1)



©SDGs推進 TGCしずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION (2020.1)



SDGs Monthイベント (2020.1)



ニューヨーク市との
意見交換 (2019.6)

【3】総合戦略関連事業

242,916千円(206,033千円)

「人口活力維持」に向けた取組により3次総を補完する

- ① **【拡充】** テレワーカー移住促進事業
- ② **【拡充】** 中部5市2町連携事業
 - 移住促進事業
 - 大学連携事業(地域課題解決事業助成金) 他
- ③ **【継続】** 新幹線通学費貸与事業
- ④ **【継続】** PPP/PFI地域プラットフォーム運営事業



お試しテレワーク体験



新幹線通学費貸与事業



PPP/PFI地域プラットフォーム

【4】統計・分析

353,230千円(44,741千円)

行政運営や施策の企画・立案のための
基礎的情報となる各種統計調査等を実施する

- ① **【拡充】** 各種統計調査事業(令和2年国勢調査 他)



【拡充】

アリーナ誘致（関連調査）事業

アセットマネジメント推進課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,008				20,008
前年度予算額	516				516

目的	人口減少・少子高齢化社会において、都市の求心力を高め、交流人口の増加、賑わい創出を図るため、大規模コンサートやプロスポーツの開催により、その効果が期待されるアリーナの誘致を目指す。
----	--



事業概要	<p>市民ワークショップ、市民アンケート、市場調査等を実施し、アリーナ建設の候補地を選定した上で、必要な調査と対策案の検討を行い、建設地を決定する。</p> <p>1 アリーナ誘致（関連調査）業務の実施 新規 19,481千円 ○市民ワークショップ、市民アンケート、民間事業者ヒアリング、騒音・振動・交通調査等</p> <p>2 その他事務経費 527千円 ○市民説明会事務費 等</p>
------	---

●アリーナ イメージ

（スポーツ利用）

（コンサート利用）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	811				811
前年度予算額					

目的

2027年に予定されている「リニア中央新幹線」の開業に伴い本市に生じると想定される影響とその対策について、官民連携により調査・研究を行う。



事業概要

官民連携による研究会を設立し、調査・研究を行う。

研究事業

○研究会の設立・運営

- ・静岡市及び静岡商工会議所が連携し、研究会を設立
- ・研究会の開催（3回予定）

○研究内容（案）

- ・リニア開業後の時代における経済動向等
- ・静岡市に生じると想定される影響の整理
- ・メリットを生かし、デメリットを最小化するための方策

各種調査等

各種調査等（事例調査・情報収集など）を実施する。



静岡市中心市街地(JR静岡駅周辺)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	65,777		20,900		44,877
前年度予算額	20,230				20,230

目的	発災時にも業務の継続ができ、ＪＲ清水駅周辺に賑わいを創出する新たな清水庁舎を建設する。
----	---



事業概要	1 新清水庁舎整備事業（PFI事業）	
	○全体事業費 9,439,000千円	0千円
	（令和2年度～令和19年度）	（令和2年度）
	○新清水庁舎整備・運営に係る経費	
	2 PFIアドバイザー業務の実施	29,887千円
	○契約事務等に係る支援	
3 モニタリング業務の実施 新規		
○全体事業費 40,600千円	14,100千円	
（令和2年度～令和4年度）	（令和2年度）	
○PFI事業者との契約、設計・建設に係る専門的業務支援		
4 新清水庁舎整備事業者選定委員会の運営	186千円	
○委員 5名（前年度から継続）		
○全2回開催予定		
5 道路上空通路の整備	21,284千円	
○新庁舎とＪＲ清水駅を接続する道路上空通路の設計業務		
6 その他事務経費	320千円	
○消耗品費 等		

●新清水庁舎 イメージ図



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,000				3,000
前年度予算額	5,939				5,939

目的	<p>これまでの検討で明らかになった「リカレント教育」などの論点を深掘りするとともに、静岡大学の統合再編に関連した諸課題を融合的に検討し、さらに本市高等教育の将来像を明らかにしていく。</p>
----	--



事業概要	<p>○静岡大学将来構想協議会の運営 地域の課題に協働して取り組み、その成果を共有することを通して、次の時代の静岡大学の教育研究と静岡市のまちづくりに活かし、大学と地域の発展向上につなげるため、「静岡大学将来構想協議会」を設置し、大学が検討している法人統合や再編等についてゼロベースで議論を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任期 令和2年度末まで ・委員数 11名 ・検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ①静岡大学と浜松医科大学の法人統合・大学再編のあり方 ②未来社会デザイン教育研究推進機構の取組 ③静岡県立大学等との連携（「大学等連携推進法人（仮称）」制度の活用） ④その他 <p>○各種調査等 各種調査等（事例調査・情報収集など）を実施する。</p>
------	---



第1回静岡大学将来構想協議会(R2. 1開催)の様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,129				3,129
前年度予算額	4,948				4,948

目的	静岡・清水2つの都心の中間に位置する「東静岡・草薙地区」において、「学びの拠点」に相応しいまちづくりを進めることで、市域全体の持続的な発展に繋げる。
----	--



事業概要	東静岡・草薙地区における教育機関等の集積を最大限に活かしたまちづくりを進めていくためのグランドデザインを策定する。 グランドデザインの検討にあたっては、有識者等を委員として構成する(仮称)駿河学びのまちづくりグランドデザイン検討会において議論を行う。
	○実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「学びのまちづくり」の考え方、コンセプト、必要な機能等の検討 ・周辺施設との連携の検討 ・関係団体(大学、商店会等)との協議、情報共有 ほか

駿河学びのまちづくりグランドデザイン策定事業エリア



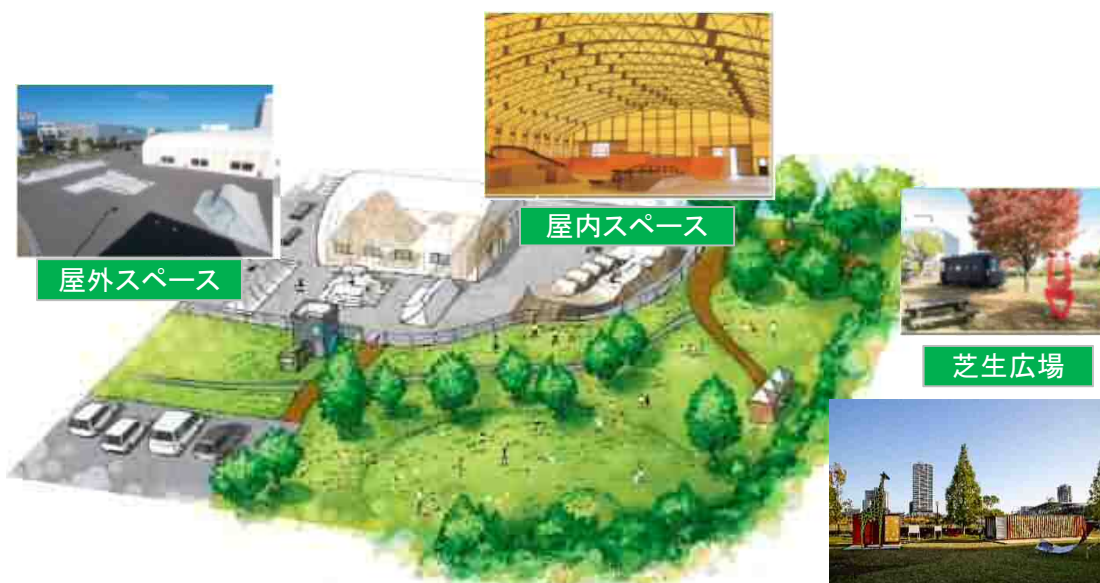
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	56,340				56,340
前年度予算額	56,340				56,340

目的	<p>「東静岡アート&スポーツ／ヒロバ」において、屋外アートやローラースポーツなどの新たな文化・スポーツを市民に広めるとともに、様々なイベントを行い、交流人口の増加を図る。</p>
----	--



事業概要	<p>東静岡アート&スポーツ／ヒロバの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設概要 開設時間/11時～21時 スケートボード、BMX、インラインスケートなどが楽しめるローラースポーツパークと芝生広場 ○ 企画運営業務 26,340千円 ローラースポーツパーク等の運営、イベントの実施 広場維持管理業務 等 ○ リース料 30,000千円 ローラースポーツ内テントハウス、管理棟 等 ○ 実行委員会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちは劇場の推進」の一環として、敷地一体を活用した様々なイベントを開催し、世代を超えた多様な人々の交流の場を創出。 ・ 芝生広場にて、年間を通じて、屋外アートの展示やワークショップの開催 ・ ローラースポーツパークでは、大人から子供を対象としたスクールを実施 ・ 2020年東京オリンピックパラリンピックを見据えた、ローラースポーツの各種大会を開催
------	---



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	62,432				62,432
前年度予算額	63,521				63,521

目的	世界が求めるSDGs達成に向け貢献していくことを通し、世界における本市の存在感を確立し、「世界に輝く静岡」の実現を確たるものとするため、5大構想など市政へのSDGsの組み込み、企業や学生をはじめ市民への普及啓発、さらには、これら取組の積極的な発信などを行う。
----	---



事業概要	<p>SDGsに関する普及啓発、各種情報発信を行うことで、「世界に輝く静岡」の実現を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○(仮称)TGCしずおか2021 若者と女性の活躍をテーマにしたイベントの開催(予定) ○TGCしずおか連携事業 TGCと連携した普及啓発イベントの開催 ○(仮称)SDGsシーズン 多数のステークホルダーとの連携による啓発事業の集中的実施 ○認知度調査等 (仮称)SDGsシーズン展開による各種効果の検証 ○SDGs宣言事業 市内事業所・団体のSDGs活動の促進及び優良事例の横展開 ○SDGs国際会議の開催に向けた準備 新規 国連本部との調整等 ○その他 各種普及啓発事業の実施
------	--



©SDGs推進 TGCしずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,374				7,374
前年度予算額	952				952

目的

本市移住支援センターにおけるテレワーク関連の相談が増加するなど、個人のテレワーカーが拡大する中、これまでターゲットとしていた首都圏企業へのアプローチに加え、新たに首都圏在住の個人に対して、本市へのテレワーカー移住促進を図っていく。

事業概要

- 地域おこし協力隊員の活用 **新規**
テレワークに関心のある個人に対して訴求力のある人材を地域おこし協力隊として採用し、活用する。
- 首都圏での多様なアプローチ **新規**
地域おこし協力隊員のネットワークを活用し、個人に対してアプローチする。
 - ・SNSを活用した情報発信（日々の活動報告、イベント情報）
 - ・移住支援センターとWeWorkにおける隊員企画によるセミナー、イベント実施
 - ・個人、企業、省庁への隊員同行による営業活動
- 市内の受入基盤の活用
本市内のテレワーク施設、学識者、専門家によるネットワークを形成し、首都圏テレワーカーの受け皿として活用する。
 - ・各施設に本市が座席を確保（年間契約）し、首都圏テレワーカーに開放 **拡充**（受入人数40人→100人）
 - ・本市滞在に必要な宿泊費、交通費も補助（1人1回）
 - ・滞在期間中、本市在住テレワーカーとの交流イベントも実施 **新規**
 - ・各施設の状況（ハード、ソフト、主たる利用者）を見える化し、ネットワーク間で相互共有 **新規**
→テレワーカーのニーズに合った施設を各施設が相互に紹介



<テレワーカー移住・副業セミナー>
静岡市移住支援センター



<二地域居住希望者向けイベント>
WeWork



<首都圏在住者と市内在住者の
テレワーカー交流会>
市内コワーキングスペース

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	409,820	47,250		500	362,070
前年度予算額	612,020	50,000			562,020

目的	しずおか中部連携中枢都市圏の目指す将来像である『海・山・街道を活かした多極連携・交流都市圏』の実現に向けて、「圏域内のさらなる交流の促進」や「圏域外からの来訪者の増加」に取り組み、圏域の活性化を図る。
----	--



事業概要	1 圏域経済拡大支援事業 新規 20,000千円 ○圏域のPRや地場産品等の販路拡大を図るため、首都圏でのテストマーケティング、情報発信イベントを開催する。
	2 中小企業海外展開支援事業 2,568千円 ○海外に販路を有する国内商社との個別商談会を開催する。 ○輸出に関する経験が少ない事業者向けに、海外情勢、輸出の流れ、商材の選び方などを学ぶ事前セミナーを開催する。
	3 水産物を活用した産業活性化事業 2,720千円 ○圏域沿岸部で水揚げされる水産物を活用した新商品の開発や圏域外へのプロモーションを実施する。
	4 静岡地域連携DMO推進事業 104,500千円 ○商品開発や観光資源のプロモーション活動により観光目的地としての認知度を高め、観光による地域経済の活性化を図る。
	5 大井川流域ニューツーリズム推進事業 30,000千円 ○大井川流域を走るSLやアプト式列車と連携したイベントや沿線地域の観光資源のPRを実施し、観光客の増加を図る。
	6 街道文化発信事業 11,700千円 ○旧東海道の宿場町におけるイベントの開催や、街道文化の情報発信により、地域ブランドの強化及び交流人口の拡大を図る。
	7 静岡中部地域サイクルツーリズム推進事業 拡充 5,000千円 ○令和元年度に作成したサイクリングコース、サイクルマップを活用し、サイクルツーリズムの周知啓発活動を実施する。
	8 中部5市2町広域連携PR等事業 30,223千円 ○「しずおか中部連携中枢都市圏」事業の認知度向上や、インバウンドの誘客促進を目的とした周知啓発活動を実施する。



水産物を活用した産業活性化事業



静岡地域連携DMO推進事業

事業概要	9	サイエンスキッズ育成事業 拡充	4,500千円
		○圏域の子ども達に対し、科学に触れる機会を提供することで、次世代の科学振興の担い手となる人材を育成する。	
		○静岡科学館る・く・るによる、4市2町への出張型の科学イベントを開催することで、より多くの子ども達の科学に対する興味・関心を高める。	
	10	大学連携事業	32,450千円
		○圏域の大学と連携した地域課題の解決事業の推進や、学生の活動拠点を確保し、若者の圏域外流出の抑制と地元定着を促進する。	
	11	JR駅前等賑わい創出事業	66,400千円
		○圏域内のJR沿線主要駅付近にて、イルミネーション点灯事業を実施し、相互にPRをすることで圏域の交流人口の拡大を図る。	
12	生活関連機能サービスの向上事業 (結婚・子育て等支援)	13,100千円	
	○圏域内の住民の出会い・結婚及び子育て等のサポートに取り組み、安心して子どもを産み、育てることができる圏域を目指す。		
13	都市間交通の利便性向上事業	16,500千円	
	○路線バス（特急静岡相良線）の利用環境を整備し、通勤、通学及び観光における利便性の向上を図る。		
14	移住促進事業 拡充	8,459千円	
	○圏域の市町が合同で全国規模の移住フェアに出展し、圏域への移住促進を図り、交流人口の拡大及び定住人口の維持を目指す。		
	○移住を具体的に検討している層を対象に、5市2町を巡るお試し移住ツアーを新たに開催する。（年3回）		
15	テレワーク推進事業	4,000千円	
	○eラーニングシステムにより圏域の住民にテレワークの広報啓発を行い、多様な働き方を推進することで地域経済の活性化を図る。		
16	中部5市2町イベントニュース発行事業	37,700千円	
	○圏域市町で開催されるイベント情報に加え、文化施設や、観光情報を掲載することで、より多くの情報を発信し、圏域の交流人口の拡大を図る。		
17	5市2町「街道観光」推進事業 新規	20,000千円	
	○「街道」でつながる5市2町の食・文化・自然などに関する企画や体験を圏域が一体となってPRすることで、観光客の増加・周遊の促進を図る。		



JR駅前等賑わい創出事業



テレワーク推進事業

中部5市2町イベント
ニュース発行事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	59,030			8,100	50,930
前年度予算額	67,450			4,461	62,989

目的
若者が市内で生活し、地域社会とかかわる機会を増やすことにより、若者の定住の促進及び地域社会の人材の確保を図る。



事業概要

市内在住で県外の大学等※に新幹線通学をする30歳未満の学生を対象に新幹線通学定期券代の一部を貸与する。
※大学等…大学、短大、専修学校（専門課程）

- 貸与金支払
 - ・貸与経費 新幹線通学定期代の一部を無利子で貸与
 - ・貸与金額 新幹線通学定期券（1月当たり）の額の3分の1（1,000円未満切捨）又は3万円のいずれか低い額
 - ・貸与期間 正規の修学期間（4年制大学であれば4年間）
 - ・返 還 貸与期間の2倍の期間以内に返還※

※卒業後、本市に市民税の所得割を完納した場合、返還免除（年間返還相当額分）する。

- 利用者、地元高校生、既卒者への周知
 - ・市内高校へ訪問し、チラシの配布
 - ・利用者へ地元就職情報の送付
- 業務支援システムの導入
利用者の増加による、返還免除、債権管理といった様々な事務に対応するため、業務支援システムの導入により制度の成熟化を図る。



新幹線通学の様子
(イメージ)



周知用チラシ

市 民 局

市民局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

地域の絆を深め、一人ひとりが活躍し、
安心して暮らせる持続可能なまちを市民の皆さんと行政が共に創る

I 市民協働によるまちづくり

それぞれの地域の特性や実情に即した地域課題の解決やまちづくり活動が自主的に推進される、豊かなコミュニティが形成されている社会の実現

II 男女共同参画によるまちづくり

多様性を受容し、あらゆる人が自分らしく生きることが尊重され、自らの能力を発揮し、活躍できる社会の実現

III 安心・安全なまちづくり

生活者である市民及び来静者の誰もが安心して活動することができる安全な地域社会の実現

〔令和2年度（2020年度）の主な取組〕

I 市民協働によるまちづくりの推進



〔 自治会・町内会等の地縁団体への活動支援 〕

住民主体の地域づくりを支援するため、自治会・町内会等の活動を支える各種助成事業の実施、新たな支援策の策定に取り組みます。

【拡充】 ■集会所建設費補助金など各種助成(538,932千円)

【拡充】 ■しずおか自治取組発表会（自治会活動実態調査・調査結果報告会）(1,242千円)



〔 市民活動団体等への活動支援 〕

より多くの市民が参加するまちづくりの実現に向け、市民活動団体等の運営・広報・資金調達などの支援に取り組みます。



- 【新規】 ■ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業(51,420千円)
- ・ふるさと納税制度を活用した資金調達制度の創設！
- 市民活動支援システムの活用(2,839千円)
- 市民活動センターの管理運営(59,634千円)

〔 生涯学習の推進 〕

生涯にわたる学びを支援し、まちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成を推進します。



- 【拡充】 ■静岡シチズンカレッジこ・こ・に推進事業(18,265千円)
- 生涯学習施設建設及び改修事業(589,900千円)
- （交流館：飯田、船越、折戸 センター：南部）
- 生涯学習交流館及びセンターの管理運営(1,004,057千円)



〔 井川地区の振興 〕

渡船による井川地区住民の対岸交通の確保及び観光資源としての活用により、来訪者の増加につなげ、地域の振興を図っていきます。

- 井川湖渡船運営事業(20,735千円)
- （井川湖渡船運航管理運営、湖上音楽まつりの開催他）



Ⅱ 男女共同参画によるまちづくりの推進



〔 女性活躍の推進 〕



女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援及び男性の意識改革に取り組みます。

- しずおか女子きらっ☆プロジェクト(13,947千円)
- 女性会館の管理運営(99,298千円)

〔 性の多様性に関する環境整備 〕



性の多様性の無理解から、LGBTなど性的少数者への偏見や差別が生じているため、生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に取り組みます。

- 【拡充】 ■LGBTフレンドリー推進事業(1,205千円)
 - ・性の多様性実践セミナーの開催、当事者の居場所づくり

Ⅲ 安心・安全なまちづくりの推進



〔 地域の自主防犯力の強化 〕



安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現に向け、犯罪等に強いまちづくり基本計画に基づき、「防犯意識の高い人づくり」と「防犯力の高い地域づくり」の推進を図ります。

- 街頭防犯カメラ設置費補助金(5,000千円)
- 子どもの体験型防犯講座「あぶトレ！」の開催(449千円)
- 【拡充】 ■公用車青パト化・しずおか防犯パトロールの推進(938千円)



〔 自ら守る交通安全意識の向上 〕

交通事故の防止や交通マナーの向上に向け、自動車や自転車等の交通安全対策を図ります。



- 【新規】 ■高齢運転者の安全運転支援事業(4,700千円)
 - ・後付け急発信防止装置取付費補助金制度の創設
- 幼児期における交通安全教育の推進事業(4,300千円)

〔 消費者市民社会の実現 〕

消費者が、自らの消費行動が経済だけでなく社会や環境にも影響を与えることを自覚し、行動する「消費者市民社会」に向け、消費者教育の推進等を図っていきます。

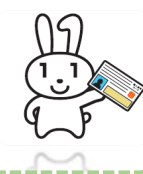
- 【拡充】 ■消費者行政強化促進事業(7,652千円)
 - ・学習指導要領の改訂に伴う中学校家庭科副教材の改訂
 - ・通話録音装置貸出事業 他



〔 個人番号(マイナンバー)カードの交付 〕

マイナポイント制度開始など国の施策等により、カード交付増加が見込まれることから円滑な交付が行えるよう交付体制を整えます。

- 個人番号(マイナンバー)カード 交付事業(572,913千円)
- 住民票等コンビ二交付事業(64,530千円)



〔 斎場・霊園の管理運営 〕

- 斎場〔静岡・清水・庵原・井川〕・霊園〔愛宕・沓谷・沼上・清水大平山〕(379,540千円)

【新規】

ふるさと応援寄附金等によるNPO等指定寄附事業 市民自治推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	51,420			51,420	
前年度予算額					

目的
ふるさと応援寄附金の寄附先として、公益的な事業を行う市民活動団体（NPO）等を指定し、自ら意欲的に取り組む市民活動を資金面で支援できる仕組みを創設することで、市民主体のまちづくりを推進する。



特定の市民活動団体等及び当該団体が行うプロジェクトをふるさと納税HPに掲載し、集まった寄附金を寄附者が指定した市民活動団体等に交付

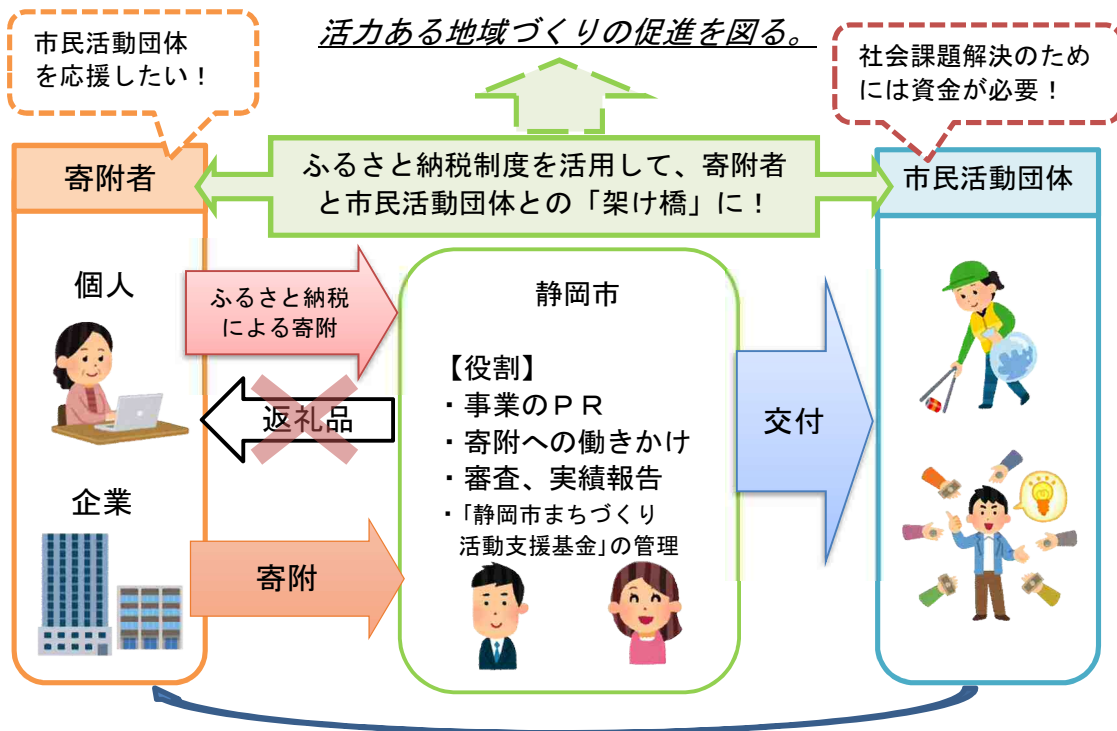
■対象団体等事業概要（案）

対象団体	寄附対象種別	応募下限額
特定非営利活動(NPO)法人 一般社団法人(非営利型)、学校法人、大学法人	プロジェクト指定	50万円以上
認定NPO法人 公益社団法人 公益財団法人	プロジェクト指定 団体指定	50万円以上 下限額なし
学(地)区連合自治組織	プロジェクト指定	30万円以上

■交付方式・募集期間

区分	団体・プロジェクト募集期間(予定)	寄附金募集期間(予定)
前期	令和2年3月下旬～4月上旬	令和2年7月～令和3年6月
後期	令和2年6月下旬～7月上旬	令和2年10月～令和3年9月

・団体指定 活動団体を指定して寄附金を募集
・プロジェクト指定 活動団体が実施するプロジェクトに対して寄附金を募集



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,839				2,839
前年度予算額	2,865				2,865

目的	シチズンシップに富んだ人づくりを目指し、「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」の修了生を活かすとともに、市民が自分の住む地域を知り、積極的にまちづくりに関わることのできる情報を提供する。
----	--



事業概要	1 システム内容 2,684千円 ○ここに人材バンク（ここにわネット） ・「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」修了生への市政情報提供 ・修了生間の活動内容情報の提供 ○市民活動情報提供（ここからネット） ・市民活動団体、活動情報を集約し、市民に情報提供（マッピング機能による地域の市民活動情報の表示） 【効果】 ・市と修了生のネットワーク化 ・地域における市民活動団体等の活動内容の可視化 【登録数（2019.11末時点）】 ・公開団体数 727 （NPO法人 349 その他市民活動団体 378） ・イベント情報 423件（累計）
	2 「対話の場づくり」事業 155千円 ○課題やテーマを設定し、修了生、市民活動団体、学生等異なる人々が集まり、解決に向けた対話の場を提供



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3ほか)	市債	その他	
当初予算額	18,265	1,245		1,034	15,986
前年度予算額	19,931	1,678		1,302	16,951

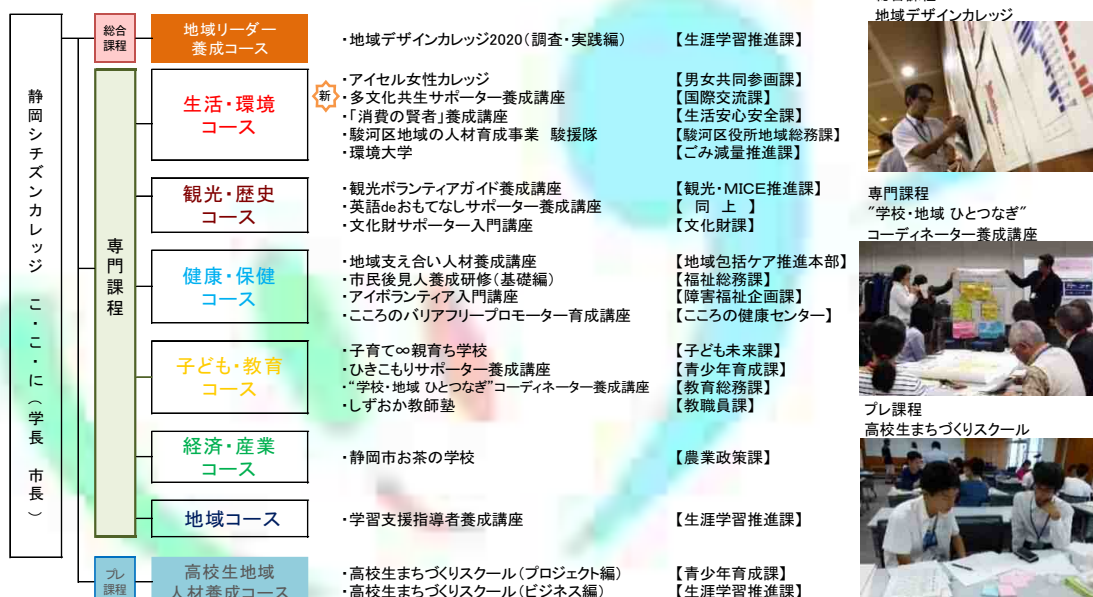
目的 「まちづくりは人づくり」の意識のもと、「構想力(こ)」・「行動力(こ)」・「人間力(に)」を兼ね備えた市民と行政との協働によるまちづくりを担うシチズンシップに富んだ人材の養成。



事業概要 市が実施する人材養成事業を一つに束ねた総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」を実施

- 人材養成事業の一体的な推進
 - 修了生等が一同に集う交流会の開催
 - 静岡まちづくりマスターの認定・研修
 - 「こ・こ・に オープンカレッジ」の開催 **拡充**
より市民の皆さんに「こ・こ・に」を活用いただけるよう各講座の周知を目的としたシンポジウム等の実施
- 各人材養成講座の開催
 - ・総合課程(1講座) 地域活動を支える人材の養成
 - ・専門課程(18講座) 各専門分野で市民活動に取り組む人材の養成
 - ・プレ課程(2講座) 高校生を対象としたまちづくりの担い手の育成(昨年との主な変更点)
 - 総合課程 地域デザインカレッジ2020(調査・実践編) **拡充**
広く地域の担い手の方々に講座を活用いただけるよう、地縁組織等と連携した公開講座等を新たに実施することにより、調査・実践編の周知を強化し受講につなげる
 - 専門課程 多文化共生サポーター養成講座 **新規**
今後増加が見込まれる在住外国人の方々スムーズに地域に溶け込めるよう交流を促し、支援する人材養成講座を追加

R2 静岡シチズンカレッジ 全体図 (延べ 8局 17課 8コース 21講座)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	589,900	1,225	578,700		9,975
前年度予算額	541,300	14,539	517,000		9,761

目的	市民の自発的な学習活動を通じて地域の交流や連携を深めるため、まちづくり活動の拠点となる生涯学習施設の整備を行う。
----	--



事業概要	1	飯田生涯学習交流館（児童館との複合施設）	245,100千円
		内容 建設工事 事業場所 清水区下野東 構造 鉄骨造2階建 延床面積 998.19㎡ (交流館 728.66㎡、児童館 269.53㎡) 供用開始 令和3年度(予定)	
	2	船越生涯学習交流館	45,400千円
		内容 実施設計、工損調査、敷地境界測量 事業場所 清水区船越町 構造 鉄骨造2階建 延床面積 約600㎡ 供用開始 令和5年度(予定)	
	3	折戸生涯学習交流館	257,900千円
		内容 耐震補強工事、昇降機設置工事 事業場所 清水区折戸 構造 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 802.26㎡ 建設 昭和55年度 工事完了 令和2年度	
	4	南部生涯学習センター 新規	41,500千円
		内容 中規模改修工事 事業場所 駿河区南八幡町 構造 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 1,513.13㎡ 建設 昭和49年度 工事完了 令和2年度	



飯田生涯学習交流館(仮称清水北部地域児童館併設)
令和3年度供用開始予定

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	13,947	3,233			10,714
前年度予算額	14,617	3,452			11,165

目的

女性の“活躍したい”希望がかなうまちを実現し、地域経済・社会の持続的成長を図るため、「女性活躍」に関する企業の取り組みを促進するとともに、活躍したい女性への支援及び男性の意識改革を行う。

事業概要

- 1 企業の取組をバックアップ、やる気を応援 4,386千円
 ○官民連携会議の開催（市民局）
 ○女性活躍ブランド認定の実施（市民局）
 ○ダイバーシティ経営推進セミナー等の開催（経済局）ほか
 - 2 女性の「活躍したい！」を応援 9,561千円
 ○民間企業と連携して女性活躍異業種交流会の開催（市民局）
 ○メンターカフェの開催（市民局）
 ○おかえり窓口（移住支援センター等）の開設（企画局）
 ○ママきらっ☆カフェの開催（子ども未来局）
 ○建設業担い手確保・育成事業の実施（建設局）ほか
 - 3 「先ず隗より始めよ」として市が率先
 ○市役所内の女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進（総務局）
- ◆本プロジェクトは、関係6局（総務局、企画局、市民局、子ども未来局、経済局、建設局）が連携して取り組む。

女性が企画・開発した
優れた商品を認定！



先輩女性の
経験談が聞ける！



しずおか女子きらっ☆ブランド認定



女子きらっ☆メンターカフェ

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	1,205				1,205
前年度予算額	3,442				3,442

目的	性の多様性の無理解からLGBTなどの性的少数者への偏見や差別が生じているため、生活に困難を抱える当事者が暮らしやすくなるよう理解促進や困難解消に向けた取組を行い、LGBTに優しいまちを実現する。
----	---



事業概要	<p>1 「性の多様性」の理解促進 495千円 LGBTに優しいまちを目指し、市民・地域・企業・学校など様々な分野への啓発を行い、「性の多様性」への理解を深め偏見・差別を解消する。 ○性の多様性啓発パンフレットの配布・出前講座の実施 ○性の多様性実践セミナー 新規</p> <p>2 当事者の居場所づくり 710千円 毎月1回テーマに沿って、交流会を開催し、当事者や家族への支援、理解者育成、情報共有を行い、当事者等の孤立や困難な状況を解消できる場をつくる。 ・時期 月1回 ・場所 市内公共施設 ・人数 15～20人/回</p> <p>《関連事業》 電話窓口相談開設（指定管理事業） 困難を抱える当事者や関係者の悩みを聞き、また、解決する糸口を見つけるため開設する。 ・日程 月1回 3時間 ・対応 女性会館相談員</p>
------	---



性の多様性啓発パンフレット
共同制作に向けた清水桜が丘高校
における事前学習会





当事者の居場所づくり

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,449				5,449
前年度予算額	6,514				6,514

目的	犯罪等に強いまちづくり基本計画に基づき、「防犯意識の高い人づくり」と「防犯力の高い地域づくり」を推進し、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指す。
----	--



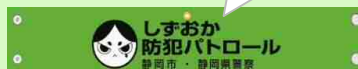
事業概要	<p>1 街頭防犯カメラ設置費補助金 5,000千円 街頭防犯カメラの設置に必要な経費を補助する。 ○交付先 自治会、町内会及び地区安全会議 ○補助対象 ・街頭防犯カメラ、録画装置機器等の購入経費、設置工事経費 ・街頭防犯カメラの設置を示す看板製作経費、設置工事経費 補助率 9/10 補助上限額 1台あたり30万円（1団体2台まで）</p> <p>2 子どもの体験型防犯講座の実施 449千円 小学生を対象とした体験型防犯講座を開催する。 ○講師：静岡県防犯アドバイザー協会 ○内容：犯罪に遭わないための知識の習得 犯罪に遭遇したときに自分の身を守る方法の習得</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  補助金を活用して設置した街頭防犯カメラ </div> <div style="text-align: center;">  子どもの体験型防犯講座の様子 </div> </div>
------	--

《関連事業》

1 「ながら見守り」活動の推進(しずおか防犯パトロール)

市民の皆さんが自ら地域の安全を守る防犯活動を気軽にできる「ながら見守り」活動を推進しています。

令和元年度から募集を開始し、総勢594名の市民ボランティアで活動を行っています。



『今川さん』の腕章が目印！



2 公用車青パト化

市職員による静岡市青色防犯パトロールを強化していくため公用車の青パト化を推進しています。(令和元年度現在:232台)



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,700				4,700
前年度予算額					

目的	<p>高齢運転者が使用する自動車に取り付ける急発進抑制装置の取り付け費用の一部を補助することで、装置の普及を図り、高齢運転者による重大な交通事故を防止する。</p>
----	--



事業概要	<p>ブレーキとアクセルの踏み間違いを起因とした交通事故が急増する、特に75歳以上の高齢運転者に対し、後付けの急発進抑制装置導入費用について、国の補助制度に上乗せして補助をする。併せて市内の高齢者を対象とした交通安全講習会を開催し、交通安全意識の高揚を図る。</p> <p>1 急発進抑制装置取付け費用補助金 4,700千円 ○開始時期 令和2年7月(予定) ○補助対象 市内の75歳以上の高齢運転者 ○補助対象経費 急発進抑制装置の購入経費及び取付け工事経費 ○補助上限額 1台あたり1万円 (国の補助後の自己負担額が1万円に満たない場合はその自己負担額分) ○補助台数 470台</p> <p>2 高齢運転者対象交通安全講習会 ○対象：市内の高齢運転者 ○内容：車に潜む危険と事故防止対策、高齢者の免許更新 等</p>
------	--

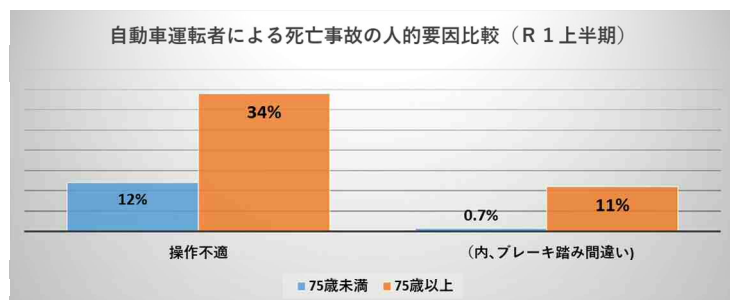
<参考> 国の補助制度と合わせた補助限度額

	国の補助制度 (65歳以上)	市の補助制度 (75歳以上)	合計額
障害物検知機能あり	4万円	1万円	5万円
障害物検知機能なし	2万円	1万円	3万円

<装置のイメージ図>



(出典：経済産業省)



(件数出典：警察庁)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10ほか)	市債	その他	
当初予算額	7,652	7,384		40	228
前年度予算額	8,962	7,946		53	963

目的

消費者教育の推進等を図ることで、市民が安心して豊かな消費生活を営むことができる「消費者市民社会」の形成を目指す。

事業概要

これまでの消費者教育の推進に加え、緊急課題及び社会変化により生じる課題について、各種施策を講じる。

《消費者教育推進等》

1 「消費の賢者」養成講座（「こ・こ・に」専門課程）

- 内容：悪質商法の手口と対策、持続可能な消費、地域での消費者教育の広め方等を学ぶ。
- 時期及び場所：6月～12月（概ね月1回実施）、清水区
- 対象：18歳以上で市内在住が市内に通勤・通学または活動拠点のある人20人

2 消費者教育推進校での啓発

- 内容：消費者教育ミニ講座、校内放送による啓発、家庭科授業支援、お便り配布等
- 場所及び対象：美和中、由比中、足久保小（新規）

3 消費者教育推進地区での啓発

- 内容：消費者被害の防止に関する出張教室（自治会、高齢者カフェ等とも連携して）
- 場所及び対象：南部学区、足久保学区（新規）

《緊急課題対応策：高齢者の消費者被害》

1 通話録音装置等の普及促進

<装置等の購入費補助>

- 対象：市内在住の65歳以上
- 対象経費：通話録音機能または着信拒否機能のある装置や電話機の購入費
- 補助額：上限5,000円

<装置の貸出> **拡充**

- 対象：市内在住の65歳以上
- 貸出場所：消費生活センター窓口（静岡・清水）
- 内容：消費者被害の防止のために通話録音装置を一定期間無料で貸し出す。

《社会変化対応策：民法改正による成年年齢引き下げ》

1 中学校家庭科副教材「エブリデイ消費者！」の全面改訂 **新規**

- 内容：成年年齢引き下げを見越し、若年者の消費者被害を防止するため、中学校家庭科副教材を改訂、学識経験者等で構成する副教材作成委員会の開催（4回）

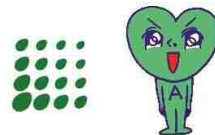


「消費者トラブル電話相談の体験授業」
消費者教育推進校での
家庭科授業支援



迷惑電話や悪質な
電話勧誘を防止する
通話録音装置

葵 区 役 所
駿 河 区 役 所
清 水 区 役 所



令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

- 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていける地域づくり
- あらゆる年齢のすべての人々の健康と福祉を確保する窓口

令和2年度の主な取組

重点事業1 区の魅力づくり事業費（12,000千円）

- 【継続】葵トラベラー
地域が主体的に取り組むイベント等への集客支援
- 【継続】葵チャレンジャー
地域の課題解決に向けた取り組みへの支援
- 【継続】葵区「魅力情報発信」
葵区PRキャラクターのあおいくんを活用した地域情報発信



葵区魅力づくり事業

地域連動のまちづくり

①葵トラベラー

- ・清 沢「清沢ホテル観賞会」
NEW!!
- ・大 川「大川収穫祭」
- ・足久保「足久保里まつり市」
- ・麻 機「遊水桜まつり」等



事業効果

- ・地域活動に対する住民意識の向上
- ・地域の魅力の発信
- ・交流人口拡大・関係人口の創出

②葵チャレンジャー

- ・梅ヶ島「梅の木剪定」
- ・田町・駒形・新通
「安倍川花火大会 草刈り」
- ・大河内「遊歩道整備」
NEW!!



事業効果

- ・地域課題の解決策を地域で考え実行
(地域の主体性の向上)
- ・学区を越えた協力体制の構築
- ・葵区の絆を深める

③葵区
「魅力情報発信」

- ・PRキャラクターあおいくんを活用した効果的な地域情報発信
- ・ブログ発信
- ・首都圏向けPR **NEW!!**



事業効果

- ・区内外からの集客の拡大
- ・葵区の魅力の周知

持続可能な住民主体のまちづくり
(地域コミュニティの維持・拡大)
を目指すよ。



重点事業2 環境整備経費 (3,000千円)

- ①【継続】葵区役所環境整備事業
- ②【継続】葵区役所人材育成事業
- ③【継続】葵区区民意見聴取事業

3 すべての人に
健康と福祉を



① 環境整備事業

おくやみ窓口の実績を踏まえ、より市民に便利な窓口の実現

- ・おくやみ窓口の進化（システムを導入し待ち時間の短縮）
- ・ワンストップサービスの検討（1階への窓口の集約化等 管財課と連携）
- ・AI・RPA・GIS・電子申請等導入の検討 **NEW!!**



あおいくん&家族を活用した行政情報発信の強化

- ・あおいくんとその家族を活かし
- ・4コマ漫画、SNS（ツイッター等）等でタイムリーに行政情報を発信 **NEW!!**



② 人材育成事業

時代のニーズやあらゆる市民に対応した人材の育成

- ・葵区役所案内人の進化（全職員の意識改革・コンシェルジュと連携）
- ・認知症サポーター養成講座、LGBTQ研修等の実施（他区との交流）
- ・外部研修への職員派遣



使命感を持ち区役所から政策提言できる人材の育成

- ・AI・RPA等のICTを活用できる人材の育成
- ・窓口改革や職場の課題解決研修等の実施で職員の意識改革
- ・業務改善1人1改善⇒環境整備に反映



③ 区民意見聴取事業

区民の多様な意見を聴取し、まちづくりに反映

- ・ふるさと未来づくり会議の開催 ⇒ 魅力づくり事業で反映
- ・職員のブロック担当制の実施
- ・ブロック会議への参加（自治会役員と区長等による意見交換会）



区役所利用者の意見を聴取し、窓口反映

- ・窓口利用者からの意見聴取
- ・アンケート等の実施
- ・案内人による聞き取り ⇒ 窓口改善に反映 **NEW!!**





令和4年度（2022年度）の目指すべき姿



～誰もが住みやすい駿河区の実現～

駿河区では、平成27年度からスタートした静岡市第3次総合計画において、地勢や特色、若い力を活用して、住民主体のまちづくりを推進し、「誰もが住みやすい駿河区」の実現を目指します。

令和2年度の主な取組

重点事業1 区の魅力づくり事業（12,000千円）

◆地域力推進事業◆

（地域力を高めるための賑わいづくりや情報を発信する事業）

【主な事業】

（1）旬穫祭

- ・旬穫祭in漁港まつり
- ・旬穫祭in葵スクエア
- ・旬穫祭クッキング ほか



◀旬穫祭in葵スクエア

（2）スルガフェス

（3）情報発信事業

- ・情報発信サイト「スルマガ」
- ・区のイメージキャラクター事業

▶トロベーカー



【R2年度の主な取組】『スルガフェス』

平成30年度「区長とまちみがきセッション」にて区内大学生から提案を受けた事業。学生と協働し、多くの若者に駿河区の魅力ある地域資源を知ってもらいイベントを開催する。



◆地域提案支援事業◆

（地域住民が主体的となって取り組む事業の支援）

【主な事業】

（1）元気アップ応援プロジェクト

（2）エコライフプロジェクト

（3）区民（わたしたち）の提案プロジェクト

▲元気アップ応援プロジェクト



◆地域の人材育成事業◆

(地域コミュニティの中堅や担い手となって活動できる人材の育成)

【主な事業】

(1) 駿援隊



(2) 駿援隊フォローアップ事業

(3) フィールドワーク連携事業

NEW



【R2年度の主な取組】『フィールドワーク連携事業』

区内大学との協働事業として、駿河区でフィールドワークを実施。地域と学生が関わりまちづくりを考え、次世代の担い手の発掘をつなげる。“スルガフェス、わがまち=わかまち会議とも有機的に結びつけることで、「若者の力を活かしたまちづくり」を展開していく。”

重点事業2 環境整備事業 (3,000千円)

◆区民意見聴取事業◆

区民ニーズの聴取・把握

“わがまち=わかまち”会議の設置

NEW

地域と区内大学の学生との意見交換の場をつくり、それぞれがお互いの活動を理解し、より充実した活動へつなげる。



◆区役所人材育成事業◆

職員の区民サービス能力の向上

- ・ 接遇事業 (接遇研修、危機管理研修、外部派遣研修等) <他区との交流>
- ・ 連携強化事業 (スキルアップセミナー、業務・人材リスト作成)
- ・ 意識啓発事業 (各課スローガン作成、ネクストラップ作成)



◆区役所環境整備事業◆

市民が利用しやすい区役所づくり

・ 駿河区役所3階のレイアウト変更

大会議室前のスペースを有効活用し、会議スペースを作り出す。

・ 「窓ガラス」遮熱断熱フィルム設置

夏場の室温上昇、冬場の室温低下の抑制。

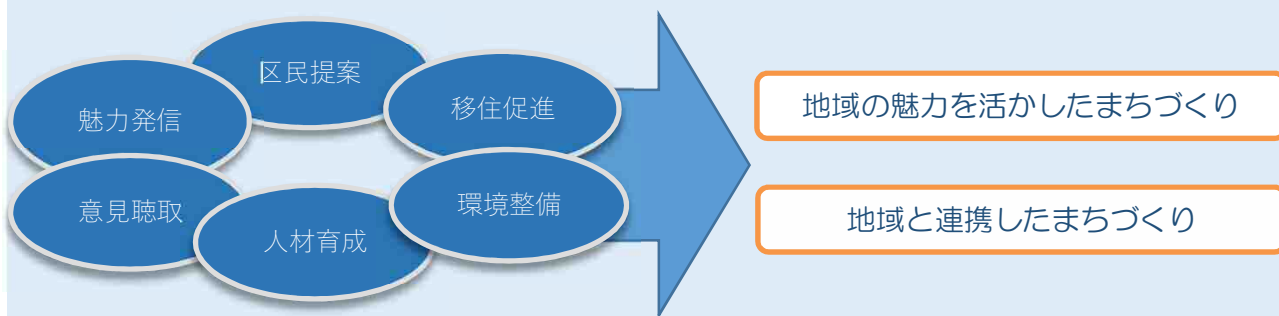
・ 電子申請に伴う事務改善の研究





令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

清水区では、効率的で市民にとって利用しやすい行政サービスを提供するとともに、地域の住民と意見交換を行い、海・山などの多彩な魅力や特性を活かしながら、地域の賑わいを創出することにより、地域と連携したまちづくりを推進します。



重点事業 1 区の魅力づくり事業費（12,000千円）

11 住み続けられるまちづくりを



令和2年度の重点取組

- ①「シズラ」を活用した戦略的な広報活動の実施
- ②区民の意見を反映した区民提案事業の実施による協働のまちづくりを推進
- ③企画課と連携した、区役所ならではの情報提供・サポート活動等の移住・定住促進事業の実施

1. 広報専門官シズラによる魅力発信事業

予算額：8,214千円

- (1)シズラのイラストデータ等の利用促進
- (2)Facebook・Twitter等の活用
- (3)清水区ならではの交流事業
 - ①中部横断自動車道沿線地域との交流促進
 - ②「客船クイーンエリザベス」おもてなし事業
- (4)チームシズラによるPR活動（イベント参加等）



2. 区民提案事業

予算額：2,710千円

- (1)清水港線跡遊歩道「今昔物語」
- (2)清水次郎長生誕200年記念事業

3. 移住・定住促進事業

予算額：1,076千円

- (1) 移住・定住促進関連事業の実施
- (2) 移住・定住促進ツール(地域紹介冊子)の作成
- (3) 相談窓口機能の充実



重点事業2 環境整備経費 (3,000千円)

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



令和2年度の重点取組

市民満足度**95%以上**の維持

1. 清水区意見聴取事業

予算額：203千円

- (1) 清水区まちづくりミーティング
- (2) 清水区未来創造トーク



2. 清水区人材育成事業

予算額：840千円

- (1) 清水区接遇研修(接遇スキルアップ事業)
- (2) おもてなし研修
- (3) 政策能力向上研修
- (4) 区役所業務改善事例発表会



3. 清水区環境整備事業

予算額：1,957千円

- (1) フロア環境快適化推進事業
 - ① 先進事例視察
 - ② キッズスペースの整備(積み木等の玩具設置)
 - ③ 蒲原支所、清水・蒲原保健福祉センターの環境整備
(統一感(清水区ブルー)のある椅子の設置)
- (2) おもてなし環境整備事
 - ① わかりやすい案内表示の設置
 - ② 温冷茶サーバーの設置
 - ③ 清水区ネクストラップの作成・着用 等



觀光交流文化局

観光交流文化局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

本市が誇る地域資源を磨き上げ、世界中から人々が訪れるまちの実現による
交流人口の拡大と地域経済の活性化

令和2年度の主な取組

（単位：千円）

①歴史文化の拠点づくり（静岡都心）

静岡の歴史・文化の中核である
駿府城公園周辺の魅力を高める取り組み

759,508（1,640,082）

駿府城跡天守台
発掘調査見える化事業
11,244（14,384）



拡充 駿府城跡天守台野外展示事業
25,000（5,000）



静岡市民文化会館
基本計画等策定事業
30,000（20,032）



歴史文化施設建設事業
604,483（1,463,800）



歴史文化施設プレ事業
5,219（6,560）



拡充 お堀の水辺（葵舟）
活用事業
11,694（21,500）



拡充 今川義元公生誕五百年祭推進事業

周知顕彰事業・(仮称)今川歴史街道整備事業	10,120（66,000）
臨濟寺調査事業	968（1,101）
<small>NEW</small> 囲碁関連事業開催補助金	1,000（0）
東海道歴史街道まち歩き推進事業	39,609（19,893）
朝鮮通信使発信・交流事業	8,333（9,074）
駿府九十六ヶ町町名碑設置事業	2,460（2,970）
歴史文化推進事業（徳川家康公400+事業）	2,378（2,768）
第79期A級順位戦最終局開催事業負担金	7,000（7,000）

(単位：千円)

②「まちは劇場」の推進

606,529 (536,285)

365日いつでも「わくわくドキドキ」を感じる
まちをつくる取り組み

「わくわくドキドキ」を感じる仕掛けづくり



拡充	賑わい創出イベントの推進	431,477 (416,625)
NEW	(仮称)駿府城夏祭り	50,000 (0)
	まちは劇場コンサート事業	34,700 (34,700)
NEW	地域伝統芸能全国大会開催事業	16,500 (0)

「わくわくドキドキ」を伝える情報発信



	「まちは劇場」推進経費	30,624 (36,460)
	(国内外プロモーション、フェスティバル評価システム構築等)	
	国際文化交流事業	6,950 (8,000)
	(釜山市交流事業等)	

「わくわくドキドキ」に出
会える場の創出



まち劇スポット事業
1,278 (3,100)

「わくわくドキドキ」の担い手育成



市民参加型舞台公演事業
12,000 (14,000)



NEW 静岡市美術館10周年記念事業
8,000 (0)

拡充 ナイトツーリズム推進事業
15,000 (8,400)



ON STAGE SHIZUOKA

③交流人口の増加策

234,723 (228,575)

静岡の地域資源をブランド化し、
世界に向けて情報発信する取り組み

拡充	オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業	NEW 国民保養温泉地プロモーション事業	1,125 (0)
	85,769 (60,000)	(国民保養温泉地協議会総会及び関連事業の開催)	
		YouTuberを活用した 情報発信事業	2,390 (2,200)
		市内看板多言語化事業	2,664 (3,400)
		NEW インバウンド推進広域連携事業	4,500 (0)
		全国大会等開催事業補助金	26,975 (26,975)
		拡充 対仏交流・プロモーション事業	5,800 (4,000)
		(日仏自治体交流会議の誘致・カンヌ市姉妹都市交流)	



駿府城公園お堀の水辺（葵舟）活用事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	38,694	13,500	11,200		13,994
前年度予算額	37,700	8,100	12,600		17,000

目的	駿府城公園周辺エリアにおける新たな歴史観光コンテンツの一つとして、静岡都心の賑わいを創出するとともに、「歴史文化の拠点づくりを」促進する。
----	---



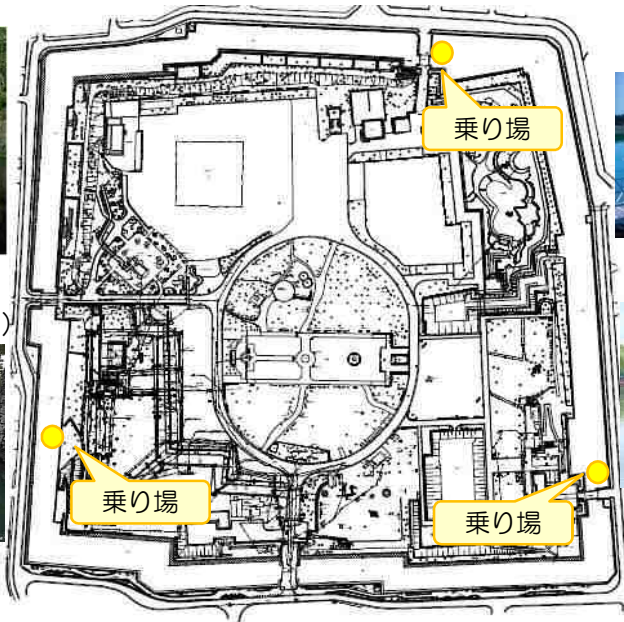
事業概要	<p>平成29年度より実施してきた社会実験を踏まえ、令和2年度から民間主体による本格運行を開始する。運行は民間により行われるため、市では運営の支援、船舶・乗り場等のハード整備等、補助的な役割を担う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 実施主体への運営支援 新規 7,000千円 ○事業の立ち上げに際し必要となる運営費用の補助 イベントにあわせた試験運行 2,882千円 ○本格運行に向けたPRを兼ねた試験運行（2回） ハード整備 28,600千円 ○船舶の船体デザイン・化粧直し ○乗り場整備（3か所） ○お堀の法面植栽等による景観向上 先進事例視察 212千円 ○島根県松江市・広島県広島市
------	---



R1夏 運行実験
((仮称)駿府城夏まつり)



R1秋 運行実験
(大道芸)



乗り場(イメージ)



お堀の植栽
(イメージ)

今川義元公生誕五百年祭推進事業

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,120				10,120
前年度予算額	66,000	2,150			63,850

目的
今川義元公生誕五百年祭を記念し、令和元年5月に今川復権まつりのほか、様々な催しを開催し、年間を通じて義元公の再評価を実施してきた。引き続き、今川義元公の認知度を上げ、イメージアップを図り、また、五百年祭のレガシーを市民に目に見える形で残すことで、歴史文化施設開館の機運醸成と駿府城エリアを中心とした歴史観光を推進し、歴史文化のまちづくりを目指す。



事業概要
今川義元公生誕五百年祭推進委員会が開催する周知顕彰事業に対する負担金及びマンホール等設置費用

- 周知顕彰事業 7,000千円
 ○義元公の命日にシンポジウムを開催
 ・日時 令和2年5月19日
 ○周知啓発
 ・大人向け冊子と子供向け漫画等の増刷
- (仮称) 今川歴史街道整備事業 **新規** 3,120千円
 ○ハード整備 (浅間神社～臨濟寺)
 ・路面シートの設置
 ・誘導看板の設置
 ○マンホール等製作
 ・「今川さん」デザインのマンホール設置及びマンホールカードの製作
 ○WEBによる情報発信
 ・東海道宿場WEBページ追加

今川シンポジウム



専門家を交え、シンポジウムを開催



周知啓発事業



大人向け冊子



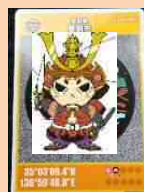
子ども向けマンガ

好評を得た冊子を増刷

マンホール・カード製作



今川さんデザインのマンホールを製作し、所縁の地へ設置する。



マンホールカードを製作し、今川義元公の周知に繋げる。

東海道歴史街道まち歩き推進事業（誘客促進事業） 観光・MICE推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,700				13,700
前年度予算額	14,300				20,014

目的	東海道歴史街道に根付く「地域資源」を活用し、年間を通じて国内外から多くの観光客を誘客し、観光交流人口の拡大、地域活性化を図る。
----	---



事業概要	<p>東海道のヒトやモノの往来により育まれ、根付いてきた歴史や文化等地域の魅力を新しい視点で掘り起こして活用し、市内の回遊性を高める周遊ツールや、観光プログラムを開発する。 また本市の街道観光への取り組みを効果的に発信し、認知度向上を図る。</p> <p>1 観光プログラムの創出 12,000千円 ○回遊性向上のための周遊ツールの活用 ○駿河東海道おんぱく開催による体験プログラムの開発</p> <p>2 戦略的な情報発信 1,700千円 ○しずおか東海道まちあるきガイドブック改訂 ○しずおか東海道まちあるきwebサイト運営</p>
------	--



しずおか東海道
ご縁めぐり
スタンプラリー

東海道の周遊を促進するツールの活用



駿河 東海道
おんぱく

東海道の魅力を体感できるプログラムの開発



しずおか東海道
まちあるき
ガイドブック

しずおか
東海道
まちあるき
webガイド

しずおか元気旅

東海道の魅力を戦略的に発信

東海道歴史街道まち歩き推進事業（受入環境整備） 観光・MICE推進課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,909			90	5,819
前年度予算額	6,193			210	5,983

目的	蒲原から丸子までをつなぐ東海道とその沿線において、古くから今に至るまでのヒトやモノの往来により育まれてきた文化や暮らしといった「地域資源」を活用した、本市ならではの街道観光ブランドの創出により街道観光を推進し、観光交流人口の拡大と地域活性化を図る。
----	--



事業概要	東海道に根付く地域の魅力を活用し、国内外問わず多くの観光客を迎える環境を整備する。 1 観光ボランティアガイド等おもてなし人材の育成 472千円 ○養成講座事業（静岡シチズンカレッジこ・こ・に） ・観光ボランティアガイドコース ・英語deおもてなしサポーターコース 2 東海道まち歩き環境等整備事業 5,437千円 ○東海道沿線観光案内板修繕 ○清水港クルーズ船客観光案内業務 ○蒲原宿情報発信等業務 ○駿府城中情報発信 ○歴史資源を活用した誘客・周遊促進事業推進協議会負担金
------	--



観光案内版イメージ
(剥離の補修+QR付与)

清水港クルーズ船客
観光案内業務



東海道まちあるきの
安心・安全な環境の提供

観光ボランティアガイド等養成



東海道まちあるきを
おもてなしする人材の養成

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,000	10,000			10,000
前年度予算額					

目的	全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」のレガシーとして街道でつながるエリアの自治体間連携し、魅力ある街道の観光素材を戦略的に発信するとともに、誘客の促進を図る。
----	---



事業概要	<p>「東海道」をはじめとする「街道」でつながる5市2町の自治体間の広域連携・交流を図り、各地域の歴史・文化等の地域資源を生かした「街道観光」ブランドの創出と広域連携・交流によるまちづくり・まちづくりを推進する。</p> <p>実施時期 令和2年7月～10月（予定）</p> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○首都圏プロモーション 5市2町街道関係者、宿場等関係者等による出店、関連施設の連携イベント・展示等 ・会場 東京日本橋(予定) ○街道誘客・周遊促進事業 5市2町を巡り各市町の魅力を体感させるスタンプラリー等の実施
------	---



しずおか中部連携中枢都市圏

静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町
事務局：静岡市観光交流文化局観光・MICE推進課



中部5市2町の認知度向上及び観光交流人口の増加

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,800				25,800
前年度予算額	25,800				25,800

目的
 県と関係市町、関係団体が連携し、駿河湾フェリーを活用した魅力の発信と、周遊観光を促す取組を実施することにより、駿河湾フェリーの利用促進及び環駿河湾地域の観光振興を図る。また、運航の継続を目的として必要となる経費の一部を負担する。



事業概要

- 駿河湾フェリー運航事業負担金 17,300千円**
 県及び3市3町（静岡市、伊豆市、下田市、西伊豆町、南伊豆町、松崎町）により組織される（一社）ふじさん駿河湾フェリーに対し、フェリー運航にかかる経費の一部（船舶の維持管理費）を支払う。
 ※乗船客数が20万人を上回った場合、負担金額なし。
 ※負担割合
 ○県：3市3町＝20,000千円：40,000千円（1：2）
 ○3市3町は40,000千円を経済波及効果割及び人口割で按分
- 環駿河湾観光交流活性化協議会負担金 3,500千円**
 環駿河湾地域においての駿河湾フェリーを活用した周遊観光を促すことにより、交流人口の拡大及び地域活性化を図る。
- 駿河湾フェリー利用促進事業 5,000千円**
 市内小学生の駿河湾フェリーの乗船意欲向上を図るため、キャッシュバックキャンペーンを実施する。
 ○期間：6月中旬～10月中旬（予定）
 ○対象：市内の学校に通う小学生を含むグループ 1,000組
 ○内容：小学生とその保護者各1名分の乗船料金をキャッシュバック



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	104,500	37,250			67,250
前年度予算額	130,000	50,000			80,000

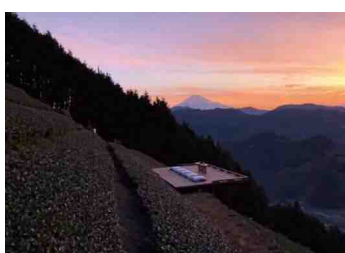
目的	<p>静岡県中部5市2町の観光消費と宿泊の拡大に向けて、当地域の強みを生かした観光商品の開発に取り組むとともに、それらを生かしたプロモーション展開により、当地域の観光目的地としての認知度向上を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>静岡県中部5市2町（静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町）の広域連携のもと、（公財）するが企画観光局が舵取り役となって以下のDMO事業を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Learn（学び）戦略に基づく商品開発の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ○基軸となる教育体験プログラムの開発 ○ガイドラインに基づく商品開発支援 ○商品を掲載したWEBサイトのプロモーション 2 Tea（お茶）、Sea（海）戦略に基づくプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ○お茶と海をコンセプトとした集客イベントの開催 ○WEB、SNSを活用したプロモーション 3 市場調査・効果測定 <ul style="list-style-type: none"> ○WEBアンケート調査、分析 <p>※DMO（Destination Management/Marketing Organization）とは地域の多様な関係者との連携と、マーケティングに基づく戦略的な観光地域づくりを行う舵取り役</p>
------	---



Learn（学び）
 子どもの成長に繋がる
 教育体験プログラム開発



Tea（お茶）
 茶畑の中に設置した
 絶景の茶席「茶の間」



Sea（海）
 鰹を用いたオリジナル商品の
 提供店舗の拡大

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	15,000	7,250			7,750
前年度予算額	8,400				8,400

目的	日本平からの夜景をはじめとする夜の観光資源の充実を図ることにより、観光客の市内滞在時間を延長させ、宿泊者数の増加や観光消費の拡大につなげる。
----	--



事業概要	<p>1 日本平の集客力向上 6,700千円 日本平の夜景を活かして夜間の集客力を向上させるため、日本平夜市をはじめとする夜間イベントの内容の充実や利便性の向上を図る。また、夜景サミット2019で認定された“富士三大夜景※”のブランドを生かしたプロモーションを実施する。 ○日本平夜市など夜のイベントの充実 拡充 ○日本平の“富士三大夜景”プロモーション 新規 ※富士山と夜景を同時に楽しめる代表的な鑑賞地 日本平(静岡市)、新倉山浅間神社(富士吉田市)、江ノ島展望灯台(藤沢市)</p> <p>2 静岡夜景のブランディング 新規 8,300千円 本市の夜景のブランド価値を高めるため、日本平からの夜景の磨き上げに向けた可能性調査を行うとともに、市内の夜景スポットを広く調査し、今後のプロモーション事業の基礎として、それぞれの魅力や基本的な情報を収集・整理する。 ○日本平夜景魅力向上可能性調査 ○市内夜景観光資源調査</p>
------	--



↑ 日本平山頂からの夜景



梶原山公園の夜景 ↑

日本平夜市の様子 →



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,000				25,000
前年度予算額	5,000				5,000

目的	歴史文化施設を核とし、東御門・巽櫓、坤櫓と天守台をひとつの博物館と見立てたフィールドミュージアムとする要素のひとつとして、天守台跡地を整備する。
----	--



事業概要	<p>4年間の発掘調査の成果を踏まえ、慶長期（家康公）と天正期（豊臣方）の天守台の迫力を間近に感じることができる日本唯一の野外展示として、遺構の保存と活用を両立させた整備を行う。</p> <p>天守台野外展示化の検討 ほか</p>
------	---



駿府城跡天守台発掘調査現場の様子



駿府城跡天守台発掘調査報告会(R2.1)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	16,203			7,440	8,763
前年度予算額	114,384			10,569	103,815

目的	駿府城再建に向けて天守台の学術的なデータを得るため、発掘調査を行う。得られた成果を活かして、発掘調査を歴史学習の場、観光資源化するために「見える化」を行う。
----	--



事業概要	<p>令和元年度で現場調査は終了したが、現場調査で出土した資料整理等を行い、調査報告書の作成を行う。あわせて、発掘現場の見学ゾーンの公開を行うとともに、調査成果の見学会や展示も行う。</p> <p>1 発掘調査 4,959千円 ○出土資料整理作業、出土資料分析 ほか</p> <p>2 発掘調査「見える化」 11,244千円 ○発掘情報館きゃっしる、見学ゾーンの運営管理 ○タブレット端末を利用した駿府城タイムトラベルツアー ○見学会、シンポジウムなどの周知普及事業 ほか</p>
------	--



駿府城跡天守台発掘調査現場見学会



出土した軒丸瓦・鯨瓦(牙と鱗)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	604,483	368,605	82,500		153,378
前年度予算額	1,463,800	651,120	611,500	57	201,123

目的	静岡市への愛着と憧れを生み出す施設を目指して、歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設を、令和4年度開館に向けて整備する。
----	---



事業概要	<p>1 建設・展示工事 477,887千円 ○建物工事、電気等設備工事、展示工事等</p> <p>2 遺構保存委託 3,000千円 ○遺構の保存に係る環境分析・計測</p> <p>3 資料収集・調査ほか 123,596千円 ○施設で展示する歴史資料の購入、レプリカ作成 ほか</p> <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度 建物・展示設計、発掘調査 ○令和2～3年度 施設整備(建設工事、展示制作、資料調査・収集、開館準備) ○令和4年度秋以降 供用開始
------	--



歴史文化施設外観イメージ図
※今後の設計により変更となる場合があります。



木像複製品制作に伴う調査の様子
(歴史文化施設で展示予定)



戦国時代の「道と石垣」の遺構

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	5,219				5,219
前年度予算額	6,560				6,560

目的	歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設の開館に向け、多くの市民が期待感をもつことができるよう意識醸成を図る。
----	---



事業概要	<p>1 展示事業 4,270千円 歴史文化施設での展示とつなげるため、2020年の平和の祭典オリパラにあわせ、平和都市静岡の礎となった家康の大御所政治や外交、世界レベルの産業による静岡と世界のつながりを取り上げる展示の実施 ○6月～7月 市民ギャラリー</p> <p>2 歴史観光ガイド 949千円 歴史文化施設から市内各地の歴史資源への回遊や市民ガイド団体の活動をつなぐ仕組みづくりと歴史観光拠点先進事例調査</p>
------	---



「東海の覇者 今川義元と駿府」展(H31.4～R1.5)



「今川ファミリーゆかりの地をめぐる」展
 関連ワークショップ(R1.7)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/10、1/2)	市債	その他	
当初予算額	147,855	63,831	7,900		76,124
前年度予算額	185,389	90,876	7,400		87,113

目的	「三保松原」の価値や魅力の源泉である松原を保全するとともに、景観の回復や松原の再生を図り、名勝であり世界文化遺産である「三保松原」を世界に向けて発信していく。
----	---



事業概要	<p>1 松原保全事業 91,725千円 三保松原の象徴である老齢大木を病気や倒伏から守る。 ○枯れマツの伐倒駆除や薬剤散布などのマツ材線虫防除 ○羽衣の松周辺の土壌改良、踏圧防止 拡充 ○老齢大木の樹木診断、倒伏防止</p>
	<p>2 松原再生事業 55,221千円 三保松原を景観的に優れた健全な松林へと再生する。 ○堆積松葉の除去や草刈り、除伐などの松原の日常管理 ○松原保全ボランティアの支援 ○三保由来のマツの育苗などを行うため、松原周辺を公有地化</p>
	<p>3 情報発信事業 909千円 三保松原に関わる文化や景観、保全について発信する。 ○松原フォーラム、保全・活用団体を対象とした保全研修の開催 ○松原総合情報サイト、音声ガイドシステムの運用</p>

【保全事業】



ドローンによる薬剤散布

【再生事業】



保全ボランティアの活動

【情報発信事業】

松原フォーラム
(若者トーク)

老齢大木の土壌改良



マツ育苗のための母樹園



松原総合情報サイト

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(総事業費の1/2以内)</small>	市債	その他	
当初予算額	37,574	15,185			22,389
前年度予算額	44,460	36,957			7,503

目的
 市内で開催されるフェスティバルが都市のシンボルとして世界中で認知されるためのブランド化及び国際発信力の強化を図るとともに、本市の国際的な認知度を向上させ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を図る。



事業概要	内容	金額
	1 国内外プロモーション事業 本市で開催されるフェスティバルが都市のシンボルとして世界中で認知されるため、昨年度設定した「ON STAGE SHIZUOKA」の下、市内・県外・海外プロモーション展開を実施	17,000千円
	2 フェスティバル評価システム構築事業 文化芸術事業がもたらす経済的・社会的影響やその効果を分析し、官民双方からの持続的な文化芸術への投資を引き出すための仕組みを構築	12,917千円
	3 フェスティバル・シズオカ推進会議 パフォーミングアーツを中心とした「フェスティバル・シティ静岡」の実現を目指し、会議参加者間で目的を共有し、アドバイス、意見や情報交換、情報共有の場とすると共に、決定事項等については各活動に反映	707千円
	4 国際文化交流事業 海外都市との文化芸術分野での交流	6,950千円

▼統一タグライン「ON STAGE SHIZUOKA」 まちなかの展開例



商店街バナー



階段サイン



静岡駅北口地下柱ラッピング

▼令和元年5月の朝鮮通信使祭りへの大道芸アーティスト派遣の様子



Witty Look



KANA∞



【拡充】

賑わい創出イベント（春フェス） まちは劇場推進課・産業振興課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>（総事業費の1/2以内）</small>	市債	その他	
当初予算額	560,215	122,531		4,000	433,684
前年度予算額	413,335	149,926		4,000	259,409

目的	多くの市民が参加するイベントを開催し本市の文化的な魅力を増進させ、賑わいを創出する。また、幅広く情報発信することで、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現を目指す。
----	--



事業概要	1 静岡まつり 76,715千円 徳川家康公にちなんだ「大御所花見行列」等を実施 ○時期 令和2年4月3日（金）～5日（日） ○会場 駿府城公園、青葉緑地 外
	2 ふじのくにせかい演劇祭 46,000千円 世界の最先端の演劇作品を集めた演劇祭 ○時期 令和2年4月25日（土）～5月6日（水・休） ○会場 静岡芸術劇場・舞台芸術公園 外
	3 ストレンジシード 27,720千円 演劇・ダンスを中心としたパフォーマンスイベント ○時期 令和2年5月2日（土）～5日（火・祝）※予定 ○会場 駿府城公園及び周辺中心市街地 ○出演者数 26組※予定（国外・国内）
	4 SHIZUOKA PICNIC GARDEN開催事業 拡充 15,000千円 本市ならではの春の過ごし方、ライフスタイルを提案 ○時期 令和2年5月2日（土）～5日（火・祝） ○会場 駿府城公園
	5 シズオカ・サンバカーニバル 4,000千円 サンバカーニバルチームによるパレード等を実施 ○時期 令和2年5月3日（日）、4日（月・祝）※予定 ○会場 七間町通り、呉服町通り、青葉シンボルロード
	6 シズオカ×カンヌウィーク 4,700千円 カンヌ国際映画祭にあわせ、野外映画祭、マルシェ等を実施 ○時期 令和2年①5月9日②16日～17日③23日～24日 ○会場 ①用宗海岸②七間町③清水マリナパーク
	7 第59回静岡ホビーショー 10,000千円 プラモデル、ラジコン、鉄道模型の展示会 ○時期 令和2年5月16日（土）、17日（日）（一般公開日） ○会場 ツインメッセ静岡

静岡まつり



ストレンジシード



シズオカ×カンヌウィーク



（千円）

事業概要	1 高等学校応援団フェスティバル 3,000千円 県内外の高等学校の応援団による応援パフォーマンスを披露 ○時期 令和2年6月27日（土）、28日（日） ○会場 グランシップ静岡 大ホール、 静岡駅北口地下広場※予定
	2 清水七夕まつり 9,000千円 清水地区中心市街地の賑わい創出を図るために開催 ○時期 令和2年7月2日（木）～5日（日） ○会場 清水駅前銀座商店から清水銀座商店街
	3 安倍川花火大会 42,200千円 安倍川河川敷での花火大会開催 ○時期 未定 ○会場 安倍川河川敷
	4 静岡夏まつり夜店市 1,000千円 静岡地区中心市街地の賑わい創出を図るために開催 ○時期 令和2年8月14日（金）～16日（日） ○会場 七間通り、呉服町通り周辺
	5 (仮称)駿府城夏祭り 新規 50,000千円 静岡市ならではのステージイベントや、食をテーマにしたア トラクションなどを開催し、「静岡の夏」ブランドを構築 ○時期 令和2年8月22日（土）、23日（日） ○会場 駿府城公園
	6 清水みなと祭り 58,820千円 港かっぽれ総おどり、地踊り、マリンフェスタ、海上花火大 会などを開催し、港まちの魅力を市内外に向けて情報発信 ○時期 令和2年8月28日（金）～30日（日） ○会場 清水区さつき通り及び日の出埠頭

応援団フェスティバル



清水七夕まつり



夜店市



安倍川花火大会



清水みなと祭り



写真：市民カメラマン 望月 敏秀

事業概要	1 東静岡アートプロジェクト 15,000千円 美術館等市内文化施設や民間ギャラリーなどと連携し、ヒロバを中心とした気軽に現代アートに触れることができる企画展 ○時期 令和2年10月～11月頃（3週間程度） ○会場 東静岡アート&スポーツ／ヒロバ、静岡市美術館、静岡県立美術館外※予定
	2 大道芸ワールドカップin静岡 107,180千円 大道芸を中心としたパフォーミングアーツのイベントを通じて、本市の文化的な魅力を国内外に幅広く情報発信 ○時期 令和2年10月31日（土）～11月3日（火・祝） ○会場 駿府城公園、静岡市民文化会館、市街地各所
	3 富士山コスプレ世界大会 5,000千円 コスプレイヤーの表現の場を提供するイベントを通じて、本市の文化的な魅力を幅広く情報発信 ○時期 令和2年11月21日（土）、22日（日）※予定 ○会場 清水駅前銀座商店街、エスパルスドリームプラザ 外
	4 地域伝統芸能全国大会 新規 16,500千円 国内外の地域伝統芸能が一堂に集まり競演するお祭りの開催 ○時期 令和2年 11月28日（土）、29日（日） ○会場 静岡市民文化会館、駿府城公園

めぐりアート静岡



大道芸ワールドカップ



写真：大道芸ワールドカップ実行委員会

富士山コスプレ世界大会



地域伝統芸能全国大会



事業概要	<p>1 静岡おでん祭 4,000千円 本市を代表する食べ物の一つである静岡おでんに関する情報を広く市内外に発信 ○時期 令和3年3月19日（金）～21日（日）※予定 ○会場 青葉シンボルロード</p>
	<p>2 （仮称）SDGs推進 TGC しずおか 2021(予定) ／TGCしずおか連携事業 47,380千円 SDGsの推進に係るイベント開催 ○時期 令和3年1月上旬※予定 ○会場 ツインメッセ静岡</p>
	<p>3 青葉シンボルロードイルミネーション 12,000千円 中心市街地の賑わいの創出や回遊性の向上を図るために、青葉シンボルロードにイルミネーションを設置 ○時期 令和2年11月～令和3年1月※予定 ○会場 青葉シンボルロード</p>
	<p>4 駿河東海道おんぱく事業 5,000千円 東海道の文化・歴史・食などの地域資源を生かした「体験プログラム」型観光商品の造成と実施 ○時期 令和3年2月～3月※予定 ○会場 東海道含めた市内</p>
	<p>5 七間町ハプニング 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センターが行うパフォーミングアーツ ○時期 3月中旬※予定 ○会場 七間町周辺</p>

おでん祭り



東海道おんぱく



青葉シンボルロード
イルミネーション



（仮称）SDGs推進 TGC しずおか 2021(予定)



七間町ハプニング



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(総事業費の1/2以内)</small>	市債	その他	
当初予算額	12,000	3,000			9,000
前年度予算額	14,000	9,800			4,200

目的	年齢や障害の有無を超えて、あらゆる人々が文化芸術活動に参加・交流できる環境を整備し、舞台芸術を通じた「生きがい」の創出とQOLを向上させ、人口活力を増進させる。
----	--



事業概要	<p>東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に、健常者と障がい者が共に同じ舞台に立つ公演を開催</p> <p>1 演劇ワークショップ 演劇スキルアップ講座、稽古型のワークショップ等により舞台表現力の向上を図り、成果発表としてミニ公演を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健常者クラス 30人程度 ・障がい者クラス 10人程度 ・発表公演 令和3年3月（静岡市民文化会館 中ホール） ※予定 <p>2 市民参加型バリアフリー公演 オリパラを題材にした静岡市オリジナル作品を制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本番公演 令和2年7月（静岡市民文化会館 中ホール）
------	---



写真：鈴木 元気

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	30,000				30,000
前年度予算額	20,032				20,032

目的	静岡都心の芸術文化の拠点とするとともに、市内外から多くの人を惹きつけ、周辺エリアの回遊性を高め、経済波及効果をもたらす施設となるよう、整備計画を決定する。
----	---



事業概要	<p>静岡市民文化会館に求められる機能や施設の整備手法などを検討し、整備計画を決定するとともに、PPP導入可能性調査を実施する。</p> <p>1 基本計画等策定 29,000千円 ○策定時期 令和3年3月(予定) ○委託項目 ・基本構想 ・基本計画 ・PPP導入可能性調査</p> <p>2 先進都市事例調査 1,000千円 ○ロームシアター京都(予定)ほか (改修・運営事例)</p>
------	---



静岡市民文化会館

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,000				12,000
前年度予算額	12,000				12,000

目的	本市の「心の公共財」である清水エスパルスに対する市民の応援機運を醸成し、地域の賑わい創出やコミュニティ機能の向上、地域への愛着醸成等を図る。
----	--



事業概要	<p>1 清水エスパルスパブリックビューイング開催事業 9,000千円 ○概要 エスパルスアウェイゲームのパブリックビューイングを開催する。 ○時期 2020シーズン ○場所 東静岡駅北口広場、清水駅東口広場等 ○対象 どなたでも（入場無料）</p> <p>2 清水エスパルス選手等派遣事業 2,500千円 ○概要 エスパルスの選手・マスコット等を、地域のイベントや学校行事等に派遣する。</p> <p>3 清水エスパルス応援啓発品作成・購入事業 500千円 ○概要 エスパルス応援啓発品を作成・購入し、市内各所での掲出や、市事業等で活用する。</p>
------	--



【 パブリックビューイングの様子 】
(R1.11.30 東静岡駅北口広場)



【 選手の地域イベント派遣 】
(R1.11.17 サイクルフェスin東静岡)

【拡充】

オリンピック・パラリンピック合宿等誘致事業

スポーツ交流課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (10/10)	市債	その他	
当初予算額	85,769	3,001		1,259	81,509
前年度予算額	60,000	4,907		200	54,893

目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、スポーツ・文化の振興、静岡市の魅力発信、交流人口の増加、国際化や多様性に対応できる人材の育成・環境の整備を図る。
----	---



事業概要	1 合宿の誘致・受入れ 44,482千円
	○ホストタウンの相手国・地域の事前合宿を受け入れ、合宿期間中や大会後に市民との交流事業を実施 受入団体 ・台湾陸上協会 ・スペインバドミントン連盟 ・モーリシャスオリンピック委員会 新規
	○国内競技団体等への誘致活動及び合宿実施支援
	2 交流・啓発等
	○台湾陸上協会との高校生相互派遣 6,056千円
○オリンピック・パラリンピアン等との交流 5,465千円	
○ライブサイト開催 新規 28,180千円	
東京2020大会の公式事業として、競技会場以外で大会を経験できるイベント（競技中継、競技体験、ホストタウン交流の取り組み発表など）を開催 ・日程 大会期間中 各3日間（予定） ・会場 青葉緑地（予定）	
○聖火リレー関連 新規 1,586千円	
・オリンピック聖火リレーサポートランナー ・パラリンピック聖火リレー採火式	



台湾陸上代表選手との交流



スペイン文化体験



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	14,574				14,574
前年度予算額	12,437				12,437

目的

野球大会及び各種イベントの開催により、市民の野球熱の醸成や交流人口の増加を図る。
また、プロ野球地元球団創設構想の推進に向け、関係者との協議・連携等を図る。

事業概要

- 第2回静岡野球ウィーク開催費助成 5,000千円
○概要 全国56チームが参加する全日本少年春季軟式野球大会や野球教室などの野球に関する複合イベント
○日時 令和3年3月19日(金)～24日(水)
○会場 草薙総合運動場硬式野球場等
- 大学野球オータムフレッシュリーグ in静岡開催費助成 2,000千円
○概要 東京六大学野球リーグ加盟大学などと地元大学・高校との交流試合、学童・未就学児野球教室など
○日時 令和2年11月21日(土)～23日(月・祝)
○会場 草薙総合運動場硬式野球場、清水庵原球場など
- 楽天イーグルス市民交流事業 **新規** 2,207千円
○概要 楽天選手OB等が小学校を訪問し、夢の大切さを伝える特別授業や、オープン戦への小学生招待事業など
○日時 令和3年3月上旬(予定)
○会場 市内小学校、草薙総合運動場硬式野球場
- 野球関係有識者等との協議・連携 5,367千円
○概要 野球関係有識者等との協議、施策推進に向けた検討・調査の実施など



静岡野球ウィーク



大学野球オータムフレッシュリーグ



楽天イーグルス市民交流事業



環 境 局

環境局 当初予算のポイント

<令和4年度(2022年度)の目指すべき姿>



	【生活環境】	【自然環境】	【地球環境】	【循環環境】
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 環境基準は概ね達成 光化学オキシダント、微小粒子状物質が一部測定局で未達成 一部地域で残る地下水汚染 生活雑排水未処理世帯が多数残存 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な環境に生息・生育する7,512種の生き物 特定外来生物の生息・生育域の拡大 自然と人が共生する南アルプスとその麓の井川地域をユネスコエコパークに登録 	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災以降の火力発電所稼働の増加に伴い温室効果ガス排出量が増加 近年、ゲリラ豪雨・台風などの自然災害の被害が激甚化 	<ul style="list-style-type: none"> H30年度一人1日当たりのごみ総排出量は前年度より微増 埋立量は減少傾向にあるが最終処分場の残余容量が逼迫 後を絶たない不法投棄
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 発生源となる工場や自動車排気ガス等の排出抑制対策強化 定期的な測定と情報収集 公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全に向けた取組 特定外来生物に対する意識啓発と駆除・防除 南アルプスユネスコエコパークの理念の継承と認知度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減に向けた更なる温暖化対策(省エネ、再エネ等の普及)の推進 排出量の削減と同時に人間社会が適応する対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 更なるごみの減量や資源化に向けた静岡県版「もったいない運動」の推進 最終処分場の延命化と次期最終処分場の整備 地元住民と協働した監視パトロールの実施

令和2年度 持続可能な社会の形成に向けた環境政策の推進(環境局)

環境政策の施策体系

1 住み良さを実感できる生活環境をつくります

大気汚染等調査測定事業(55,927千円)
 水質汚濁防止対策事業(17,492千円)
 地下水利用対策事業(1,270千円)
 騒音等防止対策事業(7,211千円)
 公衆衛生試験検査事業(26,614千円)
 環境試験検査事業(8,185千円)
 環境保健研究所機器整備事業(20,120千円)
 浄化槽設置整備事業補助金(95,305千円)



生活環境

2 豊かな自然環境を守り、次の世代へ繋いでいきます

生物多様性地域戦略推進事業(2,131千円)
 外来種適正管理事業(938千円)
 南アルプスユネスコエコパーク
 管理運営計画推進事業(19,956千円)
 鳥獣飼養登録等事業(411千円)
 放任竹林対策事業(9,386千円)
 興津川保全市民会議の運営(1,877千円)



自然環境

【環境教育】

環境大学の運営
 環境教育推進事業

3 総合的に地球温暖化対策に取り組みます

省エネルギー推進事業(6,119千円)
 新エネルギー推進事業(1,334千円)
 中小企業向け省エネルギーアドバイザー
 派遣事業(180千円)
 中小企業者省エネルギー設備
 導入事業補助金(1,500千円)
 地球温暖化対策普及啓発事業(8,094千円)
 静岡型水素タウン促進事業(8,888千円)
 (新技術開発等促進事業補助金)
 静岡型水素タウン促進事業補助金(3,600千円)
 風力発電施設管理事業(8,152千円)



地球環境



4 環境に配慮した廃棄物政策を推進します

ごみ減量対策事業(4,943千円)
 清水ストックヤード建設事業(47,379千円)
 最終処分場整備事業(124,200千円)
 家庭ごみ収集運搬業務(1,218,972千円)
 収集センターの運営(120,533千円)
 清掃工場運転・施設整備事業(3,525,033千円)
 沼上清掃工場基幹改修事業(2,759,250千円)



循環環境

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,094			6,000	2,094
前年度予算額	11,288			10,000	1,288

目的

地球温暖化防止のために取組を多くの人々が家庭、学校、会社など様々な場面で行うことができるよう、普及啓発活動を実施する。



事業概要

CO₂排出量削減に向け、より多くの市民に、温暖化防止や省エネへの取組の意識醸成を図るための普及啓発を実施

1 国民運動「COOL CHOICE (クールチョイス)」の普及啓発 8,000千円

○事業者との協働による「COOL CHOICE (クールチョイス)」のPR

【実施予定】

7月～1月IAIスタジアム日本平、市内イベント 等
広く市民等を対象にしたPRを実施

2 静岡市次世代エネルギーパーク関連施設等を活用した普及啓発 94千円

○次世代エネルギーパークを活用した普及啓発の実施
○日本平動物園での環境学習イベント

令和元年度 事業例

【清水エスパルスと連携した普及啓発】



5つ星家電PRブースの出展
(8月:IAIスタジアム日本平)



クールチョイス CMグランプリ表彰式
(11月:IAIスタジアム日本平)

【市内各所における温暖化対策啓発】



家電量販店と共同でのクールチョイス展示
(8月:静岡駅地下道展示コーナー)



住宅展示場でのクールチョイスPR
(10月:SBSマイホームセンター)



温暖化防止普及啓発イベント
(7月:静岡ガス本社前打ち水イベント)



次世代エネルギーパークツアー
(11月:日本平動物園)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,888				8,888
前年度予算額	15,138				15,138

目的
 本市の特性を踏まえた水素エネルギーの先駆的な利用方法を図り、水素エネルギーの需要拡大に向けた取組を促進する。
 また、他都市にも水平展開可能な、人口減少対策にも資する魅力的なまちづくり「静岡型水素タウン」を推進する。



事業概要	内容	金額
	1 静岡市水素エネルギー利活用促進協議会の運営 水素エネルギーに関する知見を有する学識経験者、企業等で同協議会を構成される運営するための経費	538千円
	2 「静岡型水素タウン」普及啓発活動経費 ○水素・燃料電池展の開催 ○静岡科学館る・く・るでのテーブルサイエンス及び科学教室の開催 ・テーブルサイエンス (夏休み期間中 静岡科学館る・く・る)	1,350千円
	3 静岡型水素タウン新技術開発等促進事業補助金 市域内における水素エネルギーの製造、運搬、利用等に係る調査研究及び新技術開発に取り組む事業に対して助成	7,000千円

【共通の視点】



水素・燃料電池展(日の出ふ頭)



静岡科学館る・く・るによるテーブルサイエンス



科学教室(出前授業)

**水素需要の拡大を図り
「静岡型水素タウン」を推進**

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	2,759,250	1,034,400	1,448,700	250,000	26,150
前年度予算額	15,550	2,900	9,900		2,750

目的 沼上清掃工場の主要な設備の老朽化に伴い、将来にわたり効率的かつ安定的な廃棄物処理事業の実現と、CO₂排出量削減を達成するため、基幹的設備改良工事を実施する。



事業概要

沼上清掃工場焼却施設の基幹的設備である燃焼設備（ボイラー）や排ガス処理設備（バグフィルター）、蒸気タービン発電設備などを更新する工事を実施する。
本工事により15年程度の延命化を見込んでいる。

- 1 事業期間 令和元年10月～令和5年9月
- 2 全体事業費（継続費） 7,663,750千円
- 3 令和2年度事業内容 1号焼却炉の燃焼設備や排ガス処理設備などの更新



沼上清掃工場全景



低圧蒸気復水器



蒸気タービン発電機

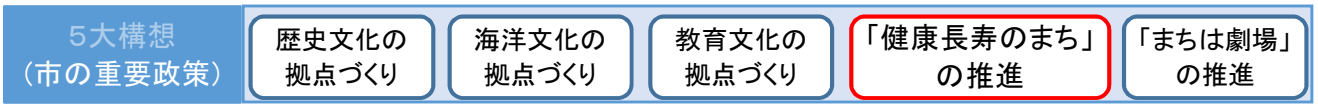
保 健 福 祉 長 寿 局

保健福祉長寿局 当初予算のポイント

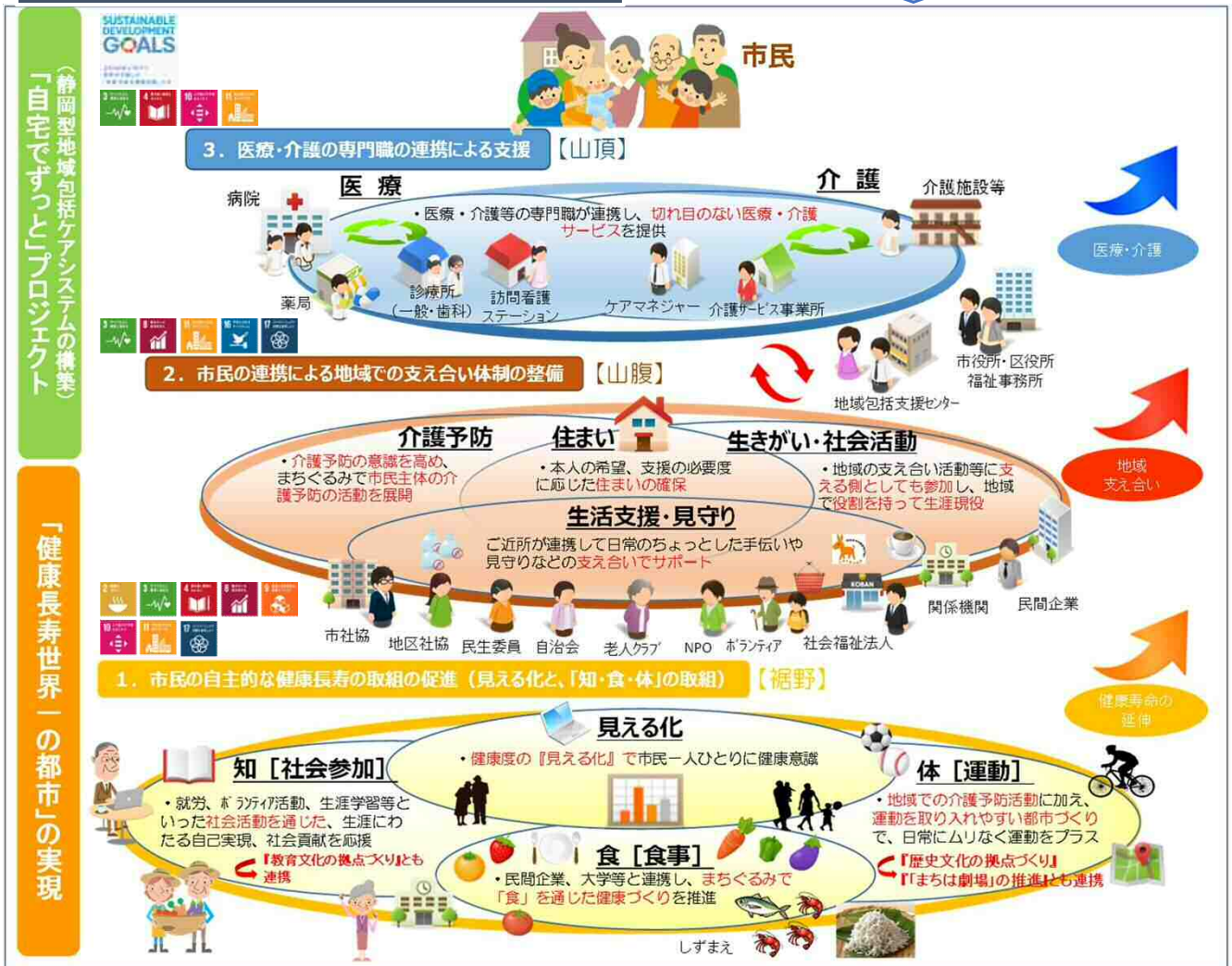
令和4年度(2022年度)の目指すべき姿

○市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた「自宅ですつと」、自分らしく暮らすことができる『健康長寿のまちづくり』を、さらに推進する。

○「富士山型」の施策体系を構築する、裾野分野の「健康長寿の取組の促進」、山腹分野の「支え合いの体制整備」、山頂分野の「医療・介護との連携」に関する取組を一層充実させる。



健康長寿のまちづくりの全体像(富士山型)



「富士山型」を総合的に実現するためのモデル事業

◆生涯活躍のまちづくりの推進◆

拡充◇生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業 27,926(18,809)

- ・葵おまち地区におけるお試し移住事業、移住支援事業
- ・駿河共生地区における地域交流拠点運営、共生・移住支援・地域福祉推進事業の実施



札の辻クロス



みなくる

～「健康長寿のまち」の推進に向けて～

山頂
↑医療・介護との連携↓

認知症の方と家族を支える体制づくり

- ◆相談支援体制の整備◆
拡充 ◇認知症ケア推進体制整備事業 38,600(10,000)
新規 内、認知症ケア推進センターの設置・運営
 ◇認知症疾患医療センター運営事業 10,223(10,215)



認知症セミナー

「自宅ですっと」を支える体制づくり

- ◆人材育成◆
拡充 ◇在宅医等養成研修事業 2,670(1,356)
 ◇介護人材確保推進事業 1,783(2,479)
 ◇「自宅ですっと」在宅医療・介護連携推進事業 2,747(4,110)
- ◆相談体制の整備◆
 ◇地域包括支援センター運営事業 902,672(902,976)

地域医療体制の確保と保健予防体制の強化

- ◆地域医療体制の確保◆
拡充 ◇公的病院事業費助成 60,000(40,000)
拡充 ◇山間地診療所運営費助成 42,600(39,600)
- ◆救急医療提供体制の確保◆
 ◇病院群輪番制運営費助成 291,405(291,853)
 ◇在宅当番医制運営費 66,220(68,089)
- ◆感染症の予防◆
拡充 ◇予防接種の実施(ロタウイルスワクチン定期接種化、風しん予防接種含む) 1,991,788(1,945,155)

認知症の方と家族を支える体制づくり／「自宅ですっと」を支える体制づくり

- ◆本人・家族を支えるバックアップ◆
 ◇認知症高齢者見守り事業 1,212(1,626)
 ◇徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練 607(639)
 ◇認知症カフェ普及促進事業 1,000(1,000)
- ◆人材育成◆
 ◇生活支援体制整備事業 113,484(118,363)



認知症カフェ

山腹
↑支え合いの体制整備↓

共に支え合う体制づくり

- ◆成年後見制度の利用促進◆
拡充 ◇成年後見制度利用促進事業 43,412(20,957)
新規 内、成年後見支援センターの設置・運営
- ◆発達障がいへのフォロー・障がい者支援体制の整備◆
拡充 ◇医療的ケア児等支援事業 2,248(451)
 ◇発達早期支援事業(ばすてるひろば) 8,988(7,765)
 ◇地域生活支援拠点整備事業 5,871(5,827)
- ◆支え合いによる介護予防◆
拡充 ◇S型デイサービス事業 71,394(70,217)
 ◇市民参加型フレイル予防プロジェクト 1,881(1,980)
 ◇障害者福祉施設等整備事業 93,391(96,740)

裾野
↑健康長寿の取組の促進↓

健康維持・社会参加への取組

- ◆がん対策・がん検診・特定健康診査等◆
新規 ◇がん患者支援事業費助成 9,598(0)
拡充 ◇がん検診事業 819,294(816,822)
新規 ◇特定健康診査受診率向上対策事業 4,856(0)
 ◇糖尿病性腎症重症化予防事業 3,540(3,541)
 ◇歯科保健推進事業 8,874(8,206)
- ◆社会参加の促進◆
 ◇元気いきいき！シニアサポーター事業 69,571(73,233)
 ◇しずおかハッピーシニアライフ事業 830(830)
 ◇高齢者就労促進事業 30,000(30,000)
- ◆自主的に介護予防に取り組むための環境づくり◆
 ◇「健康寿命世界一」市民チャレンジ事業(しぞ～かでん伝体操) 6,412(6,454)



元気いきいき！
シニアサポーター



(千円)

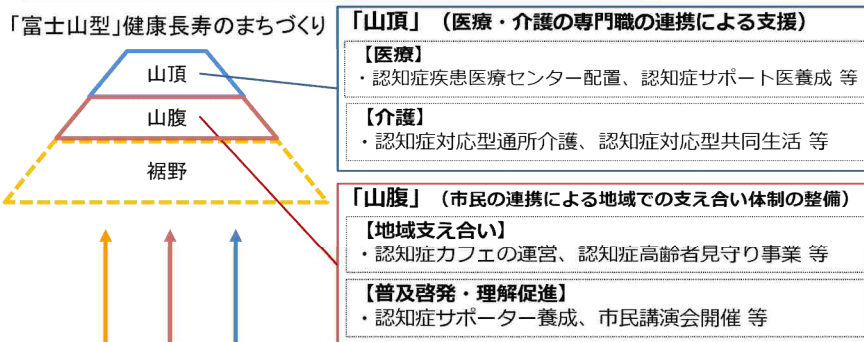
	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 <small>(国25%、県12.5%ほか)</small>	市債	その他	
当初予算額	38,600	6,342		2,575	29,683
前年度予算額	10,000	3,750		5,000	1,250

目的	認知症に係る個別相談や専門機関との連携等を実施するとともに、認知症予防を含めた認知症ケアの研修・研究等を行う拠点を創設し、認知症になっても、希望を持って暮らし続けることができるよう、認知症本人や家族の支援の充実と全世代に向けた認知症の理解促進を図る体制を構築する。
----	--



事業概要	1 認知症に関する企画会議等の開催 591千円 ○ 専門機関、学識者等で構成した企画会議、作業部会の開催等
	2 アドバイザー講師による助言 396千円 ○ 学識者による、認知症に関する専門的観点や科学的見地からの助言
	3 (仮) 認知症ケア推進センターの設置及び運営 37,077千円 新規 ○ (仮) 認知症ケア推進センターを秋頃まちなかに新設 ○ 専門職等による個別相談や専門機関への適切な紹介やつなぎを行う窓口、認知症の予防を含めた研修・セミナーの開催等の運営 ○ 認知症ケアの研究、事例検証の勉強会実施 ○ 広報、周知活動の情報発信
	4 (仮) 認知症ケア推進センターオープン記念事業 536千円 新規 ○ 新たな(仮称)認知症ケア推進センターオープンを祝い、市民へのPRと広報活動の一環として講演会等の実施

現行の各認知症施策(= 認知症の方への支援策)



(認知症の相談)



(認知症セミナー)

+
上記取組を一層強化し、支援充実のために、

新
(仮称) 認知症ケア推進センター

専門職等による個別相談	認知症ケアの研究
専門機関への適切な紹介	事例検証の勉強会の実施
認知症に関する研修・セミナーの開催	普及啓発・理解促進 等

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	2,747	1,585		634	528
前年度予算額	4,110	2,373		946	791

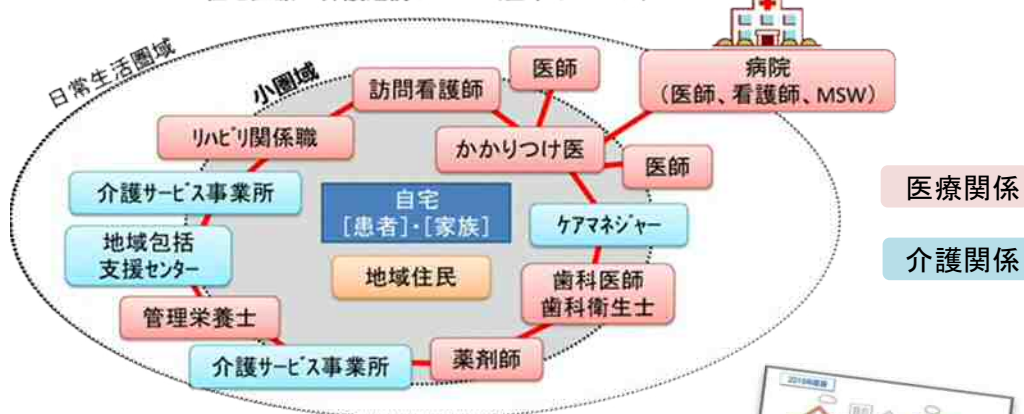
目的
後期高齢者人口の増加に伴い、高齢者が医療・介護が必要となっても、住み慣れた自宅ですっと最期まで安心して暮らせるよう、小圏域（小学校区）等の医療・介護専門職の連携による支援体制を構築する。



事業概要

- 「自宅ですっと」ミーティングの開催 1,251千円
○市民一人ひとりの思いや希望を受け、地域の医療（病院、内科、歯科診療所、薬局、訪問看護等）と介護（ケアマネジャー、介護サービス事業所、地域包括支援センター等）のチームによる「連携モデル」を多職種とのミーティングで検討。検討内容は、報告書として書き起こして見える化し、医療・介護事業所に配付するとともに、市民に普及啓発する。
- 市民啓発パンフレットの配布 1,496千円
○在宅医療や在宅介護のサービス、自宅における看取りに関する市民周知を図るため、パンフレット「よくわかる在宅医療・介護」を作成し、希望者に配布する。

在宅医療・介護連携チーム（基本イメージ）



「自宅ですっと」ミーティングの様子



パンフレット「よくわかる在宅医療・介護」

(千円)

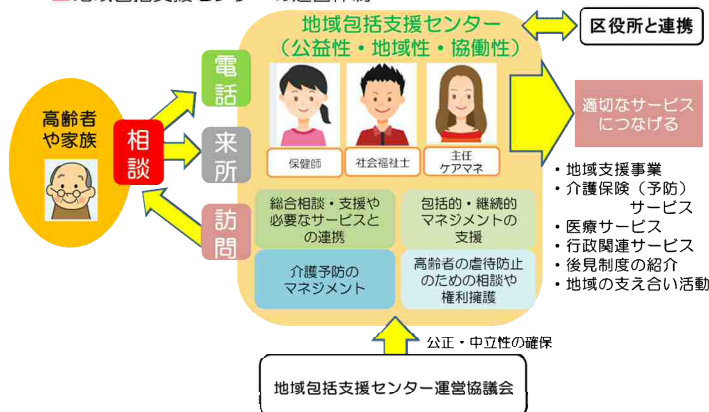
	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%ほか)	市債	その他	
当初予算額	902,672	645,189		83,719	173,764
前年度予算額	902,976	521,470		207,683	173,823

目的	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、地域の相談窓口となる地域包括支援センターを設置・運営し、高齢者の総合相談や介護予防等に取り組む。
----	---



事業概要	<p>1 地域包括支援センター（愛称 まるけあ）の運営 899,826千円</p> <p>○市内30の日常生活圏域において29か所のセンター及び2窓口（井川、由比）体制で高齢者やその家族を支援</p> <p>※地域包括支援センター 各センターに、保健師、社会福祉士及び主任ケアマネジャーを配置。専門職のチームアプローチで高齢者にかかる様々な相談等に対応 (主な業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や家族からの介護や福祉等に関するワンストップ相談窓口（総合相談） ・高齢者への虐待や消費者被害への対応（権利擁護） ・地域での介護予防の取組への支援や介護予防に関する相談・アセスメント（介護予防） ・地域のケアマネジャーへの助言・支援 <p>2 地域ケア会議推進事業 2,846千円</p> <p>○高齢者の自立支援・重度化防止のため、多職種連携による地域ケア会議を活用して介護予防サービス・支援計画（ケアプラン）を検討</p>
------	---

■地域包括支援センターの運営体制



(地域ケア会議の様子)

(千円)

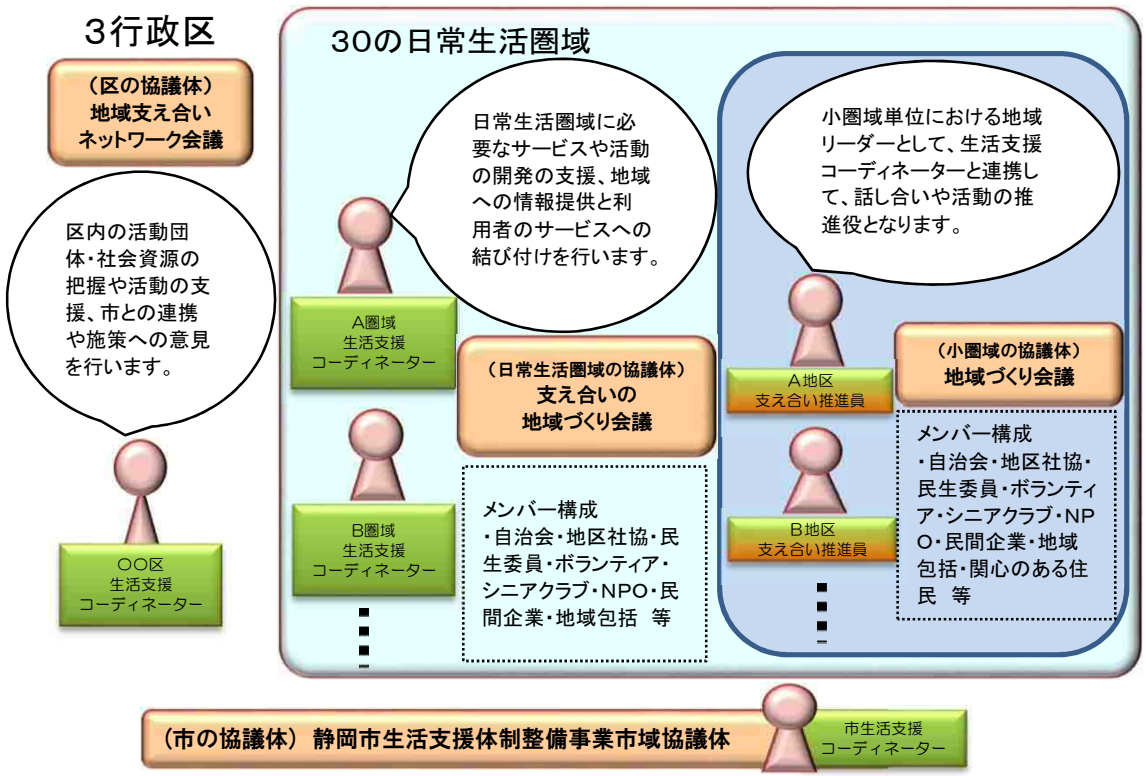
	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国38.5%、県19.25%)	市債	その他	
当初予算額	113,484	65,537		26,101	21,846
前年度予算額	118,363	68,355		27,223	22,785

目的
高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人、地域住民等の多様な主体による重層的な生活支援サービスの提供体制を構築する。



事業概要

- 生活支援体制整備事業のための協議体の設置 3,229千円
○多様な主体間の情報共有及び連携・協働による資源開発等を推進することを目的に、市、各区、各日常生活圏域及び各小圏域に協議体を設置
- 生活支援コーディネーターの配置 109,465千円
○地域に不足するサービスの開発やサービスの担い手の養成など多様な役割を担う「生活支援コーディネーター」を、各行政区及び各日常生活圏域に配置
- 生活援助型（基準緩和型）訪問サービス従事者養成研修 790千円
○生活援助型（基準緩和型）訪問サービス事業所の指定を受けた事業所において、身体介護以外の生活支援のサービス提供を行う担い手を育成するための研修を実施



(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	1,881	699		947	235
前年度予算額	1,980	742		990	248

目的
高齢者の自らの健康状態への「気づき」を通じて、健康意識の高揚と、健康増進や介護予防の自発的な活動を促進することにより、健康寿命の延伸を図る。



事業概要

65歳以上の高齢者を対象に、簡単に楽しく自分の健康状態を知る「フレイルチェック」を実施し、健康意識を高めてもらうとともに、「運動」「食生活（口腔・栄養）」「社会参加」からなるフレイル予防の取組を促進する。
フレイルチェックは、ボランティアの市民サポーターによる運営とすることで、市民主体事業としての普及を図る。

1 市民向け講演会	191千円
2 市民フレイルサポーター養成講座	129千円
3 市民フレイルサポーター合同連絡会	73千円
4 フレイルチェック（固定会場、出張会場） ○簡易チェック（11の質問項目）、深堀チェック（握力・ 体組成計による筋肉量・滑舌チェック等）の実施	1,215千円
5 サポーターステップアップ講座	273千円

※「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力（運動機能、認知機能など）が低下し、要介護になる危険の高い状態のこと。



▼フレイルチェック会場の様子 ▼滑舌チェック



▼市民ボランティアである
フレイルサポーター



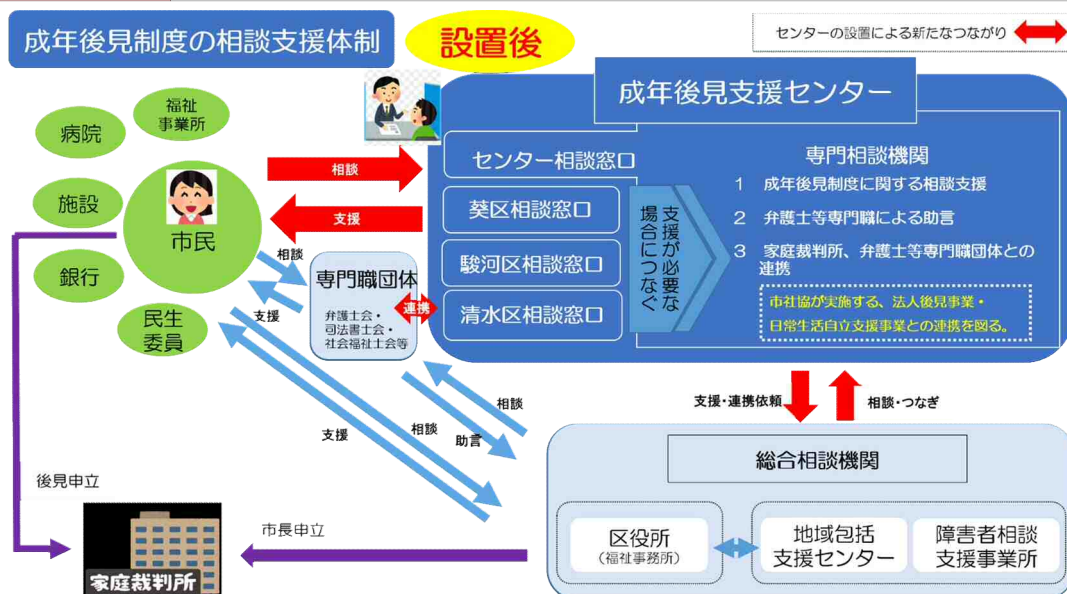
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源、 一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国1/2、県1/4ほか)	市債	その他	
当初予算額	43,412	17,204		3,145	23,063
前年度予算額	20,957	10,458		2,078	8,421

目的
一人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加するなか、市民が認知症などにより判断能力が低下しても地域で安心して自分らしく生活を営めるよう、市が関係団体と連携し、成年後見制度を必要とする人を利用につなげる支援体制を構築する。

⇩

事業概要	内容	金額
1	成年後見支援センターの設置・運営 相談支援の中核機関として成年後見支援センターを新設 ○設置年月 令和2年夏頃 ○場 所 静岡市中央福祉センター ○業務内容 ・相談支援窓口の開設 ・専門職相談会の開催 ・市民向け講演会、職員・関係団体向け研修会の開催等の広報・研修業務の実施 ・市民後見人養成研修の実施 市民後見人候補者へのフォローアップ 第2期市民後見人養成研修（基礎編）の実施	新規 21,986千円
2	成年後見制度利用促進協議会等の実施 弁護士等専門職団体、学識、家庭裁判所職員等で構成する協議会の開催等	413千円
3	成年後見制度利用支援事業 ・市長による制度申立の実施 ・資力のない被後見人等への後見報酬の助成	21,013千円



【拡充】

生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業

福祉総務課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	27,926				27,926
前年度予算額	18,809				18,809

目的
アクティブシニアを中心に、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や社会活動への参加などを通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、これにより住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができる「健康長寿のまち」を推進する。



事業概要

市内2地区において、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域を一層推進する。

- 駿河共生地区** 10,322千円
 コンセプト 交流・共生で「健康長寿のまちづくり」
 駿河地域モデルの発信
 ○静岡市地域福祉共生センター「みなくる」を中心に、次の事業を推進
 ・地域福祉の推進、共生、移住支援事業
 ・民設民営の地域・多世代交流型住宅整備事業 **拡充**
- 葵おまち地区** 5,588千円
 コンセプト 「健康長寿なライフスタイル」
 ～大人のおまち暮らし～ブランド化
 ○葵区呉服町の再開発ビル「札の辻クロス」を中心に、次の事業を推進
 ・お試し移住の機会を提供する葵おまち暮らし体験事業
 ・移住者及び地域住民との地域交流を推進する事業
- 2地区共通** 12,016千円
 ○生涯活躍のまち静岡推進協議会開催、事業PR等

駿河共生地区

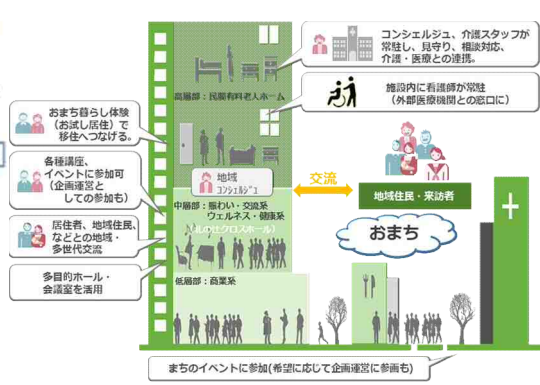
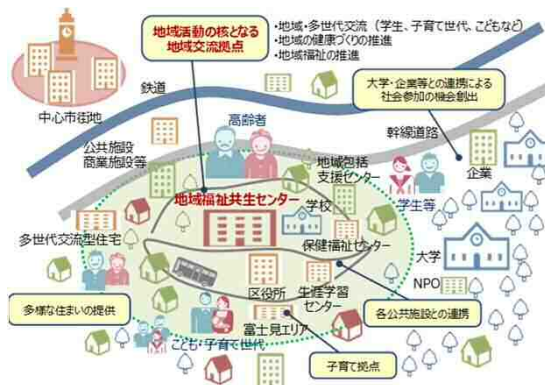


地域交流拠点
「みなくる」

葵おまち地区



地域交流拠点
「札の辻クロス」



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	30,000			30,000	
前年度予算額	30,000			30,000	

目的 「人生100年時代」と言われる中、健康づくりや生きがい・社会参加、生活安定の観点に加え、企業や地域活動の担い手の確保、地域・経済活性化等の観点から、多くの元気な高齢者が健康長寿で企業や地域で活躍することができるよう、環境を整備する。



事業概要

- 1 マッチング支援
 - シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」の運営
 - ・企業訪問による高齢者向けの仕事の切出し
 - ・高齢者のニーズに応じた求人情報等の紹介
 - 合同企業説明会、企業見学会、インターンシップの実施
- 2 人材育成
 - セカンド就労に向けた基礎研修
 - 地域就労支援
- 3 重点分野の新規雇用創出
 - 農業分野における新規就業者研修
 - 介護・福祉分野における雇用創出
 - ・家政士養成研修の実施
 - ・通える内職センター「ワークホームしずおか」の運営
 - 観光・運輸・小売業における雇用創出
- 4 普及啓発
 - メディアを活用した広報戦略の企画・実施
 - 支援メニューや好事例の周知、情報発信

貸付先 静岡市生涯現役促進地域連携協議会

人生後半の
生きがい
探しに



本市では、官民連携・局間連携（保健福祉長寿局・経済局）のもと、「NEXTライフワークプロジェクト」と称して高齢者の就労を促進する事業を展開している。

関連事業：シニア等の外部人材による中小企業支援（経済局）

シニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (国1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	819,294	5,849		2,034	811,411
前年度予算額	816,822	5,996		6	810,820

目的 検診を通じてがんなどの疾病を早期に発見し、生活習慣の見直しと早期治療を図る。



事業概要 国民健康保険被保険者など、職場等で検診機会のない市民を対象に、胃・大腸等各がん検診のほか、骨粗しょう症検診の機会を提供するとともに、検診受診率向上対策を実施する。

- がん検診等委託料 807,902千円
- 精密検査対象者へのフォロー事業 **新規** 1,870千円
精密検査未受診者を把握し、受診勧奨実施体制を構築
- 不定期受診者への個別勧奨通知の発送 **拡充** 703千円
ナッジ理論を活用した受診個別勧奨の実施
- 託児付きがん検診 288千円
小さな子を持つ母親を対象に、乳・子宮頸がん検診実施
- 日曜日検診 46千円
平日等受診する機会がない方に、乳・子宮頸がん検診実施
- その他 8,485千円
がん検診等事業に係る需用費等



「ナッジ理論」を活用した受診勧奨ハガキ



がん検診受診の様子



大型商業施設での日曜日検診の様子



がん検診受診を呼びかけるポスター

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(県支出金・繰入金充当分)</small>	市債	その他	
当初予算額	4,856	781		4,075	
前年度予算額					

目的

静岡市国民健康保険被保険者の特定健康診査とがん検診（大腸がん）の同時受診を推進することにより、3次総の指標である特定健康診査とがん検診の受診率向上と併せ、静岡市国民健康保険の医療費の抑制を図る。

事業概要

特定健康診査受診率の低い40歳～50歳代の特定健康診査対象者のうち、特定健康診査と大腸がん検診を同時受診した者に対し、大腸がん検診自己負担分を静岡市国民健康保険が負担する。

- 大腸がん無料クーポン券の作成 2,822千円
・静岡市国民健康保険に加入する40歳～59歳の者を対象に、大腸がん無料クーポン券を作成、毎年4月下旬に送付している特定健康診査受診券に同封し送付
- 同時受診者に対する自己負担金の助成 2,034千円
・特定健康診査と大腸がん検診を同時受診した者の大腸がん検診自己負担金を静岡市国民健康保険が負担
【大腸がん検診自己負担額】
個別検診（診療所などで実施） 400円
集団検診（健診センターや検診車などで実施） 200円

現状

静岡市国保
被保険者
40歳～59歳

特定健康診査 0円

大腸がん検診 400円

医療機関

特定健康診査は0円で受診できるが、大腸がん検診は400円を負担

平成30年度 特定健康診査受診率: 34.2% 大腸がん検診受診率: 21.6%

令和2年度

静岡市国保
被保険者
40歳～59歳

特定健康診査 0円

大腸がん検診 0円

医療機関

同時受診する場合に限り、大腸がん検診自己負担分を静岡市国保が助成

特定健康診査・大腸がん検診受診率の向上

- ・特定健康診査受診率: 2.0%増 ⇒ 36.2%
- ・大腸がん検診受診率: 4.6%増 ⇒ 26.2%

早期発見・早期治療による
医療費の抑制

(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	69,571	25,852		35,023	8,696
前年度予算額	73,233	27,243		36,836	9,154

目的	シニア世代（65歳以上）の生きがいづくり・仲間づくりを通じた「介護予防」や「孤立防止」を推進し、住み慣れた地域でいつまでも元気で暮らせる「健康長寿のまち」を目指す。
----	--



事業概要	<p>65歳以上の市民が、介護施設やS型デイサービスなどでボランティア活動をすると、活動した時間に応じてポイントが貯まり、静岡市の地場産品と交換できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ポイント交換までの流れ <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター登録をし、活動先の情報提供を受ける。 ・ボランティア活動等により、ポイントを得る。 ・ポイント交換申請をし、地場産品等と交換する。 ○活動先 <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設 ・S型デイサービス ・在宅高齢者支援 ・病院 ・障害者施設 ○登録サポーター数 7,039人 ○受入団体（活動先）数 840（令和元年11月末現在）
------	---

ポイントと交換できる地場産品



介護現場でのボランティア活動の様子



特選まぐろオリーブ油漬(フレーク)



莓狩り入園券(1名分)

貯まったポイントは、96種類の地場産品から交換可能(令和元年度)

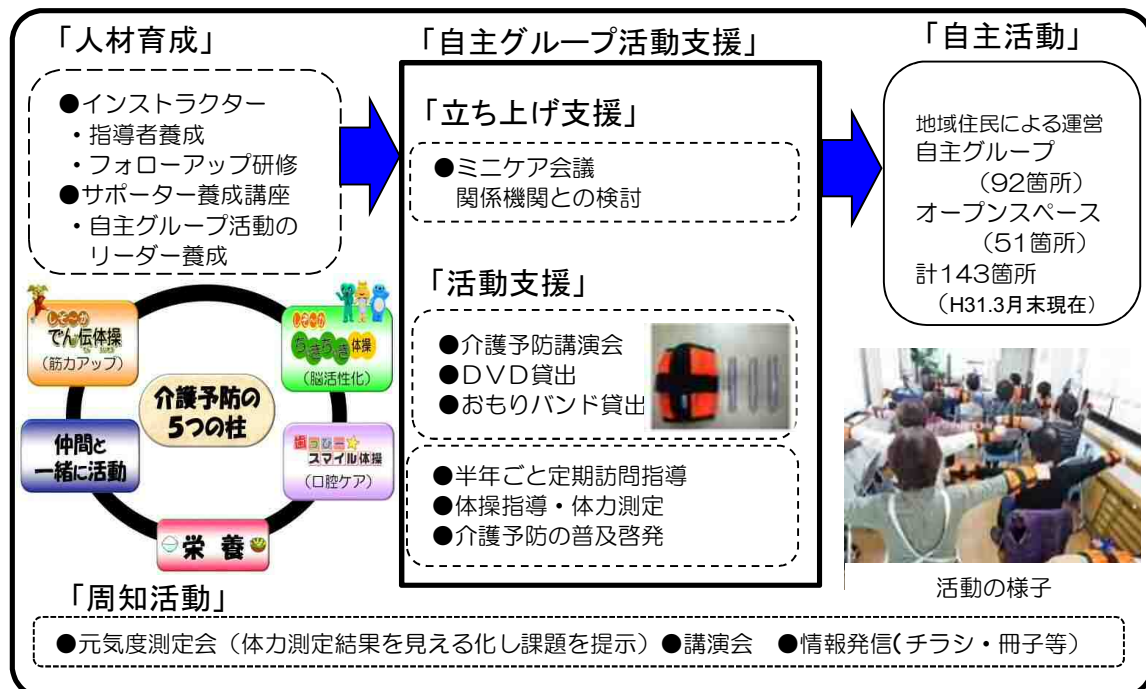
(千円)

	事業費	特定財源			一般会計 繰入金
		国・県支出金 (国25%、県12.5%)	市債	その他	
当初予算額	6,412	2,382		3,228	802
前年度予算額	6,454	2,401		3,246	807

目的	市民が介護予防体操（「しぞ〜かでん伝体操」「しぞ〜かちやきちやき体操」）に自主的に取り組む活動に対し、インストラクターなどの人材育成や活動を継続するための支援をさらに充実することにより、「健康寿命世界一」を目指していく。
----	--



事業概要	<p>1 自主グループの活動を支える人材の育成 1,328千円 (活動の質の向上と継続性の確保に対する支援の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防活動拠点に対し、半年に1回定期的に支援できるインストラクターの養成及びフォローアップ研修を実施 ○サポーター（立上げ支援など）の養成 <p>筋力向上のための「しぞ〜かでん伝体操」と共に、脳活性化プログラム「しぞ〜かちやきちやき体操」を地域で実施できる人材育成研修を実施</p> <p>2 自主グループの活動支援 5,084千円 (活動の幅の拡大と参加者のモチベーションアップへの支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インストラクターの定期支援 ○インストラクターによる定期支援（体力測定・体操指導）を増やし、自主活動の継続支援を実施 ○元気度測定会 <p>市内各地で体力測定（歩く能力・バランス能力など）を体験できる機会を設け、健康状態や課題を見える化し、介護予防への取組を促進</p>
------	---



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,598				9,598
前年度予算額					

目的	がん患者の治療と社会参加等の両立を支援し、療養生活の質の向上を図る。
----	------------------------------------



事業概要	<p>1 若年がん患者等生殖機能温存治療費助成 1,220千円 ○がん治療により生殖機能の低下又は失う恐れがあると診断された40歳未満の市内在住者に対し、精子、卵子等の採取から凍結保存するまでの一連の医療行為に係る経費を助成</p> <p>2 がん患者医療用補整具購入費助成 6,020千円 ○がん治療によって脱毛又は乳房を切除した者に対し、医療用補整具の購入に要する費用の一部を助成</p> <p>3 若年がん患者等在宅療養生活費助成 2,358千円 ○在宅療養生活を行う40歳未満のがん末期患者に対し、居宅サービスや福祉用具貸与、福祉用具購入に要する費用の一部を助成</p>
------	---

《生殖機能温存治療費助成》



《医療用補整具購入費助成》



ウィッグのイメージ

《在宅療養生活費助成》



子ども未来局

子ども未来局 当初予算のポイント

令和4年度(2022年度)の目指すべき姿

静岡型子ども・子育て支援の推進

「子育てしやすいまち(親支援)」、「子どもが良く育つまち(子ども・若者支援)」の2つの視点から、子ども・若者とその家庭への「切れ目のない支援」をさらに充実させ、「子どもを産み育てたいまち」と思える市民の実感を高める

子育てしやすいまち(親支援)

- ◆核家族化や共働き世帯の増加等、子どもを取り巻く社会情勢の変化に対応し、女性やその家族の**子育ての希望をかなえる**
- ◆「子育て安心プラン」「新・放課後子ども総合プラン」等を踏まえ、多様な保育ニーズや「小1の壁」に対応し、**質と量の両面から、子どもの預け先を確保**する

子どもが良く育つまち(子ども・若者支援)

- ◆乳幼児期、学童期、青年期を通じて「**思いやりのある子**」を育てる
- ◆いじめ、ひきこもり、不登校、虐待等、**困難を有する子ども・若者に対し、きめ細やかな支援を実施**し、子ども・若者の自立や社会参加を促進する

令和2年度の主な取組

妊娠・出産期から青年期までの「切れ目のない支援」

妊娠・出産期

産婦健康診査事業【重点P】

【46,000千円】

産後うつ予防のため、産後2週間、1か月健診の費用を助成

産後ケア事業【重点P】

【14,110千円】

産後4か月未満の母親とその子のケアを3区で実施

ママケアデイサービス事業

【6,699千円】

産後4か月～1歳未満の母子を対象とした相談・交流・休息の機会を支援

不妊治療費助成【228,311千円】

不妊治療・不育症治療の費用を一部助成

子育て世代包括支援センター【693千円】

母子保健コーディネーターを各区に配置(直営)

乳幼児期

保育園等の待機児童解消

私立認定こども園・保育所整備

【1,444,660千円】

幼稚園の認定こども園移行、保育園の定員増、小規模保育事業等の新設により、385人分の受け皿を確保する

私立こども園・保育所等運営費補助金

【1,871,200千円】

保育士宿舎借り上げ支援事業費補助金【重点P】

【7,656千円】

→保育士の処遇を改善し、保育士確保対策を推進
→首都圏等からの保育士の移住促進

◎私立幼稚園事務費負担金【新規】

【1,711千円】

私立幼稚園における「幼児教育・保育の無償化」にかかる事務費の一部を負担

子育て支援センターの運営

【277,601千円】

子ども未来サポーター

【31,676千円】

保育コーディネーター

発達の早期支援

発達早期支援事業【重点P・連携】

【6,951千円】

「あそびのひろば」、「ぱすてるひろば」を市内6ヶ所で実施

新生児聴覚検査事業【21,879千円】

先天性代謝異常等検査事業【17,956千円】

学童期

放課後児童クラブの待機児童解消

放課後児童クラブの整備
【209,743千円】

放課後児童クラブ4クラブを整備し、
185人分の受け皿を確保する

○放課後児童クラブの運営
【拡充】【1,083,003千円】

→全83クラブを運営する
→午後7時までの延長を全クラブで実施

民間児童クラブへの助成
【50,136千円】

公設児童クラブの不足分の受入れ、
利用者の多様なニーズを満たすため、
民間の児童クラブ(5クラブ)に補助

児童館運営事業【227,024千円】
児童館12館を運営

子ども医療費助成【2,594,100千円】

青年期

結婚支援

しずおかエンジェルプロジェクト
【重点P】【2,016千円】

→出会いのイベントの開催
→婚活サポーターの養成
→官民連携による結婚に関する
意識啓発・情報発信

結婚新生活支援補助金
【重点P】【10,000千円】

本市に住民票があり、所得が340万円
以下の夫婦に対し、新生活に係る費用
を助成し、結婚を促進する

高校生まちづくりスクール事業

高校生まちづくりスクール
を開催し、シチズンシップを育む
【693千円】

成人式の開催【18,982千円】

○ひきこもり対策の推進【重点P・拡充】※再掲※

【25,631千円】

ひきこもり地域支援センターの運営、
ひきこもりサポーターの養成・活用

困難を有する子ども・若者への支援

○里親委託の推進【重点P・拡充】【26,412千円】

→里親リクルート事業及び里親訪問等支援事業
を拡充し、**里親委託率50%**を目指す
→里親向けの研修、里親同士の交流を図り、
里親の代替養育能力を高める

要保護児童の自立支援【重点P】【17,683千円】

→転居費用及び大学入学金等又は普通自動車運転
免許の取得費用を助成し、大学進学や就職を支援
→施設退所者等への生活相談を実施し、対象者の自立を支援

子どもの貧困対策の推進【連携】

ひとり親家庭の学習・生活支援
【重点P】【22,877千円】

市内13ヶ所で学習・生活支援を実施

子ども食堂交流事業【重点P】

→子ども食堂の運営団体の交流会を開催
→子ども食堂従事者への研修実施【183千円】

不登校・ひきこもり対策

適応指導教室(教育相談事業)【重点P】

タブレットを利用した適応指導教室の運営
【12,337千円】

○ひきこもり対策の推進【重点P・拡充】

ひきこもり地域支援センターの運営、【25,631千円】
ひきこもりサポーターの養成・活用

子育てしやすいまちPR事業【重点P】【78千円】

「子育てしやすいまちNo.1」のポテンシャルを活かし、
本市の子育て支援施策を市外・市内に積極的に
PRすることにより、**移住・定住人口の増加につなげる**

→移住希望者向けセミナーの開催
→静岡市子育てキャッチフレーズのPR

【凡例】

◎ 新規事業【新規】

○ 拡充事業【拡充】

【連携】局間連携事業(二重線囲み)

【重点P】重点プロジェクト事業

■ 「親支援」となる事業

■ 「子ども・若者支援」となる事業

■ 「人口活力維持対策」となる事業

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	46,000	23,000			23,000
前年度予算額	49,000	24,500			24,500

目的

産後うつの早期発見や新生児への虐待予防を図るため、母子への支援を強化する。

事業概要

産後2週間、産後1か月の産婦健診に係る費用を、1回5,000円を上限に助成する。

- 実施回数 対象者1人につき2回を限度
- 実施時期 第1回 概ね産後2週間
第2回 概ね産後1か月
- 実施項目 外来受診において実施
 - ・問診（授乳状況、育児不安等）
 - ・診察
 - ・体重、血圧測定
 - ・尿検査
 - ・こころの健康チェック表
（エジンバラ産後うつ病質問票）
- 実施場所 産科医療機関
- 実施方法 母子健康手帳交付時に産婦健康診査受診票を交付



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	20,809	9,993		822	9,994
前年度予算額	22,042	10,589		864	10,589

目的

安定した育児環境の確保と母子の孤立感の解消を図り、もう一人産みたくなる環境を整えるため、助産師等による産後の母体の回復に向けたケアや育児指導などのサービスの提供（産後ケア事業）、相談支援・交流・休息の場の一体的な提供（ママケアデイサービス事業）を行う。



事業概要

- 産後ケア事業 14,110千円
 - 産後の母体の回復や育児について、助産師等が①母体ケア、②乳児ケア、③授乳・沐浴等の育児指導、④乳房ケア、⑤育児相談等を提供する事業（通年実施）
 - （対象）・生後4か月未満の乳児とその母親で、産後の母体の回復や育児に関する不安が強い方
 - ・乳児が長期入院している場合は、日帰り型【相談タイプ】と訪問型に限り母親のみの利用も可能
 - 実施種別（1日あたり利用者負担額）
 - ・宿泊型 助産所等に宿泊（9,000円）
 - ・日帰り型 助産所等に通所
 - 【相談と休息タイプ】1回7時間程度（5,000円）
 - 【相談タイプ】1回120分程度（3,000円）
 - ・訪問型 助産師等が対象者宅を訪問（3,000円）
- ママケアデイサービス事業 6,699千円
 - 母親の悩みに応える相談支援、休息、交流の場の一体的な提供を行う事業
 - 市内の民間宿泊施設、温泉施設を活用し、官民協働で実施
 - （対象）生後4か月以上1歳未満の乳児とその母親
 - 1回あたり利用者負担1,500円

産後ケア事業



母体の回復に向けた心身のケアや育児指導を提供

相談支援・交流・休息の場を一体的に提供

母のみの利用も可能
（長期入院等、やむを得ない理由で乳児が外出できない場合）

ママケアデイサービス事業



官民協働！

民間宿泊施設、温泉施設を活用

幼児期の教育・保育の施設整備

子ども未来課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (8/9、2/3)	市債	その他	
当初予算額	1,444,660	1,112,564	311,700		20,396
前年度予算額	841,069	668,794	153,600		18,675

目的
 保育所等の待機児童ゼロを維持するため、施設整備により必要となる教育・保育の受け皿を確保する。
 安全かつ安心な教育・保育環境を確保するため、老朽化した園舎の建替を実施する。



事業概要	令和2年度、令和3年度の2年間で438人分の定員増を計画	
	令和2年度 整備予定 定員数385人	
	1 認定こども園等の新設・定員増等 ・施設数 4か所 定員 100人増	883,117千円
	2 私立幼稚園の認定こども園移行 ・施設数 2か所 定員 105人増	465,543千円
3 小規模保育事業等の新設 ・施設数 10か所 定員 180人増	96,000千円	

<静岡市子ども・子育て・若者プラン（R2～R6）（案）における教育・保育の量の確保の目標>

確保方策	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
既存保育施設の定員増	17か所 10人	1か所 △18人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人
私立幼稚園の認定こども園移行	2か所 105人	2か所 71人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人
認定こども園等の新設	1か所 90人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人
小規模保育事業等の新設	10か所 180人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人
合計	30か所 385人	3か所 53人	0か所 0人	0か所 0人	0か所 0人



発達早期支援事業

子ども家庭課・障害福祉企画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/4)	市債	その他	
当初予算額	15,939	11,953			3,986
前年度予算額	14,561	7,280			7,281

目的 発達が気になる子を早期に支援するため、子どもに応じた支援の場につなぐ体制を構築する。



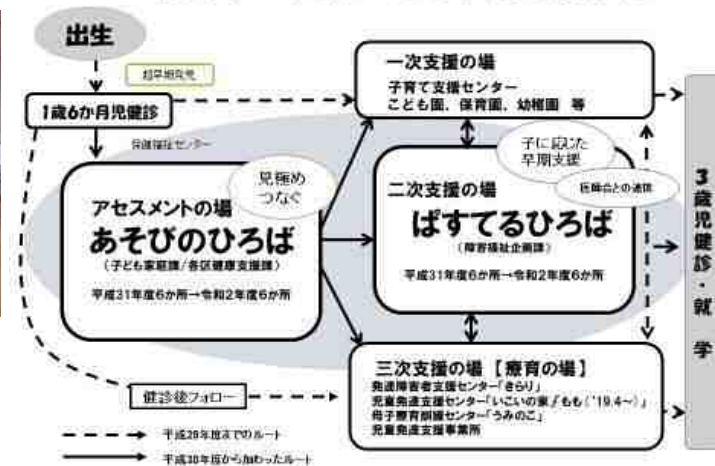
事業概要

切れ目のない発達早期支援体制の構築

1 アセスメントの場「あそびのひろば」の整備 6,951千円
 1歳6か月児健康診査から発達の気になる子を超早期につなぐアセスメントの場を整備。遊びを中心として小規模集団活動を体験的に行い子どもの発達を見極め、次の適切な支援先につなぐ。
 ○場所 6か所（各区2か所）
 ※会場は各区保健福祉センターを予定
 ○回数 1クール（3か月）あたり5回×4クール×6か所
 ○人数 1クールあたり10組（計240組）
 ○時期 令和2年4月～

2 二次支援の場「ぱすてるひろば」の整備 8,988千円
 「あそびのひろば」から引き続き支援が必要な子などを受け入れる場を整備し、子どもの特性に合わせた支援を年間を通して行い、子の発達を促す。
 ○場所 6か所（各区2か所）
 ○回数 月2回×6か所
 ○人数 各回10組
 ○時期 令和2年4月～
 ○医師関与 子の適切な支援につなげるため、医師による助言の場を設ける。

静岡市が目指す発達早期支援体制



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (2/3、1/3、1/6)	市債	その他	
当初予算額	1,342,882	916,143	29,500		397,239
前年度予算額	1,399,048	943,602	52,700		402,746

目的

放課後児童クラブへの入会希望者が全員利用できるようにするため、施設整備を行うとともに、民間児童クラブへの支援を進める。また、放課後児童クラブを利用しやすい環境を整えるため、利用者負担の軽減・開所時間延長などを行い運営の充実を図る。



事業概要

令和2年度 当初の受入児童数 6,490人

- 1 放課後児童クラブ室の整備 209,743千円
○ 5室のクラブ室整備 (185人)
- 2 放課後児童クラブの運営 1,083,003千円
○ 令和元年度整備クラブ室等を新たに加えるとともに、1単位の児童数を40人以下としてきめ細やかな子育て支援を実施 79クラブ (142単位) → 83クラブ (198単位) **拡充**
○ 支援の質の向上及び安定的なクラブ運営に向け、支援員全体の全体の処遇を見直し **拡充**
○ 開所時間を原則19時まで延長
○ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により利用者負担額を軽減
- 3 放課後児童クラブへの助成 50,136千円
○ 基準を満たす民間児童クラブに対し、支援員処遇改善経費等を含む運営費を助成 **拡充**
○ 世帯の所得やきょうだいの入会状況等により民間児童クラブの利用者負担額を軽減
- 4 放課後子ども教室 (教育局) との連携による放課後児童対策の推進 **拡充**
○ 地域住民の参画により、放課後、学校施設を利用して全学年の児童を対象に安心・安全な体験・交流の場を提供する「放課後子ども教室」との連携を進めることで、放課後児童対策を推進
放課後児童クラブとの一体型 68校
(放課後子ども教室 82校実施予定)

放課後児童クラブの様子



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	10,000	5,000			5,000
前年度予算額	10,000	5,000			5,000

目的

若者の未婚化及び晩婚化の抑制を図るため、新婚世帯を対象に、結婚に係る費用を助成し、経済的負担を軽減する。

事業概要

- 対象となる世帯
- ・令和2（2020）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までに婚姻届を提出した世帯
 - ・本市に住民票がある世帯
 - ・婚姻日における年齢が夫婦とも34歳以下
 - ・夫婦の所得の合計が340万円未満の世帯
- 補助対象となる経費
- ・新規の住宅取得費用
 - ・新規の住宅賃借費用
(賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料)
 - ・結婚に伴う引越し費用
- 補助額
上記の費用の合計で30万円を上限
(令和元年度上限30万円)

(補助対象)
住宅の購入費
賃料、共益費
敷金、礼金
仲介手数料



(補助対象)
新婚生活のための
引越費用

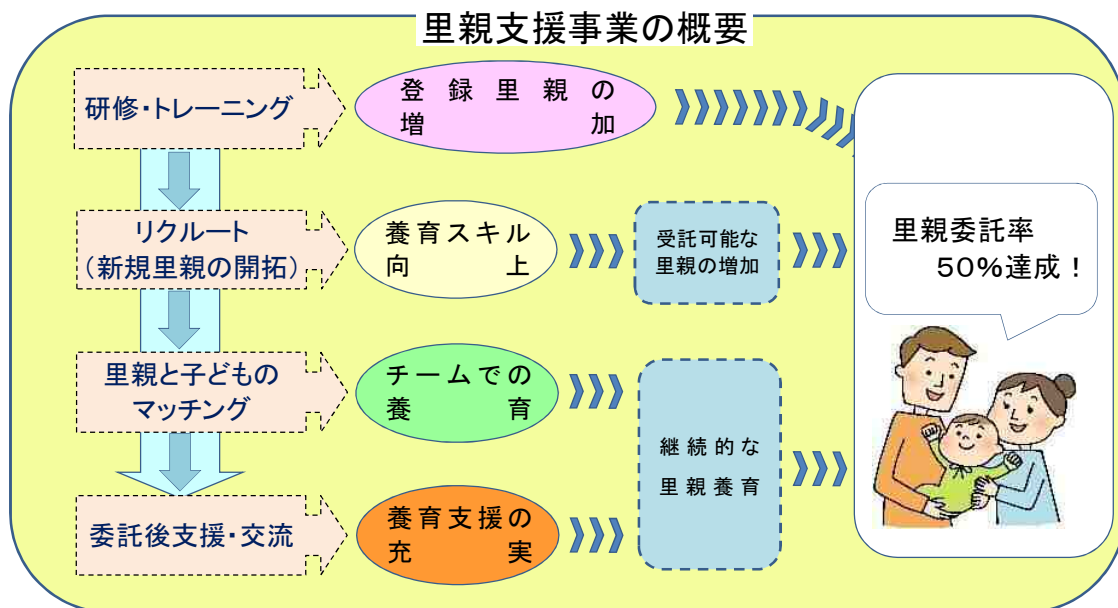
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	26,412	13,041			13,371
前年度予算額	21,242	10,457			10,785

目的 社会的養護が必要な子どもを家庭的な環境下で養育するため、里親への委託を促進する。



事業概要	内容	金額
事業概要	1 里親のリクルート事業 ・ 里親リクルーターの配置 (里親候補家庭への訪問, 里親制度説明会の強化) ・ 里親月間の行事開催	7,126千円 拡充
	2 里親研修・トレーニング事業 ・ 里親登録前研修や更新研修の実施 ・ 養育力を向上させるためのトレーニング事業	7,654千円
	3 里親と子どものマッチング ・ 里親に委託された子どもの自立に向けた計画策定	2,886千円
	4 委託後の里親支援 ・ 里親家庭への訪問相談支援期間の拡大 (2か月→6か月) ・ 里親同士の定期的な相互交流事業	8,416千円 拡充
	5 その他 ・ 里親賠償責任保険関係事業	330千円



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	36,858	12,238		164	24,456
前年度予算額	41,138	12,972		164	28,002

目的	貧困の連鎖を断ち切るため、支援を必要とする子ども・家庭を確実に捉え、教育の支援・生活の支援・保護者の就労支援・経済的支援を行う。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ひとり親家庭等の子どもへの学習支援事業 22,877千円 大学生等のボランティアの協力を得て、安心して過ごせる居場所を提供するとともに、子どもの気持ちに寄り添った学習支援と生活支援を実施 ○支援対象 小学生から高校生まで ○学習支援 市内10か所で実施 ○生活支援 市内3か所で実施 2 適応指導教室の運営（教育相談事業） 12,337千円 不登校児童生徒の学校生活への復帰や集団生活への適応など、自立に向けた取組を支援（市内3か所の適応指導教室の運営、タブレットを活用した学習支援の継続） 3 母子・父子自立支援プログラム策定等事業 1,644千円 児童扶養手当受給者を対象に、自立支援プログラムを策定 ハローワーク等関係機関と連携した就業支援
------	--



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	25,631	11,659			13,972
前年度予算額	23,640	11,718			11,922

目的

様々な要因から、「ひきこもり」状態にある人及びその家族を社会的自立に向けて支援するため、電話・面接相談や周知・啓発、支援者の人材養成等を行う。

事業概要

- ひきこもり地域支援センター設置運営事業 25,313千円
拡充
○ひきこもり地域支援センタースタッフの処遇改善により、アウトリーチ支援の充実や相談支援体制の強化を図る。
・設置場所 南部図書館2階（DanDanしずおか）
・実施内容 相談（電話・面談）
アウトリーチ支援（訪問・同行支援、出張相談）
当事者支援（居場所活動の運営）
家族支援（家族教室の実施）
市民への周知・啓発事業、関係機関との連携
- ひきこもり支援に携わる人材の養成研修事業 134千円
○ひきこもりサポーター初級養成講座
ひきこもり支援に興味のある方を対象に講座を実施
○ひきこもりサポーターステップアップ研修
初級養成講座修了者を対象に資質向上を目的とした研修を実施
令和2年度はこの2つの講座を1つに統合予定
- ひきこもりサポート事業 184千円
○ひきこもりサポーター派遣
・サポーター登録者を対象に、「居場所活動」、「家族教室」を中心に、市内で実施されるひきこもりサポート事業にサポーターを派遣し、アウトリーチ支援の充実を図る。

居場所活動（当事者支援）



週2日程度2時間実施
制作活動、フリータイム

家族教室（家族支援）



毎月1回2時間
前半1時間はテーマごとの講演
後半1時間は参加家族の交流

經 濟 局

経済局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

豊かな地域資源と恵まれた立地環境を土台として、世界水準の産業やオンリーワンの技術を持つ企業が躍動し、地域経済に活力をもたらすことにより、人々が生き生きと暮らし、働くまちを目指します。

令和2年度の主な取組

国内外から人々が訪れる「国際海洋文化都市」の実現

清水港周辺に集積する行政、民間企業、教育機関などと連携し、海洋関連産業の振興を推進するとともに、地球全体の海を取り巻く環境の保全や、海洋人材の育成に取り組みます。



【産学民官の連携による「海洋文化都市拠点」の形成】

国際海洋文化都市の拠点となるミュージアムの開業に向け、海洋文化都市としての意識醸成を図ります。

■海洋・地球総合ミュージアムプレ事業 3,300千円 **新規**



【「働くみなと」に「楽しむみなと」を加えた 求心力の強い港町の創生】

国内外から人々を呼び込み、地域経済の活性化を図ります。

■清水港客船誘致委員会負担金 70,340千円 **拡充**



【静岡市から世界へ飛躍する 海洋新産業の創出】

本市の持つポテンシャルを最大限に活かし、産学官連携による産業クラスターの形成を目指します。

■海洋産業クラスター創造事業 17,200千円

魅力的な人と企業が出会い、世界に誇れる価値を創造するまちの実現

本市の産業の強みや社会経済情勢の変化を踏まえ、企業の持続的な成長を支援していきます。

【市内企業の持続的な成長】

企業の成長ステージに応じた、様々な課題の解決を支援します。

■IT導入に向けた生産性向上支援事業

6,800千円 **拡充**

■シニア等の外部人材による中小企業支援

13,820千円

■事業承継促進事業

8,000千円 **拡充**

■プレミアムフライデー推進事業

6,400千円



事業承継セミナー



企業と新現役の
マッチング交流会

【 企業立地と立地環境の整備 】

立地環境の整備を推進し、企業誘致と留置を進めていきます。

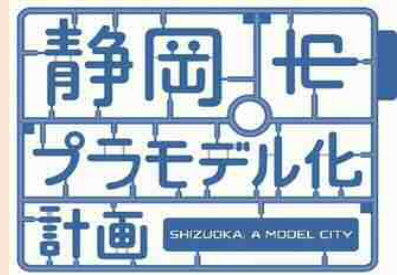
- 企業立地用地開発推進事業 15,246千円 拡充
- 企業立地促進事業費助成 492,000千円
- WeWorkを活用した首都圏プロモーション支援等事業 9,203千円 拡充



【 地域環境を活かした産業振興 】

しずおか中部連携中枢都市圏の連携による首都圏PRに取り組むほか、中部横断自動車道の整備の進展や清水港の物流機能強化などにより活発化する「ヒト」や「モノ」の流れを踏まえた地域経済の活性化について検討していきます。また、新たなシティプロモーションとして、地場産品である「プラモデル」をモチーフとしたモニュメントをまちなかに設置します。

- 「静岡市プラモデル化計画」推進事業 30,000千円 新規
- 清水港後背地における地域経済の活性化検討事業 10,000千円
- 圏域経済拡大支援事業 20,000千円 新規



プラモニュメントのイメージ

山から海の多彩な資源を生かして、人や地域が潤う農林水産の盛んなまちの実現

農林水産業の持続的な発展に向け、様々な支援に取り組めます。

【 所得の向上と担い手の確保・育成 】

経営の基盤となる農地の整備等により、生産性向上を図り、誰もが農業に取り組みやすい環境の整備を図ります。

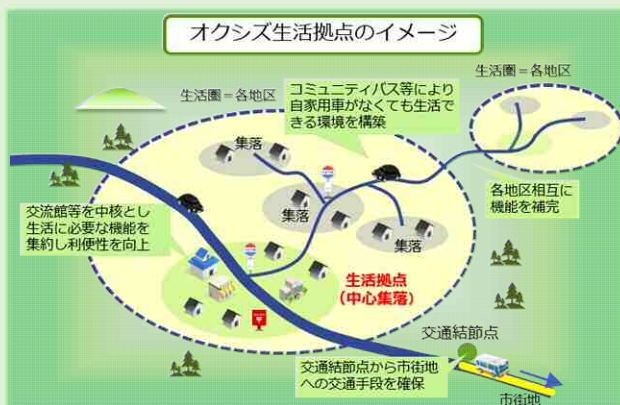
- 荒廃農地再生・集積促進事業費助成 6,000千円 新規
- 茶産地総合対策事業費助成 25,800千円 拡充
- 認定農業者・新規就農者育成支援事業費助成 25,000千円 拡充



【 静岡市ブランドの磨き上げ 】

「お茶のまち」や「オクシズ」、「しずまえ」などの静岡市ブランドの魅力を発信します。

- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における「お茶のまち静岡市」プロモーション事業 5,973千円 新規
- しずまえ鮮魚普及事業 7,851千円
- オクシズプロモーション事業 8,316千円



【 オクシズ地域の活性化 】

オクシズ地域に安心して住み続けられるよう、生活に必要な機能の維持を図るとともに、市産材の利用促進や森林の公益的機能の維持を図っていきます。

- オクシズの森林整備・地域材活用促進事業 119,298千円 拡充
- オクシズ生活拠点形成事業 12,687千円 新規

【新規】

海洋・地球総合ミュージアムプレ事業

海洋文化都市推進本部

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	3,300				3,300
前年度予算額					

目的	「(仮称)海洋・地球総合ミュージアム」の整備に際し、市民への周知・期待度向上を目指し、国際海洋文化都市としての機運醸成を図る。
----	---



事業概要	<p>市内イベントへの出展PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加イベント みなと祭り、大道芸WC (予定) ・出展内容 <ul style="list-style-type: none"> 水槽を使った駿河湾の水族展示・体験 (下段①) 研究機関等が保有する調査機器等の展示 (下段②) <p>企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和2年12月～令和3年2月頃 (予定) ・内容 海洋文化施設の整備計画の情報発信 研究者の方々による成果発表 (下段③) 最新の海洋調査、研究の展示 (下段④) ・会場 清水マリンターミナル (予定)
------	--

プレ事業(案)

①水族展示・体験



②調査機器紹介



③研究成果発表



④企画展の実施



※令和元年度実施「清水海洋展2019」の様子

【拡充】

海洋・地球総合ミュージアム整備事業

海洋文化都市推進本部

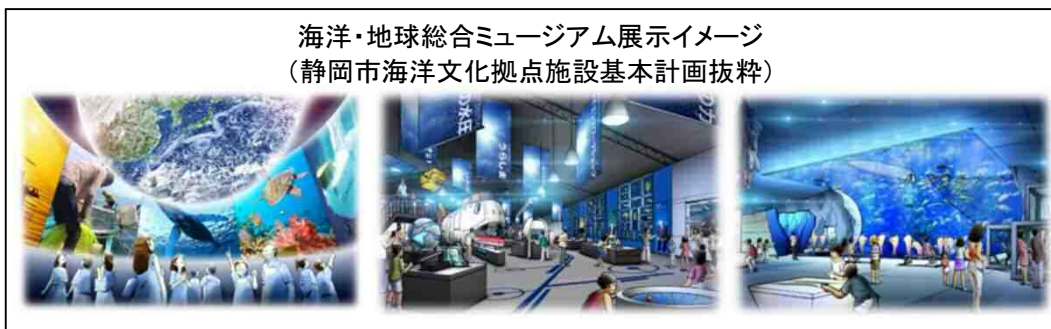
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,062				11,062
前年度予算額	1,413,930		1,297,200		116,730

目的 清水港周辺において、駿河湾の特性や、清水港ならではの産学官の関係者のノウハウ・資源を活かした特色ある海洋文化拠点形成の核となる「(仮称)海洋・地球総合ミュージアム」の整備実現を目指す。



事業概要		
1	海洋・地球総合ミュージアム整備事業（PFI事業） ○全体事業費 16,622,000千円 （令和2年度～令和19年度） ○海洋・地球総合ミュージアム整備・運営に係る経費	0千円 （令和2年度）
2	海洋・地球総合ミュージアム 設計・建設に係るモニタリング経費 新規 ○全体事業費 45,100千円 （令和2年度～令和5年度） ○PFI事業者との設計・建設に係る専門的業務支援	10,200千円 （令和2年度）
3	事業者選定審査会謝金・旅費 整備・運営事業者選定等を行う外部専門委員への謝金・旅費	741千円
4	学術コンテンツ集積に係る連携協議旅費 東海大学、JAMSTECとの協議用旅費	121千円



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	371,709		329,100		42,609
前年度予算額	386,967		337,800		49,167

目的	清水港港湾施設等の整備促進により物流機能の高度化及び市民が憩える港づくりを図る。
----	--



事業概要	国及び県が実施する清水港港湾整備に対して「静岡県建設事業等市町負担金徴収条例」に基づき、港湾所在市負担金を支出する。	
	1 国直轄事業 日の出岸壁改良 ほか	96,000千円
	2 県交付金事業 新興津地区人工海浜・緑地整備 ほか	270,813千円
	3 県単独事業 港湾施設改良 ほか	4,896千円



日の出岸壁改良



新興津地区人工海浜・緑地整備

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	105,350		102,000		3,350
前年度予算額					

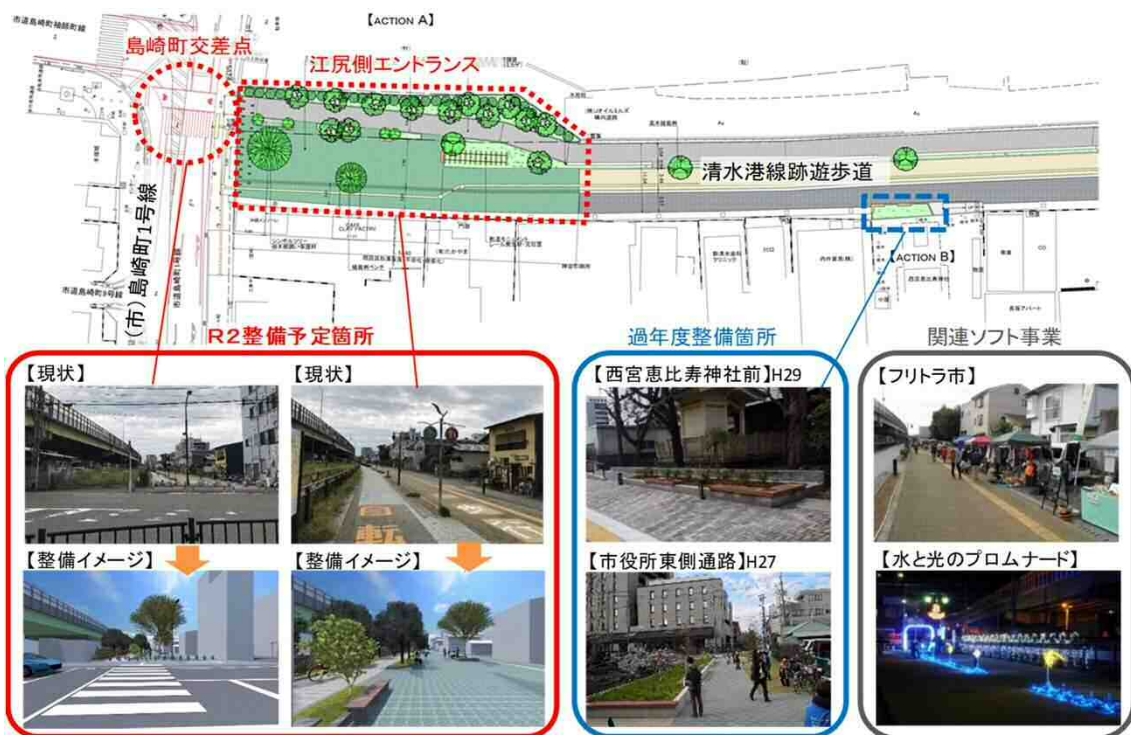
目的
清水都心ウォーターフロント地区の集客拠点である江尻エリアと日の出エリアを結ぶ清水港線跡遊歩道を魅力的な空間へと再整備することにより、清水都心の回遊性向上および賑わい創出を図る。



事業概要

- 江尻側エントランス広場整備 59,350千円
 - 遊歩道の入口としての認知度向上、滞留場所としての広場づくり、清水港線跡地の歴史、空気感を伝えるために江尻側エントランスの整備を行う。
 - 整備内容 歩道・自転車通行帯改良、広場空間整備など
- 島崎町交差点整備 46,000千円
 - 島崎町交差点への横断歩道整備により、歩行者や自転車の安全性、接続性を向上し、江尻エリアと日の出エリア間の回遊性向上および賑わい創出を図る。
 - 整備内容 横断歩道新設、歩道改良など

清水港線跡遊歩道整備事業 概要図



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	17,200	8,250			8,950
前年度予算額	18,300	8,750			9,550

目的
本市独自の駿河湾という「海洋資源」、大学等研究機関の「知見」、清水港とともに発展してきた造船をはじめとする機械金属製造業や水産加工業等の関連産業の「技術」を組み合わせることにより、海洋関連産業における新事業創出・事業高度化を推進するとともに、研究機能の強化・集積を図る。



事業概要
推進主体である「静岡市海洋産業クラスター協議会」が実施する各種事業に対し、負担金を支出する。

主な事業

- ・ 情報発信事業（ウェブサイトの運営、シンポジウムの開催等）
- ・ 産学マッチング支援事業（アドバイザー3名の設置）
- ・ 人材育成事業（海洋産業人材育成セミナーの開催等）
- ・ 事業化研究事業（事業化研究プロジェクトの組成・実施等）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	70,340				70,340
前年度予算額	56,385				56,385

目的	清水港に客船や帆船を誘致することにより、賑わいを創出し、市民が憩い親しめる港づくりを推進すると共に地域経済の活性化に寄与する。
----	---



事業概要	<p>清水港への客船誘致活動、寄港歓迎行事及び企画事業等を実施する「清水港客船誘致委員会」への負担金</p> <p>○客船歓迎事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 客船等寄港予定 75隻 拡充 (令和元年度寄港見込数49隻) 初寄港客船 <ul style="list-style-type: none"> 4月28日(火) クイーン・エリザベス 4月30日(木) ノルウェージャン・スピリット 5月6日(水・祝) サン・プリンセス 6月10日(水) インシグニア 8月6日(木) エクスプローラー・ドリーム 9月11日(金) スター・ブリーズ 9月12日(土) クリスタル・エンデバー ほか6隻初寄港する予定 ※天候等により変更の可能性あり その他、外国客船・国内客船・帆船の寄港予定あり <p>○設立30周年記念事業 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> 客船の入港数増や市民の客船利用の増につながる事業を予定
------	--



写真提供: キューナード

令和2年4月28日(火)寄港予定の「クイーン・エリザベス」清水港客船誘致委員会設立30周年の特別歓迎事業を企画中



写真提供: ノルウェージャン・クルーズライン

令和2年度5月～3月 全18回寄港予定の「ノルウェージャン・スピリット」



写真提供: プリンセス・クルーズ

改装後・5年ぶり寄港予定の「サファイア・プリンセス」



お茶会・着付け体験



お見送り演奏



花火打ち上げ

【拡充】

外国人観光客誘致促進事業（インバウンド対策）

海洋文化都市推進本部
商業労政課
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	9,871				9,871
前年度予算額	10,161				10,161

目的

客船の寄港時に、港と交通結節点を結ぶシャトルバスを運行し、乗船客・乗組員の満足度向上に努め、更なる寄港数の増加につなげるとともに、中心市街地の商店街において、おもてなしのための受け入れ態勢を強化することで、消費を喚起し地域経済の活性化を図る。

また、市内観光施設内の案内看板を多言語化して、訪日外国人受け入れ環境を整備する。



事業概要

- 客船歓迎事業（シャトルバス運行） 8,000千円
日の出埠頭と静鉄新清水駅・JR清水駅の交通結節点を結ぶルートでシャトルバスを運行し、回遊性の向上を図る。
・実施時期 客船寄港中（21回→31回） **拡充**
・運行間隔 概ね20分間隔（バス3台）
・乗車料金 無料
- 商店街の外国人観光客対応促進事業 1,871千円
中心市街地において外国人観光客を受け入れるため、おもてなしやコンテンツの強化を図り、インバウンド需要の取り込みを促進する。
・商業者向けインバウンドセミナー開催
・店舗へのアドバイザー派遣



シャトルバス乗降場（JR清水駅）



客船入港時の商店街の様子



商店街での着付け体験



店舗でのインバウンド対策アドバイザー

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	13,820	6,865			6,955
前年度予算額	13,910	6,955			6,955

目的

「人生100年時代」と言われる中、健康づくりや生きがい・社会参加、生活安定の観点のほか、企業の担い手の確保、地域・経済活性化等の観点から、就労を希望する高齢者が生涯現役で企業や地域で働き活躍することができる環境の整備に取り組む。

事業概要

シニア等の外部人材を活用した中小企業支援という視点において、課題を抱える市内中小企業と、豊富な経験・スキル・知識・人材ネットワーク等を有する企業OB等との出会いの場を創出することで、「多様な人材を活用した中小企業の課題解決」と「高齢者等の活躍の場の創出」を図る。

- 1 企業OB等による中小企業支援 12,120千円
 - ・多様な人材活用による経営課題解決に取り組む企業の掘起し
 - ・豊富な経験やスキル等を有する人材の掘起し
 - ・企業と人材のマッチング支援及びフォローアップ
- 2 新現役交流会 1,700千円

経営課題を抱える企業と新現役（関東経済産業局のデータベースに登録された、豊富な経験やスキル等を有する概ね50歳以上の企業OB等）とのマッチング交流会の開催

人生後半の
生きがい
探しに



本市では、官民連携・局間連携（保健福祉長寿局・経済局）のもと、「NEXTライフワークプロジェクト」と称して高齢者の就労を促進する事業を展開している。

関連事業：高齢者就労促進事業（保健福祉長寿局）



新現役交流会



企業OB等による中小企業支援
(企業と人材とのマッチングの様子)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	19,750				19,750
前年度予算額	15,350				15,350

目的	官民連携による中小企業へ向けた集中的な支援により、生産性の向上、経営力や販路の強化など中小企業が抱える課題を解決し、中小企業の成長を促していく。
----	--



事業概要	<p>1 中小企業アクセラレーション支援事業 4,950千円 アクセラレーションプログラムの実施 地域経済を牽引する企業の輩出に向け、成長意欲のある中小企業に対し、個社の経営課題に応じた集中・徹底的な伴走支援 ・定期的なメンタリングや個別指導 ・大企業の資金や販路等の資源活用による事業連携 等</p> <p>2 IT導入に向けた生産性向上支援事業 拡充 6,800千円 「ITなんでも相談窓口」による中小企業の実践性向上に向けたIT導入・活用を図る支援の実施 ・IT利活用アドバイザーによる個別相談の支援体制の強化</p> <p>3 事業承継支援事業 拡充 8,000千円 国の動きに連動し、後継者不在に悩む市内中小企業が円滑な事業承継を進めるための支援の実施 ・相談及び専門家の派遣 ・事業承継に関する周知・啓発 ・事業承継に係る課題やニーズの実態把握 (令和2年度実施)</p>
------	--



ITなんでも相談窓口



事業承継セミナー

プレミアムフライデー推進事業

商業労政課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,400				6,400
前年度予算額	15,400	7,500			7,900

目的 「静岡市から働き方を変えよう！」をスローガンに、官民連携でプレミアムフライデーを推進し、仕事のやり方と、プライベートの時間の使い方を両面から改革することで、ワークライフバランスの推進とともに経済の活性化を図る。



事業概要	1 企業・経営者に向けた取組	
	企業の取組の拡大・質の向上、先進企業のPR ・PFに取組む企業の事例発信 ・地域情報誌等を活用した普及啓発	1,000千円
	2 市民・来街者に向けた取組	
市民の参加促進、市民意識調査 ・市民参加型シンボルイベントの実施 ・市民意識調査の実施	2,816千円	
3 お店・施設等に向けた取組		2,584千円
お店等の取組の定着・拡大と将来的な自走化の促進 ・お店等の情報集約発信（HP、地域情報誌） ・PFイベント実施団体等の支援		



イベントとの連携(おまちバル等) プレ金大学(PF×リカレント)



恒例イベントとなった新社会人名刺交換会



お店や施設での魅力的なプレミアムフライデー特別企画

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	16,184				16,184
前年度予算額	14,184				14,184

目的	若者の地元就職やUIJターン就職の促進を図るため、静岡商工会議所とともに、若者と企業との交流の場の創出や、早期からのキャリア形成支援に取り組む。
----	--



事業概要	<p>地元就職・UIJターン就職の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内高校同窓会を通じた就職支援情報誌の制作支援 ・若者就活応援サイト「しずまっち」の運営 ・大学生向け企業の魅力発見交流会の開催 ・女子学生と女子社員のUIJターン促進交流会の開催 ・就業体験や社会人インタビューなどの高校生向けキャリア形成支援事業の実施 ・首都圏学生向けワークショップの開催 新規 首都圏大学に通う学生が市内企業を視察し、各企業の課題等への解決策を検討、経営者等に提案する事業
------	--



↑2020 就職支援情報誌



↑高校生向けキャリア形成支援

若者就活応援サイト→
「しずまっち」

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	15,246				15,246
前年度予算額	9,606				9,606

目的	企業ニーズに合った用地の確保と、土地利用規制の見直しを通じた企業立地用地不足の解消。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 創出された用地への企業立地推進 <ul style="list-style-type: none"> 恩田原・片山地区への企業立地 土地区画整理事業により創出される用地への「産業集積方針」に沿った企業立地の推進 将来に向けた用地確保の検討 <ul style="list-style-type: none"> 竜南地区の開発検討 地権者への説明や開発手法検討、先進事例調査等 拡充 地域未来投資促進法「地域基本計画」で指定した重点促進区域等の開発誘導 民間開発事業者や用地を求める企業に対する情報提供やマッチング 開発許可に関する立地基準見直し <ul style="list-style-type: none"> 地域振興につながる工場の立地が可能となるよう、土地利用規制を緩和（令和2年4月運用開始予定）
------	--



(千円)

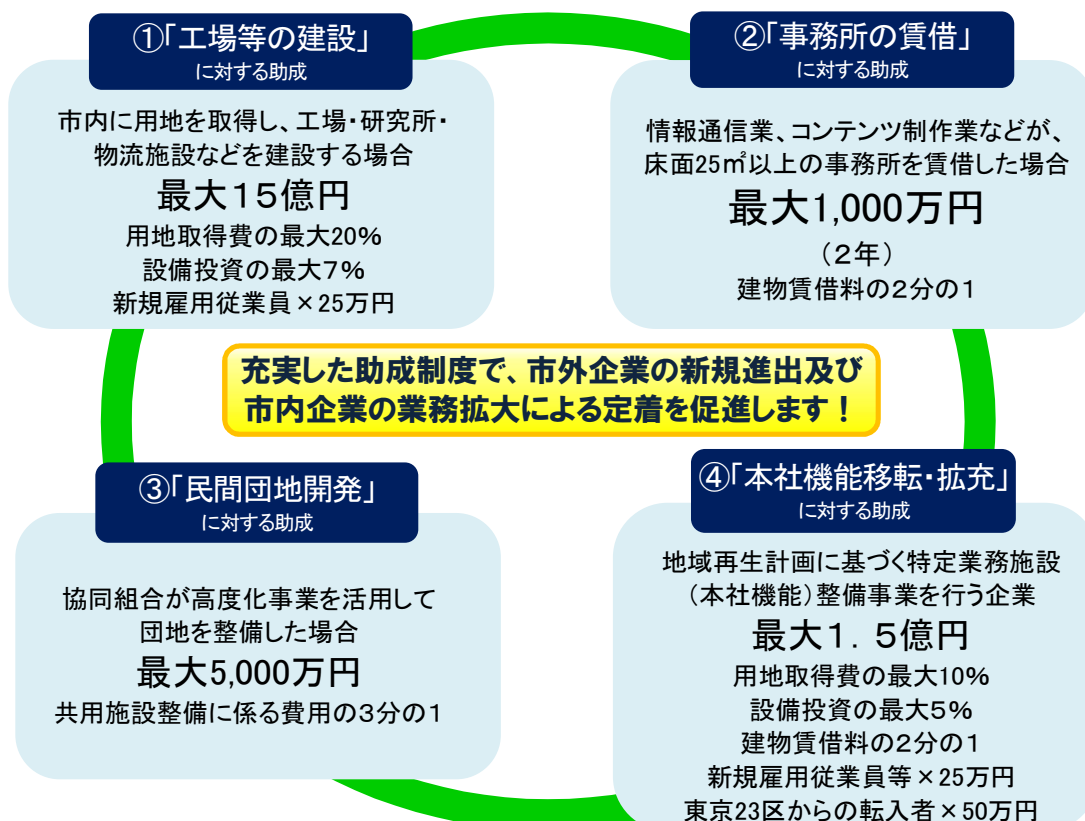
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	492,000	112			491,888
前年度予算額	492,000	355			491,645

目的
市内への企業の進出及び市内における企業の定着を促進し、地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図る。



事業概要
工場等の設置や事務所の賃借を行った企業等に対する助成

- ・工場等設置事業
(補助対象 用地取得費、設備投資費、新規雇用)
- ・事務所賃借事業
(補助対象 建物賃借料)
- ・用地供給(民間団地開発)促進事業
(補助対象 共用施設整備にかかる費用)
- ・本社機能移転・拡充事業
(補助対象 用地取得費、設備投資費、建物賃借料、新規雇用等)



【拡充】

首都圏シティプロモーション推進事業
WeWorkを活用した首都圏プロモーション支援等事業 産業振興課・東京事務所

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	9,203	3,759			5,444
前年度予算額	6,303				6,303

目的	<p>コミュニティ型ワークスペース「WeWork」を活用して、「地域経済牽引事業計画」承認企業を中心とした本市有望企業の首都圏プロモーション支援や、本市への進出意向を持つ企業の掘り起こしと誘致活動を行うとともに、本市の首都圏シティプロモーション活動に取り組む。</p>
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 首都圏の企業や産業界と交流する拠点としての「WeWork」の活用 拡充 3,775千円 ・WeWorkメンバー企業とのネットワーク構築や、情報発信・情報収集 市内企業のプロモーション・ビジネスマッチングを支援するイベントの開催 400千円 本市への進出意向を持つ企業の掘り起こし及び誘致活動 新規 1,958千円 ・WeWorkメンバー企業への「アンケート結果」を活用した誘致活動 ・「誘致セミナー」や「説明会」の開催 首都圏におけるシティプロモーション活動 3,070千円 ・WeWork各拠点を活用した地域資源等のPRイベントの実施
------	---



市内企業による首都圏プロモーション・
ビジネスマッチングイベントの様子



首都圏企業に向けたお試しテレワーク事業
プロモーションイベントの様子

【新規】

「静岡市プラモデル化計画」推進事業

産業振興課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	30,000				30,000
前年度予算額					

目的
本市が世界に誇る地場産品である「プラモデル」をモチーフとした工作物（プラモニュメント）を官民一体となって市内各所に設置することで、国内外に本市の魅力を発信するとともに、交流人口の増加や産業振興につなげる。



事業概要

令和元年度（2月18日）
 (株)博報堂ケトル及び(株)静岡博報堂との包括連携協定締結
 ・シティプロモーション、産業振興 等の事項について連携し、地方創生の推進を図る。

「静岡市プラモデル化計画」は、上記協定に基づき実施する事業
 ・プラモニュメントの設置と積極的なPRをしていくことで、SNSへの投稿、拡散などによる世界に向けた情報発信を狙う。

1 市によるプラモニュメント設置 18,000千円
 ・公共施設等への設置 4基

2 民間へのプラモニュメント設置経費に対する助成 12,000千円
 ・賛同企業等への補助金交付 6件

本市が世界に誇るプラモデル産業

静岡市はプラモデル出荷額全国No.1

国内最大級のホビーの展示会 静岡ホビーショー

地方創生の推進に向けた連携に関する協定に基づく、官民一体となった事業展開

静岡市 × Kettle HAKUHODO × 賛同者 = 静岡プラモデル化計画 SHIZUOKA, A MODEL CITY

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	10,000				10,000
前年度予算額	15,000				15,000

目的 中部横断自動車道の全線開通や清水港の物流環境の充実等による、ヒトやモノの流れが活発化する機会を捉え、交通の結節点となる清水港後背地エリアでの新たな賑わいと活気の創出を目的とした施策の具現化に向け、更なる調査、検討を行う。



事業概要

- 施策の具現化に向けた各種調査、検討
 - ・清水港後背地における用地状況、課題等の整理
 - ・後背地において必要とされる機能の更なる調査、検討
- 清水港後背地エリアでの各種機能のゾーニング
 - ・清水港後背地エリアにおいて、各種機能が必要とされるエリアの検討等及びそれを踏まえたゾーニング
- 官民連携による検討
 - ・地域関係者を含めた官民連携による勉強会等、施策の具現化に向けた検討



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	20,000				20,000
前年度予算額					

目的

しずおか中部連携中枢都市圏事業の目的の一つである「地域資源を活かした地域経済の裾野拡大」のため、地域商材であるお茶、水産加工品等のテストマーケティングを首都圏で実施し、地域産品の商品改良を通じて販路を拡大する。

事業概要

これまでアンテナショップの開設準備により培った知見を活かし、「お茶とお茶請け」、「酒と酒の肴」をテーマに、首都圏で5市2町の地場産品のPR及び販路拡大のための各種事業の実施

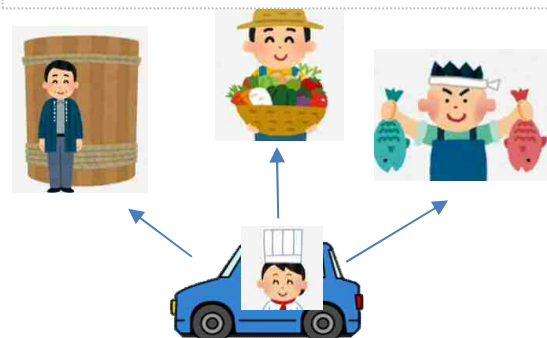
- 1 テストマーケティング事業（テーマ お茶とお茶請け）
首都圏の店舗の一角で、地場産品のテスト販売を実施
・場所 山手線主要駅の周辺エリアの百貨店等を想定
・期間 令和2年6月～令和3年2月（予定）
- 2 地域農水産物販路開拓事業（テーマ 酒と酒の肴）
首都圏シェフと地場産品のマッチング機会を創出
・対象 首都圏で個人店を経営する若手シェフ10人程度
・内容 シェフによる生産地の視察・体験 5回／年
レストランへの食材提供、パンフレットの作成 など
- 3 イベント事業
首都圏で5市2町フェアを開催し、地場産品のPR・販売を実施
・場所 山手線主要駅の周辺エリア等
・実施時期 東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中（予定）

【テストマーケティング事業のイメージ】

首都圏での販売を通じて得られる購入者情報（性別、年齢、同時に合わせて購入した物など）をまとめ、ニーズに沿った商品改良等を実施する。

【地域農水産物 販路開拓事業のイメージ】

首都圏のシェフを静岡に呼び寄せて、生産現場で生産者から地場産品のこだわりや、現地ならではの食べ方等を伝えることで、シェフとのマッチングを進める。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	6,000				6,000
前年度予算額					

目的	<p>荒廃農地の解消・再生利用を促進し、同時に、農地集積を促進することによって、より効果的に農地の有効利用と地域農業の担い手の農地確保を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>農業者（認定農業者、認定新規就農者等）が、荒廃農地を引き受け、耕作するために行う再生作業、及び再生作業に附随する施設補完整備にかかる費用の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 認定農業者、認定新規就農者等 ・対象地 農業振興地域内の荒廃農地 ・補助対象 再生作業 障害物除去、深耕、整地、土壌改良等 施設補完整備 基盤整備、廃棄物処理等 ・補助上限額 1事業あたり200万円以下
------	--

再生事例



再生前



再生後

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,800				25,800
前年度予算額	15,000				15,000

目的	安定的かつ持続的な茶業経営に向けた基盤づくりのため、小規模茶園地の整備や茶園の共同管理、補完作物への転換等を政策的に推進するとともに、人材・組織の育成や担い手の確保を進めるための重点的な支援体制を構築する。
----	---



事業概要	1 小規模茶園地整備事業 拡充 12,300千円 小規模な茶園の園地改良や園内作業道の整備、防霜施設の新設・更新等に対する助成（中山間地域における補助率の引き上げ等）
	2 製茶機械整備事業 新規 3,000千円 個性豊かな山のお茶の維持・発展のため、自園自製農家や共同工場における製茶機械の更新等に対する助成
	3 茶園共同管理推進事業 5,000千円 地域の茶園の共同管理を推進するために必要な機械や施設整備等に対する助成
	4 補完作物転換事業 拡充 4,500千円 茶業経営の安定化のため、耕作茶園の一部を野菜や果樹などの複合作物に転換するための助成（転換面積要件の緩和）
	5 茶園集積推進事業 1,000千円 農地中間管理機構を通じて新たに茶園を借り受けた茶工場等に対し、茶樹改良の支援等に係る助成
	6 中心的経営体重点支援事業 新規 今後の茶業を担う中心的経営体に対し重点的な支援を行うため、関係機関による総合支援会議を開催



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	25,000				25,000
前年度予算額	23,000				23,000

目的
 農作業の省力化や農産物の高付加価値化等により経営の向上に資する機械、施設等の導入を支援し、認定農業者及び新規就農者を育成、確保する。



事業概要

- 対象者
 - ・農業経営基盤強化促進法に基づき市長が認定した認定農業者
 - ・65歳未満の5年以内の新規就農者
(独立自営就農、後継者就農の双方可)
- 対象事業
 - 作業の省力化や栽培管理のための機械器具を新たに追加
 - ・生産管理施設導入事業 **拡充**
(補助対象に「アシストスーツ」、「農業用ドローン」及び「スマート農業用関連機械器具」を追加)
 - ・加工貯蔵販売施設導入事業 **拡充**
(補助対象に「ハンドクレーン」を追加)
- 補助率等
 - ・補助率 1 / 3 以内 (上限100万円)
- 利用可能な回数
 - ・認定農業者 経営改善計画の有効期間 (5 年) において 1 回
 - ・新規就農者 1 回



アシストスーツ



ハンドクレーン



スマート農業(イメージ)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	11,000				11,000
前年度予算額	18,000				18,000

目的	農業の生産性向上を目的とした、良質な農地の整備のため、畑地帯総合整備事業の採択に向けた調査を行う。
----	---



事業概要	<p>現在、県を主体として畑総矢部地区を含めた8か所で土地改良事業を実施しており、令和2年度から池田地区を含めた5か所が事業開始予定 更なる事業の推進のため、県が新たな6か所での事業実施の可能性調査を行う。また、市独自でも事業採択に向け非農用地活用方法に関する調査を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県単独農業農村整備調査費負担金 拡充 9,000千円 ・ 6か所（東豊田、今泉、両河内、新聞、足久保、麻機） 2 非農用地活用検討事業 2,000千円 ・ 2か所（船越周辺、三保）を想定 ・ 誘致施設を想定した創設非農用地の造成費計算
------	--



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2ほか)	市債	その他	
当初予算額	122,366	66,000	54,000		2,366
前年度予算額	103,398	55,000	45,000		3,398

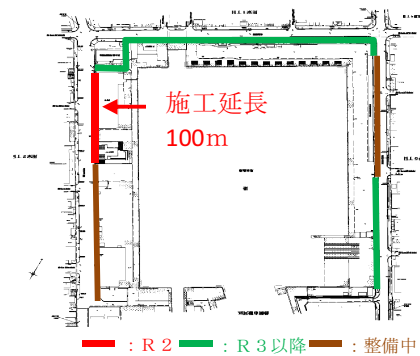
目的	用宗漁港の後背地にある住民の生命・財産を守るため、レベル1地震・津波を防御できる高さの壁（胸壁）を、景観にも配慮しながら漁港の周囲に建設し、安全で快適な海岸を整備する。
----	--



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○事業期間 平成28年度から令和4年度まで ○事業箇所 用宗漁港海岸 ○整備内容 用宗漁港海岸保全施設（胸壁）整備工事 ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備工事 平成30年度～令和4年度 (全体計画 胸壁 L=790m、陸閘 3基) 令和2年度 胸壁 L=100m、陸閘 1基 ○その他 胸壁には景観に配慮するため、アクリルパネルの窓を設置
------	---



(位置図)



【新規】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会における
「お茶のまち静岡市」プロモーション事業

農業政策課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	5,973	2,827			3,146
前年度予算額					

目的	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に合わせて開設される2020ホストタウン・ハウスにおいて、「静岡市のお茶」をテーマにしたプロモーションを行うことで、「お茶のまち静岡市」の魅力を世界に向けて発信する。
----	--



事業概要	<p>2020ホストタウン・ハウス ホストタウンを務める地方自治体の魅力及びホストタウン事業を広く国内外に発信することを目的に開設</p> <p>○開催会場 ・武蔵野大学 有明キャンパス（東京都江東区有明3-3-3） ※メディアプレイセンターが入る東京ビッグサイトと選手村（勝どき）の中間に位置し、近隣の有明アリーナや有明体操競技場などで16の競技が開催される。聖火台も近い。</p> <p>○開催期間 ・令和2年8月7日（金）～10日（月）※予定</p> <p>○開催概要 ・静岡市のお茶によるおもてなし ・静岡市がホストタウンになっている台湾・スペインとの交流事業の紹介・パネル展示 ・茶農家の技を伝えるお茶の飲み比べ実演 ・茶商の技を伝えるお茶のブレンド実演 ・本市所有の組立式茶室「受庵」の展示 ・お茶ツーリズムのPR ・（公財）するが企画観光局と連携した「茶氷」の販売</p>
------	---



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	7,851				7,851
前年度予算額	10,050				10,050

目的
 「しずまえ」で水揚げされる水産物や加工品等のPR活動を通して、「しずまえ」を地域ブランドとして確立し、本市食文化の情報発信と水産業をはじめとする地域の活性化を図る。また、駿河湾中西部4市1町の広域連携によりプロモーション事業を展開し、観光客の誘致を図る。



事業概要
 しずまえ振興協議会、各種団体・大学・企業等と連携し、しずまえPR事業を展開する。また、より多くの飲食店・小売店で「しずまえ鮮魚」を取り扱ってもらい、多くの市民や観光客などに食べてもらうことで「しずまえ鮮魚」の地産地消・消費拡大を促進する。

実施内容

- ・市民団体「静岡おまちバル実行委員会」等と協働し、『しずまえ満喫の春』等を実施
- ・しずまえで水揚げされる魚、料理のコツ、漁師のインタビューなどを市内小中学生に紹介する『しずまえ新聞』を発行
- ・本市水産業に対する興味と理解を深めるため、しらす漁や定置網漁等を見学する『しずまえ漁業見学ツアー』を実施
- ・中部横断自動車の開通を追い風に、駿河湾中西部4市1町の広域連携による『山梨方面プロモーション（テレビ・ラジオ・イベント等）』や4市1町を巡る『駿河ブルーラインスタンプラリー』を実施



市民団体との協働事業



しずまえ新聞の発行



しずまえ漁業見学ツアー



スタンプラリー

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	8,316				8,316
前年度予算額	8,224				8,224

目的	オクシズの魅力発信事業を行い、交流人口及び定住人口の増加を図る。
----	----------------------------------



事業概要	<p>魅力的な地域資源を活かした以下のプロモーション活動を展開することにより、オクシズの「つながる力」を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「体験プログラム」ページの新設など、オクシズHPの更新による情報発信力の強化 ・プロモーション冊子「はじめてのオクシズ」などの配布や、雑誌等への広告掲載による誘客促進 ・ファミリー層をターゲットにした市営温泉PR「オクシズ温学プロジェクト」の実施 ・SPACと連携したイベント「オクシズ縁劇祭」の開催 ※オクシズの伝統芸能を取り入れた民話劇の創作、オクシズマルシェの開催など ・県外イベントへの出展等によるPR強化（島田市、川根本町との連携）
------	--



オクシズホームページによる情報発信



オクシズ・マガジン Chord



ファミリー層向け市営温泉PR



オクシズ縁劇祭の開催 (SPACとの連携)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	119,298			81,740	37,558
前年度予算額	107,093			70,000	37,093

目的	適正に管理された森林が持つ公益的機能（国土保全・水源涵養など）の維持や、温室効果ガス削減に寄与する循環型資源としての木材利用を促進するため、適正な森林整備や都市の木質化を推進する。
----	--



事業概要	<p>森林資源の循環利用を推進していくため、森林環境譲与税を活用して、川上、川下における各事業の実施により、適切な森林整備を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> オクシズの森林整備事業 15,600千円 <ul style="list-style-type: none"> 森林経営管理法に基づく適正に管理されていない森林の整備促進（所有者意向調査、間伐の実施） 労働安全の確保、林業従事者の養成のため伐採・搬出作業におけるチェーンソー、林業機械運転等に係る資格取得に関する補助を行う。 小学校等におけるICTを用いた林業出張教室等の開催 静岡地域材活用促進事業 拡充 103,698千円 <ul style="list-style-type: none"> 市産材を活用する住宅、公益的施設、商業施設の建築主へ構造材（令和2年度からはツーバイフォー材を含む）、内装材、家具用材を提供 新たなオクシズ材利用促進の取組として、間伐された未利用のオクシズ材を使用し、木製玩具、什器等の製品開発を実施
------	--



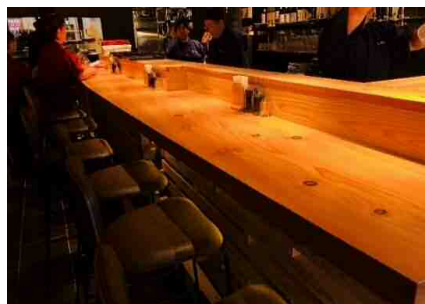
森林経営管理法に基づく森林の整備



ICTを用いた林業出張教室



オクシズ材(市産材)の利用促進



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,687				12,687
前年度予算額					

目的	<p>少子高齢化に伴う人口減少が著しい中山間地域において、生活拠点を形成し、生まれた地域で安心して住み続けられる環境を整える。</p>
----	---



事業概要	<p>旧安倍6村と両河内地区における「オクシズ生活拠点」の形成に向け、地域の実態調査と、将来像の作成に対する支援を行う。また、「買い物」や「交通」などの生活に必要な機能の維持に向けた取組の他、JA静岡市と連携し加工品等の出荷・販路拡大の支援を行い、地域の活力強化を図る。</p>
	<p>1 生活拠点形成支援事業 3,687千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ごとの実態を把握するためのアンケート調査 3地区 ・ アンケート結果に基づく将来像の検討 2地区 ・ 地域住民主体の体制づくりを支援するセミナーの開催 <p>2 地域活力サポート事業 9,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA静岡市と連携し、中山間地域加工販売所の販路拡大を支援 ・ 中山間地域の買い物、交通にかかる利用実態調査及び日常生活に必要な機能の維持に向けた研究・検討



都 市 局

都市局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、新たな交流と活力を生み出すまちの実現

令和2年度の主な取組

I 魅力と親しみのある「まちの顔」の創造

206,859千円（329,900千円）

1 都心・副都心の都市機能の高度化・集積化

①[拡充] 御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業

令和元年度の都市計画決定、基本設計を基に、
令和2年度は組合設立認可（事業認可）、権利変換計画認可、実施設計等を進める

拠点の魅力



2 歩いて楽しめる都市空間の創造

①[新規] 静岡都心地区まちなか再生事業

賑わいと統一感のあるまちづくりの方向性を示すため
各エリア（紺屋町・呉服町・七間町ほか）の特性を活かした
まちの将来像と具体的なルールを定めた「まちなか再生指針（案）」を作成する



②[継続]（都）北街道線魅力空間創出事業

3 官民協同で進める地域の特色を生かしたまちづくり

①[拡充] 静岡市都市公園Park-PFI制度活用事業

城北公園にて、Park-PFI制度を活用し、民間活力導入によるカフェ等の
収益施設の設置と特定公園施設の整備を実施



②[継続] お堀の水辺（葵舟）活用事業

II 地域の魅力と活力を高めるまちづくり

1,088,612千円（1,398,498千円）

地域の特色

1 都心の機能を補完する地域拠点の整備 及び官民協同ですすめるまちづくり

①[継続] 草薙駅周辺エリアマネジメント支援事業



2 大規模社会資本や観光資源を活かした交流拠点の整備

①[拡充] 大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業（宮川・水上地区）

「静岡の食」と「健康・スポーツ」をテーマに特色のある交流体験ができる
まちづくりを目指し、土地区画整理事業の着手準備を進める



②[継続] 恩田原・片山土地区画整理事業

③[継続] 日本平公園整備事業

Ⅲ 安心とうるおいのある住環境の整備

1,843,318千円(2,118,892千円)

1 災害に強いまちづくりの推進

①[新規] 要安全確認計画記載建築物耐震事業費助成

地震による建築物の倒壊を防止し、緊急輸送ルートの閉塞を防ぐため沿道建築物の耐震化を推進する

2 人や環境にやさしい住環境の整備

①[継続] 空家等対策事業

②[継続] 市営住宅アセットマネジメント促進事業

3 調和のとれた都市景観と緑あふれる環境の創出

①[継続] あさはた緑地整備事業

安全で快適



Ⅳ 多彩な交流と活動を支える交通環境の充実

582,509千円(504,023千円)

1 拠点を結ぶ円滑な公共交通

①[新規] 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト推進事業

次世代移動サービス「MaaS」の導入について実証実験により有効性検証や課題抽出などの調査・分析を実施

②[継続] (仮称)追分大坪駅設置概略検討業務

③[継続] バス路線維持対策事業

2 公共交通が利用しやすい環境の充実

①[拡充] 地域交通弱者対策事業費助成

地域の交通弱者の移動の足を確保するため移動支援を行うNPO等に支援を行う(補助率拡充)

②[継続] 鉄道駅バリアフリー化促進事業

3 安全で快適に自転車が利用できる環境の整備

①[継続] 自転車利用計画推進事業

超高齢社会



都心・副都心の魅力のみがきあげ



拠点の魅力

東名新IC、三保松原、日本平、大谷・小鹿地区などの交流拠点の整備

地域の特色



持続可能
民間活力

快適で質の高いまちの拠点と交通環境を充実させ、
新たな交流と活力を生み出すまちの実現



付加価値を創出するための
多様な主体による地域づくり

暮らしの充実につながる
建築物の耐震化
身近な公園の整備



安全で快適



超高齢社会に対応した、
鉄道、バス、自転車の
利用環境の充実

超高齢社会

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	8,000	4,000			4,000
前年度予算額					

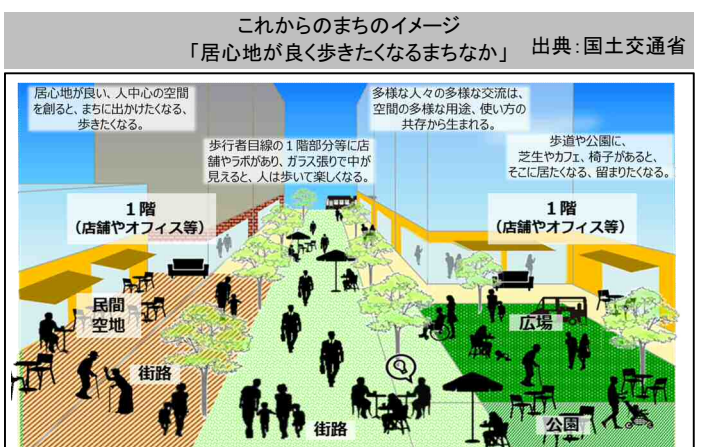
目的
静岡都心地区において、歩行者が快適に移動・回遊・滞在できる「歩いて楽しいまちづくり」の更なる推進を図るため、「官民が共有・共感する」賑わいと統一感のあるまちづくりの方向性を示す。



事業概要

静岡都心地区の各エリア（紺屋町・呉服町・七間町ほか）の特性を活かした、まちの将来像と具体的なルールを定めた「まちなか再生指針」の策定を行う。

○事業内容
静岡都心地区まちなか再生指針（案）作成
・各エリアの将来の目指す姿（案）の作成
・各エリアの具体的なまちづくりルール（案）の作成



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	62,950				62,950
前年度予算額					

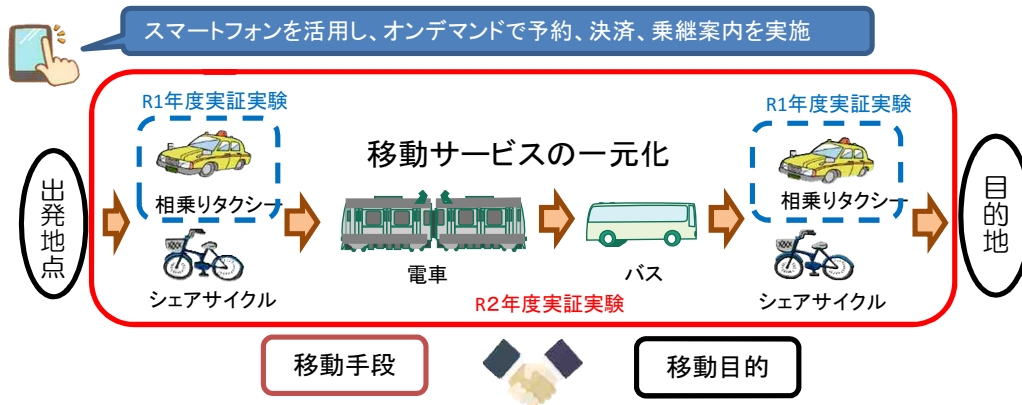
目的
 社会インフラである公共交通の持続的なサービス提供に向け、ICTによる移動サービスの高度化や、移動の手段と目的のサービス合理化を図るため、次世代移動サービス「MaaS」の実証実験・調査分析を行い、実用化に向けて取組むことを目的とする。

事業概要




1 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト推進事業 54,950千円
 ○MaaS実証実験・調査分析
 ・静岡市と静岡鉄道等が連携して進める「静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト（MaaSコンソーシアム）」において、令和元年度実証実験結果を踏まえ、令和2年度はAI相乗りタクシーのほか、鉄道、バス等を含む移動サービス間連携を主眼とした実証実験を行う。

○多分野連携に関する検討
 ・MaaSを活用した福祉、観光、商業などの移動の目的と手段を連動させた他分野連携に関する調査検討を行う。

2 MaaSと連携する地域の実情に応じた移動支援方策検討 8,000千円
 ・郊外、中山間地域等の交通不便地域における移動支援方策について、MaaSによるサービス連携を踏まえ、それぞれの地域の実情に応じた検討を行う。



【活用の一般的なイメージ】

<p>商業 アプリ利用者には特売セール実施や、割引特典付与など</p> 	<p>観光 アプリ利用者の趣向に合わせたイベント情報と移動手段の提供 など</p> 	<p>健康 健康志向の移動手段選択時のポイント付加などによる健康増進 など</p> 
---	---	---

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,000				4,000
前年度予算額	4,000				4,000

目的
 地域住民が主体となり、地域で交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保することにより、地域に相応しい持続可能な地域交通の実現及び地域の活性化を図る。



事業概要

長距離を歩くことが困難、又は自動車等の移動手段を持たない、持てない、運転できないといった交通弱者の日常生活を支える移動手段を確保するため、地域住民が主体となった取り組みを支援する。(3年間を試行期間とするモデル事業)

○助成の条件

- ・公共交通の利用が困難(距離、高低差)な地域であること
- ・運行の範囲が地区自治会連合会等の地域内であること
- ・駐車場や運転者の確保等の地域負担ができること
- ・路線バス等の公共交通の乗降場と結節すること

等

○補助対象者 助成の条件を満たす地区自治会連合会等

○補助対象経費、補助率

- ・車両リース費 試行期間

1年目	100%	→	変更なし
2年目	90%	→	100% 拡充
3年目	80%	→	100% 拡充
- ・車両購入費 本運行

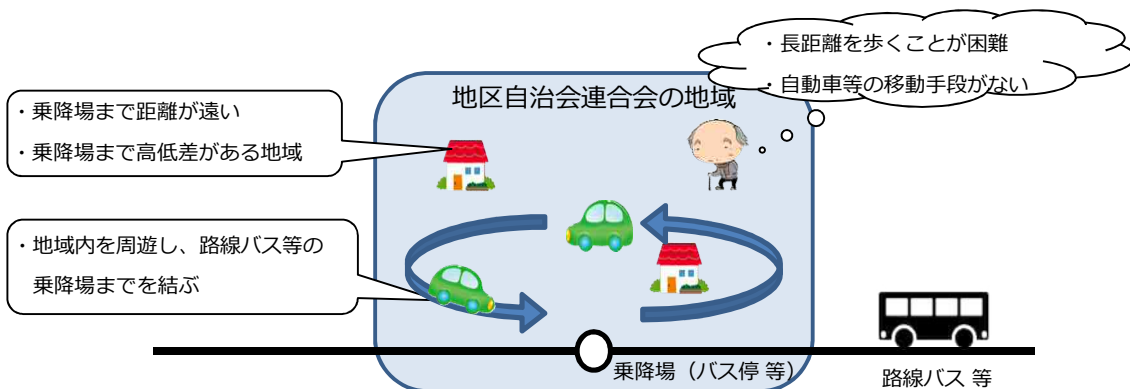
4年目	50%	→	75% 拡充
-----	-----	---	--------
- ・運行に関する経費 ガソリン代等

1年目	100%	→	変更なし
2年目	75%	→	100% 拡充
3年目	50%	→	100% 拡充
4年目以降(本運行)	50%	→	75% 拡充

○駒越地区、長田西地区、新規地区1地区想定

○期待される効果

- ・日常生活における交通弱者の外出機会の創出
- ・基幹公共交通利用者の増加



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	2,850				2,850
前年度予算額	3,000				3,000

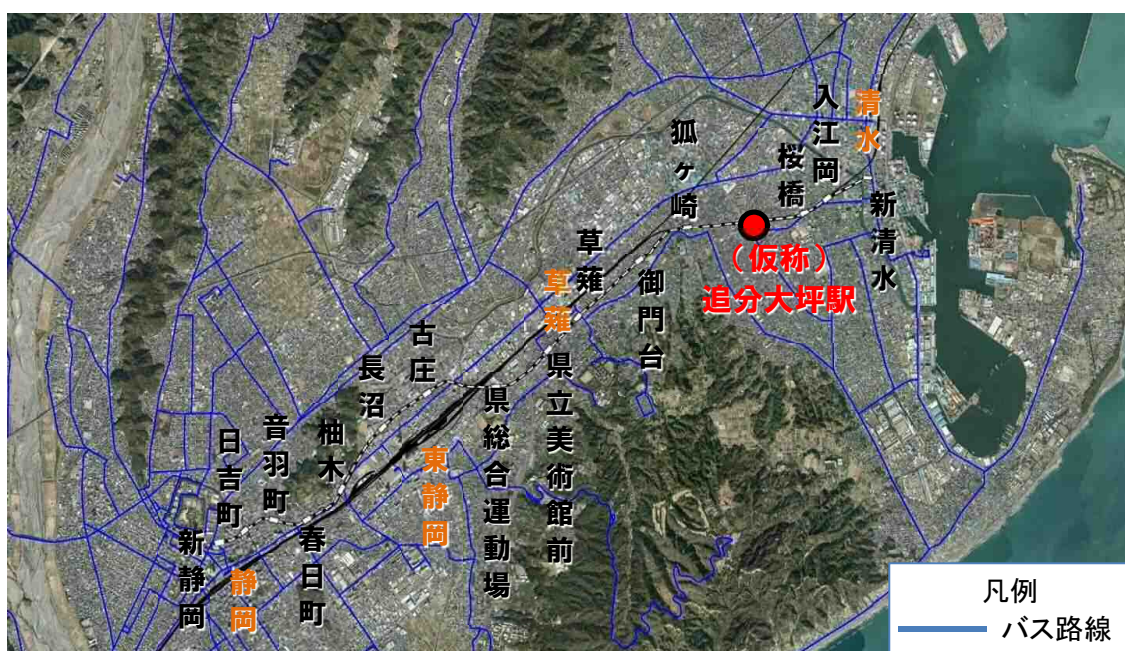
目的
 本市では、持続可能な公共交通サービスを目指し、「お茶っ葉型の地域公共交通網の構築」に取り組むこととしている。
 本事業は、公共交通網の骨格を成す静岡鉄道静岡清水線における交通結節機能の強化について検討する。



事業概要

(都) 日の出町押切線に近接し、静岡鉄道狐ヶ崎駅と桜橋駅の間に位置する(仮称) 追分大坪駅設置において、MaaS等に対応した新駅の将来像や、交通結節点としての役割、また、その効果等について検討を行う。

- AI相乗りタクシーや次世代モビリティの配置を含めた交通結節点のあり方検討等
- 公共交通への転換見込みと効果の検討



自転車利用計画推進事業

交通政策課・生活安心安全課
こども園課・児童生徒支援課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	13,578				13,578
前年度予算額	14,110				14,110

目的	「静岡市自転車利用計画」に掲げた“世界水準の自転車都市”を目指し、民間と連携して「健康の増進」「環境負荷の軽減」「賑わいの創出」「モラルの向上」等を図り、健康長寿のまちづくりに寄与する。
----	---



事業概要	自転車利用環境の向上に向けたハード、ソフト、マインドの各事業を実施する。	
	1 サイクルフェス開催	4,464千円
	自転車利用向上及び自転車の安全利用促進に向け、自転車サポーターと連携した体験型イベントの開催	
	2 静岡市自転車サポーター制度の推進	1,221千円
	「自転車の駅」の増設や公認サポーター数の増加、サポーターによるイベント開催支援等、官民連携した自転車利用の促進	
3 自転車安全教育の推進	5,414千円	
幼児期からの自転車安全教育の充実や自転車事故の削減に向けた勉強会、市立こども園等キックバイク教室、小学校における自転車安全教室の開催など		
4 その他取組	2,479千円	
自転車専用ウェブサイトによる最新情報の発信、啓発品の作成や冊子の増刷など		

静岡市の自転車生活情報サイト
しずおかサイクルシティ
SHIZUOKA CYCLE CITY



【体験型イベント「サイクルフェス」】



【サポーター主催イベント】



【こども園キックバイク講習】



【自転車の駅】



【安全教育勉強会の様子】

【拡充】

御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業

市街地整備課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	127,400	63,700			63,700
前年度予算額	25,500	12,750			12,750

目的
JR静岡駅北口の新たな「顔」づくりとして、防災機能の向上、静岡駅から新静岡駅までの歩行者導線の強化、専修学校誘致による産官学が連携した新たな賑わいの拠点創出を目指す。



事業概要

○御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業への助成
令和元年度の都市計画決定、基本設計を基に、令和2年度は組合設立認可（事業認可）、権利変換計画認可、実施設計等を進める。

【概要】

- ・施行区域 約0.3ha
- ・敷地面積 約1,993㎡
- ・主要用途 商業、専修学校ほか
- ・事業期間 令和元年度～令和5年度
- ・延床面積 約18,000㎡
- ・構造規模 地下1階、地上15階

【令和2年度の助成対象】

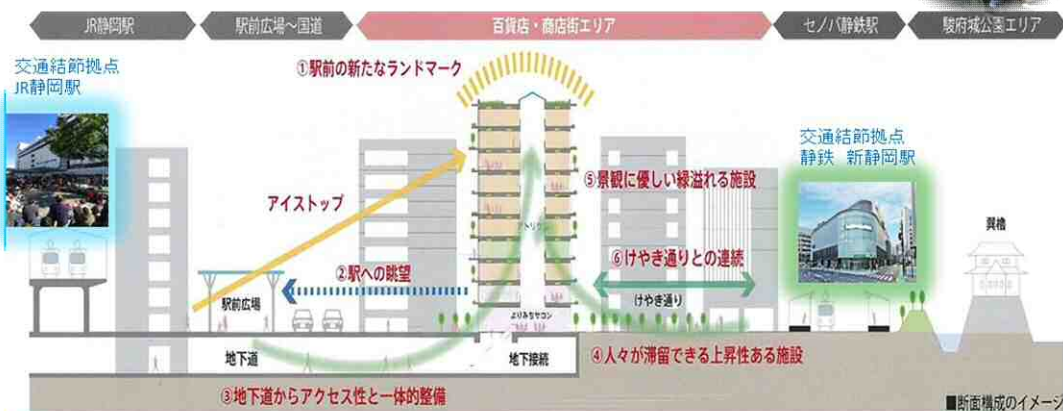
- ・実施設計、権利変換計画作成、補償費

【事業イメージ】



御幸町9番・伝馬町4番地区の更新により…

- ・ゆとりある歩行者空間の確保！
- ・JR静岡駅地下道から静鉄新静岡駅への動線強化！
- ・専門学校の開校により、日常的に約800人の若者が集うまちに！



【御幸町9番・伝馬町4番地区】
新たに約800人の学生を收容 ⇒ 若者と周辺店舗等との連携による新たな賑わいの創出

【拡充】

大谷・小鹿地区まちづくり計画推進事業

新インターチェンジ
周辺整備課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/3)	市債	その他	
当初予算額	719,002	122,384	322,600		274,018
前年度予算額	1,045,198	231,550	636,400		177,248

目的	大谷・小鹿地区まちづくり計画の実現に向け、土地区画整理事業による基盤整備を推進し、産業集積並びに新たな玄関口として魅力ある土地利用への転換を図る。
----	---



事業概要	<p>1 恩田原・片山土地区画整理事業助成 645,691千円 ○助成対象 ・道路築造工事、移転補償ほか</p> <p>2 宮川・水上地区の土地区画整理事業着手に向けた都市計画決定手続きの準備 73,311千円 ○事業内容 ・事業計画・実施計画作成、都市計画決定図書作成ほか</p>
------	---



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	7,000	2,800			4,200
前年度予算額	6,400	2,560			3,840

目的
 地元まちづくり組織「一般社団法人草薙カルテッド」が主体となった、多くの若者や地域住民で賑わう魅力と活気に満ちた「教育文化拠点」づくりを推進する。



事業概要

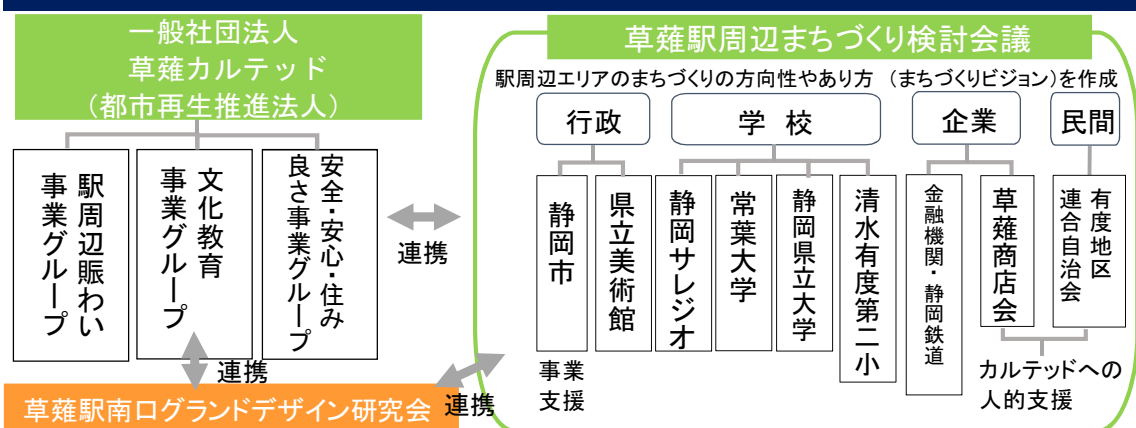
- 事業内容
 「教育文化拠点」の実現を目指し、一般社団法人草薙カルテッドや南口グランドデザイン研究会（自治会、県大、カルテッド、市）との連携により、南口グランドデザインの具体的な取組の実現に向けての検討支援を行う。また、本取組を進めることで、草薙カルテッドの人材育成等を図り、同法人の自立を目指す。
- 事業期間 2013年～2022年
- 令和2年度事業内容
 - ・「草薙駅南口メインストリート」利活用検討
 - ・あかり（照明）のまちづくり事業
 - ・移動しやすい環境づくり（運行手段・主体・体制）等の検討

目指している姿（産学官民が連携し、多くの若者や地域住民で賑わう教育文化拠点の実現）



- 夜間でも安心して歩ける環境づくり等
- 広場を利用したオープンカフェの実施等

官民連携による事業推進体制



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4/10)	市債	その他	
当初予算額	11,500	4,600	6,200		700
前年度予算額					

目的
J R草薙駅北口周辺地区の路上駐輪や放置自転車の防止を図り、駅利用者の利便性向上のため、駐輪場の整備を実施する。また、多くの若者が集まり、交流が生まれる「賑わい交流拠点」として、さらなる賑わいを創出する。



事業概要

- 地質調査及び設計
 - ・ J R草薙駅北口駐輪場地質調査
 - ・ J R草薙駅北口駐輪場設計
- 施設概要
 - ・ 静岡市清水区草薙北
 - ・ 鉄骨造平屋建 ・ 延床面積 600㎡程度
 - ・ 自転車 230台、原付 30台
 - ・ その他所要室 トイレ、管理室等
- スケジュール
 - 令和2年度 地質調査及び詳細設計
 - 令和3年度 整備工事
 - 令和4年度 供用開始



J R草薙駅北口駐輪場建設予定地



整備方針※ J R草薙駅北口ランドデザインより



整備計画 (イメージ)

- ◆低層とすることで、周辺の緑と調和したうるおいある空間を創出します。
- ◆前面を芝生広場とすることで、居心地の良いオープンな空間となります。
- ◆周囲の歩道空間と一体利用することで、学生と地域住民が交流できる空間が生まれます。

※ J R草薙駅北口ランドデザインより

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	30,000	15,000	13,500		1,500
前年度予算額	5,000	2,500			2,500

目的
Park-PFI制度(公募設置管理制度)とは、民間事業者の資金やノウハウを活用する新たな公園活用・整備手法である。この制度を活用し、民間事業者と行政が一体で公園活用事業に取り組むことにより公園再整備費と維持管理運営費のコスト縮減及び公園の魅力向上の実現を目的とする。



事業概要
平成30年度にPark-PFI制度を活用した官民連携による賑わいづくりの可能性調査を実施した結果、公園の持つポテンシャルや事業の可能性が特に高かった城北公園において、Park-PFI制度による収益施設(飲食店等)の設置と特定公園施設(駐車場等)の整備について公募を行う。

- 城北公園Park-PFI特定公園施設整備
民間事業者が収益施設設置に併せて一体的に整備をする特定公園施設の整備費・既存施設の取壊し処分費・樹木伐採処分費に対する負担
- 事業スケジュール
事業者公募 令和2年4月(予定)
事業者決定 令和2年6月(予定)
供用開始 令和3年4月(予定)

【Park-PFI制度の活用イメージ】



※公募の結果(事業者提案)により施設内容に変更があります。

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	4,850				4,850
前年度予算額	3,000				3,000

目的	<p>鯨ヶ池は市内唯一の天然湖水で、釣場や行楽地として親しまれている。近年、付近に新静岡インターチェンジが整備され、本市の新たな玄関口として都市基盤の充実が見込まれることから、池周辺の自然環境の保全と活用を両立した緑地エリアを形成し、市内外からの誘客を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>○鯨ヶ池周辺整備計画検討業務</p> <p>鯨ヶ池及び池周辺の回遊性向上や利活用拠点となる緑地エリアの整備について、整備の範囲や施設配置等の概略の検討、整備基本計画図等の作成、整備工程等の検討を行う。</p> <p>令和2年度事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑地エリアの整備範囲の検討 ・園路や休憩施設等の施設配置、規模・構造等の検討 ・整備計画案作成 等
------	---



鯨ヶ池と釣り桟橋



鯨ヶ池南側農地

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	120,600	45,000	53,500	2,000	20,100
前年度予算額	248,000	113,000	114,700		20,300

目的
麻機遊水地グランドデザインに基づき、第1工区は「自然とふれあう体験型の都市緑地」として、ハス池に木道を整備するとともに、自然環境や立地特性を活かした自立発展型の地域活性化を目指して、産官学民協力体制のもと麻機遊水地保全活用推進協議会を運営する。



事業概要

- あさはた緑地整備事業（第1工区）** 103,600千円
 - 冠水頻度の低い区域約6haの公園的整備（遊具・展望台等施設整備、農業体験広場園路舗装）
 - 複合遊具、展望台、案内板の設置等公園施設の整備及びセンターハウス内部展示等
- 河川海岸環境整備事業負担金** 10,000千円
 - 麻機遊水地第1工区ハス池の回廊整備
- 麻機遊水地保全活用推進協議会負担金** 7,000千円
 - 麻機遊水地の自然再生と利活用を両輪とした取り組みを進めるために協議会を運営



公園の活用



ミヤマアカネ



オニバス

遊水地の貴重な動植物

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、1/3)	市債	その他	
当初予算額	351,110	156,111	183,900		11,099
前年度予算額	319,000	137,450	153,600		27,950

目的	名勝日本平の特性を活かし、市民のみならず観光や国際交流など幅広い活動の場を提供する本市のシンボル公園として、日本平公園の建設を行う。
----	--



事業概要	○実施期間 平成22年度～令和11年度 ○事業箇所 有度丘陵山頂部 ○令和2年度実施内容 ・アクセス道路整備工事 66,000千円 ・駐車場整備工事 110,000千円 日本平夢テラスのオープン後、多くの観光客が来園し、山頂周辺道路・駐車場で混雑が発生しており、交通環境の改善として、アクセス道路・駐車場を整備する。 ・負担金（水道配水タンク） 71,292千円 山頂部配水タンク移設工事に着手する。 ・用地取得関係 89,102千円 ・その他 14,716千円 交差点設計、除草業務ほか
------	--



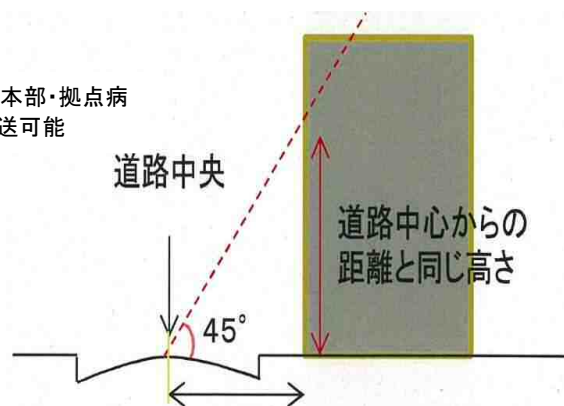
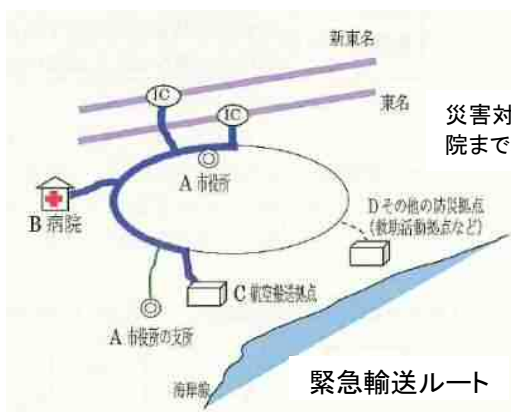
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	3,750	1,875			1,875
前年度予算額					

目的	<p>耐震改修促進法により、耐震診断を義務付けられた要安全確認計画記載建築物の所有者に対し、補強計画、補強工事費用の一部を助成することにより、当該建築物の耐震化を促進し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的被害及び物的被害の減少、並びに救急救命活動等の早期実施を図る。</p>
----	---



事業概要	<p>要安全確認計画記載建築物（※）の所有者に対し、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>○補助率（計画） 計画費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,190千円） （工事） 工事費用と基準額（51,200円/m²×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額40,000千円）</p> <p>※要安全確認計画記載建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急輸送ルート沿道の建築物で、高さが道路幅員の半分を超える建築物 ・ 昭和56年5月以前に着工された建築物
------	---



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	12,266	6,133			6,133
前年度予算額	75,641	37,820			37,821



目的	<p>耐震改修促進法により、耐震診断を義務付けられた不特定多数の者が利用する大規模建築物の所有者に対し、補強工事にかかる費用の一部を助成することにより、当該建築物の耐震化を促進し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的被害及び物的被害の減少を図る。</p>
----	--



事業概要	<p>要緊急安全確認大規模建築物（※）の所有者に対し、補強工事等にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>○補助率（工事） 工事費用と基準額（51,200円／㎡×面積）を比較して少ない額の23%の2／3</p> <p>※要緊急安全確認大規模建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・不特定多数の者に危険が及ぶおそれのある建築物 ・原則3階以上かつ、5,000㎡以上の建築物 ・昭和56年5月以前に着工された建築物
------	--

対象建築物

【耐震診断の義務化・耐震診断結果の公表】

<p>要緊急安全確認大規模建築物</p>	<p>病院、店舗、旅館等の不特定多数の者が利用する建築物および学校、老人ホーム等の避難弱者が利用する建築物のうち大規模なもの</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; text-align: center;"> <div style="margin: 5px;"> <p>幼稚園・保育園</p>  </div> <div style="margin: 5px;"> <p>小・中学校</p>  </div> <div style="margin: 5px;"> <p>老人ホーム</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>ホテル・旅館</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>美術館・図書館など</p>  </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">火薬類、石油類その他危険物を、一定量以上貯蔵または処理している大規模な貯蔵場等</p>
----------------------	--

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 <small>(国1/2、県4/10、3/8、3/10)</small>	市債	その他	
当初予算額	213,068	181,803			31,265
前年度予算額	268,838	225,404			43,434

民間の住宅や建築物の耐震対策を支援し、南海トラフ巨大地震等発生時における人的被害及び物的被害の減少を図る。



事業概要	1 木造住宅耐震事業費助成	
		208,118千円
	○わが家の専門家診断事業（耐震診断） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象に、専門家を無料で派遣し耐震診断を行う。	
	○木造住宅耐震事業（補強計画・補強工事） 昭和56年5月以前に建築された木造住宅の所有者に対し、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率 補強計画と補強工事の費用の8/10 (上限1,000千円)	
	2 特定建築物耐震事業費助成	
	4,950千円	
	特定建築物（※）の所有者に対し、耐震診断、補強計画及び補強工事にかかる費用の一部を助成する。 ・補助率（診断）診断費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3 （計画）計画費用と基準額（単価×面積）を比較して少ない額の2/3（上限額4,190千円） （工事）工事費用と基準額（51,200千円/m ² ×面積）を比較して少ない額の23%の2/3	
	※特定建築物 ・災害時に重要な機能を果たす建物 ・多数の者に危険が及ぶ恐れのある建築物 ・原則3階以上かつ、1,000m ² 以上の建築物 ・昭和56年5月以前に着工された建築物	



補強前



補強中



補強後

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	83,296	41,648			41,648
前年度予算額	23,225	11,612			11,613

目的	地震による倒壊、転倒の危険性のあるブロック塀等の撤去、または改善にかかる費用の一部を助成することにより、倒壊による人的被害を防止し、公共の安全を確保する。
----	---



事業概要	<p>避難路沿道等のブロック塀等(※)の撤去及び緊急輸送路等沿いのブロック塀等の改善にかかる費用の一部を助成する。</p> <p>1 撤去 81,840千円 ○倒壊や転倒の危険性のある避難路沿いのブロック塀等の撤去にかかる費用の一部を助成 ・補助率 工事費用と基準額(20,000円/m)を比較して少ない額の2/3(上限100千円)</p> <p>2 改善 1,456千円 ○緊急輸送路等に面した危険なブロック塀撤去後に、安全な塀の新設にかかる費用の一部を助成 ・補助率 工事費用と基準額(38,400円/m)を比較して少ない額の2/3(上限250千円)</p> <p>※ブロック塀等 補強コンクリートブロック造を含む組積造の塀</p>
------	--



【実施前】



【実施後】

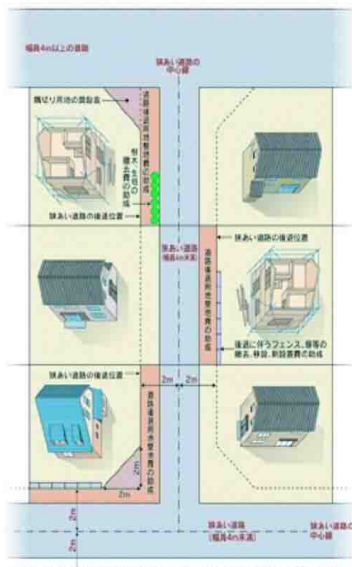
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	87,022	43,511			43,511
前年度予算額	87,159	43,579			43,580

目的	<p>1 狭あい道路の拡幅整備を推進することにより、ゆとりある生活環境の確保と、避難・消防・救護活動の場を確保し災害に強いまちづくりを目指す。</p> <p>2 道路に関する情報の適正な管理を図り、閲覧に供することにより、建築に係る業務の円滑化を図る。</p>
----	--



事業概要	<p>1 狭あい道路拡幅整備事業 76,546千円 ○補助対象となる道路に面する敷地において、拡幅事業を実施し、その道路拡幅用地を市に寄附する者に対し、助成金及び奨励金を交付する。 ・境界確定のための測量等 ・ブロック塀等の撤去費用等助成 ・道路拡幅用地の道路修繕</p> <p>2 指定道路台帳整備事業 10,476千円 ○建築基準法に規定する各種道路の指定又は評価等の業務により作成された道路情報を適正に管理し、窓口業務で閲覧等に活用する。 ○インターネットによる道路情報の公開と指定道路図情報システムのデータの更新及び精査作業を行う。</p>
------	--



狭あい道路拡幅整備事業
【実施前】 【実施後】



寄附地の道路修繕概要 道路情報のインターネット公開

(千円)

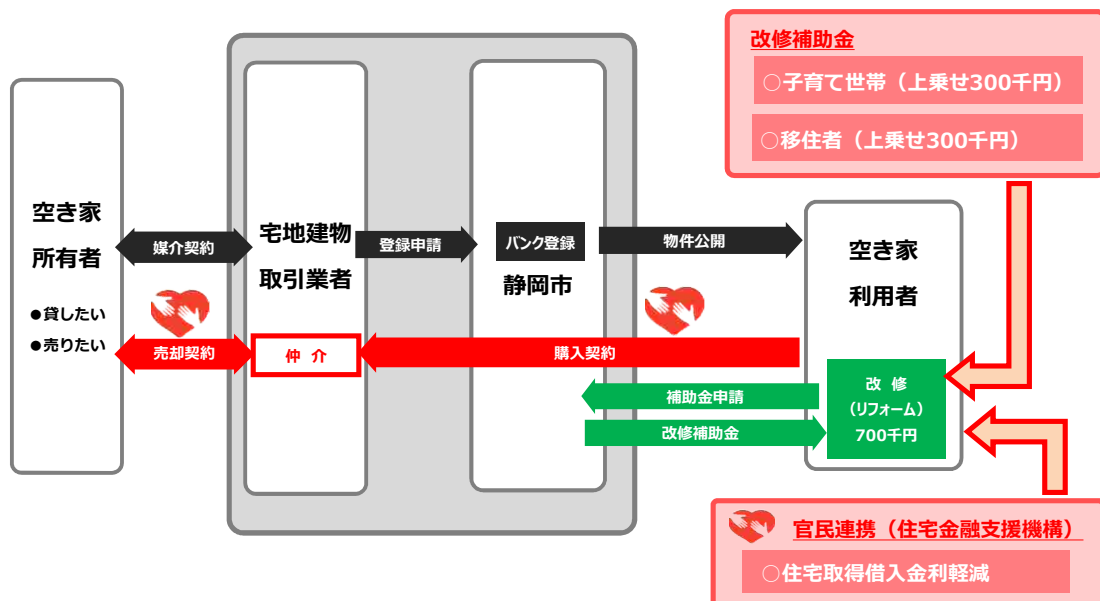
	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (4.5/10)	市債	その他	
当初予算額	1,700	765			935
前年度予算額	5,800	2,610			3,190

目的 市街化区域内に所在する空き家を有効活用することにより、当該区域における定住の促進と地域の活性化を図るとともに、子育て世帯にあっては子育てに係る居住環境の向上を図り、移住者にあっては転入による人口の増加を図る。

事業概要

- 1 空き家情報バンク利活用に係るリフォーム補助金 1,700千円
 ○空き家改修補助金
 ・補助率 改修費の1/3
 ・補助上限額 700千円
 ○子育て世帯向け、移住者向け 空き家改修補助金
 ・小学校6年生までの子どもを扶養している世帯又は県外からの移住者に対して、改修補助金の上乗せ300千円（空き家改修補助金として最大1,000千円）を実施
- 2 独立行政法人住宅金融支援機構との協定締結
 ○空き家改修補助金の交付を前提とした住宅取得にかかる借入金利を軽減
 ・「フラット35」を利用した場合、借入金利を当初5年間0.25%引下げ

空き家情報バンクにより、空き家所有者と利用者のマッチングを手助け



建 設 局

建設局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

～活発な経済活動や快適な市民生活を支える強靱な社会基盤を有するまちの実現～
ストック効果を重視した公共投資の推進により、市民の安心・安全や豊かな暮らしを確保するとともに、経済成長を図り、経済再生と財政健全化の双方を実現

令和2年度の主な取組

I 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進

10,002,953千円（10,483,638千円）

1 広域交通ネットワークの強化

- ①[継続] 国道1号静岡バイパス整備促進事業
- ②[継続] ICアクセス道路整備事業
- ③[継続] 中部横断自動車道の整備促進事業
- ④[継続] 地域高規格道路（静岡南北道路）調査検討事業



国道1号静岡バイパス（清水立体）



静岡市街の拠点とアクセス整備

2 道路網の整備による交流機能の向上

- ①[継続] 市道の整備事業
- ②[継続] 都市計画道路の整備事業
- ③[継続] 国道・県道の整備事業
- ④[継続] 南アルプスユネスコエコパークを活かす道路整備事業
- ⑤[継続] （市）羽衣海岸線、（都）清水港三保線の整備事業
- ⑥[継続] 道の駅整備事業

II 道路利用者の安全性・快適性向上のため、道路環境の改善を推進

723,829千円（1,027,750千円）

1 道路の安全性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業（通学路対策）

2 自転車走行空間の整備

- ①[継続] 交通安全施設整備事業（自転車走行空間整備）



自転車・歩行者の安全を確保

3 道路環境の快適性の向上

- ①[継続] 交通安全施設整備事業（無電柱化）
- ②[継続] 交通安全施設整備事業（バリアフリー道路特定事業）

Ⅲ 持続可能な運営を図るため、維持管理・更新を計画的に推進

3,902,996千円（4,460,826千円）

1 維持管理計画に基づいた対策の推進

- ①[継続] 道路舗装整備事業
- ②[継続] 橋りょう整備事業(道路橋の維持管理)
- ③[継続] 橋りょう整備事業(トンネル補修)
- ④[継続] 道路附属施設更新事業



(県) 静岡焼津線 石部海上橋

2 環境・省エネルギー

- ①[継続] 道路照明灯の更新(LED化を含む)

3 市民・企業との協働・連携による維持管理・活用の推進

- ①[継続] 道路サポーター制度の利用促進

Ⅳ 自然災害に耐える社会基盤の強靱化を推進

2,721,172千円（2,575,883千円）

1 施設の耐震化等の推進

- ①[継続] 橋りょう整備事業(道路橋の耐震化)
- ②[継続] 河川構造物耐震・津波対策事業



向島排水樋管耐震・津波対策事業

2 浸水対策の推進

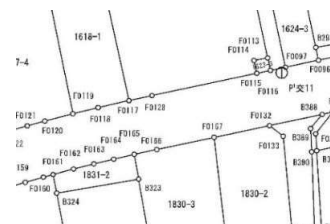
- ①[継続] 河川改修事業

3 災害時の対策及び体制強化

- ①[継続] 道路自然災害防除事業(法面对策)
- ②[継続] 急傾斜地崩壊対策事業
- ③[拡充] 地籍調査事業



筆界プレート及び筆界番号標



地籍図(筆界点番号図)

(令和元年度11月補正予算) 令和元年10月12日の台風19号の豪雨により被害を受けた施設の復旧
道路災害復旧事業 1,091,000千円
河川災害復旧事業 181,300千円

Ⅴ 多様な人材が活躍する職場づくり

700千円（0千円）

1 女性技術者活躍推進事業

- ①[新規] 女性技術職員のための講演会及び意見交換会

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、1/2、3.4/10)	市債	その他	
当初予算額	2,920,400	862,900	2,047,000	5,900	4,600
前年度予算額	3,727,900	1,144,500	2,576,900		6,500

目的	新東名高速道路、中部横断自動車道、(国)1号静岡バイパス、清水港などと連携した道路ネットワークを構築し、産業や観光を活性化するとともに、市内の緊急輸送路等の防災機能を向上させる。
----	---



事業概要	<p>1 港湾、ICアクセス道路整備 1,173,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (国)150号(静岡バイパス、久能拡幅) ・ (主)井川湖御幸線(下～松富上組) ・ (主)山脇大谷線(小鹿～宮川) ・ (主)清水富士宮線(庵原～伊佐布) <p>2 (国)1号静岡バイパスの整備促進 1,740,000千円 (国直轄道路事業負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (国)1号静岡バイパス清水立体事業 <p>3 地域高規格道路(静岡南北道路)調査検討 6,900千円</p> <p>※ 上記以外の国県道・市道の整備 5,871,080千円(事業費に含まない)</p>
------	--

【道路ネットワークの構築】

① 新東名高速道路及び中部横断自動車道とのアクセス

- ◆(主)井川湖御幸線(下～松富上組)
新静岡IC～静岡市街地の現道拡幅(現状2車線 ⇒ 4車線)
- ◆(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)
清水いはらIC～(国)1号静岡バイパス間のバイパス整備



(国)150号(久能拡幅)



(主)清水富士宮線(庵原～伊佐布)

② (国)1号静岡バイパスの立体化

清水区横砂東町～八坂西町を結ぶ延長2.4kmの高架化

静岡市道路ネットワーク計画図

(主)井川湖御幸線
4車線拡幅

(都)静岡駅賤機線
4車線拡幅

(主)清水富士宮線
(庵原～伊佐布)
バイパス整備

(国)1号静岡バイパス
(清水立体)

(国)150号
(静岡バイパス)

(主)山脇大谷線
(小鹿～宮川)

(国)150号
(久能拡幅)

凡例

- 主要事業箇所
- - - (国)1号静岡バイパス立体化(直轄事業)
- 青文字: 国直轄事業



(市) 羽衣海岸線、(都) 清水港三保線の整備事業

道路計画課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	375,700	175,500	179,900	17,600	2,700
前年度予算額	200,000	100,000	96,000		4,000

目的

(市)羽衣海岸線及び(都)清水港三保線の整備により、世界文化遺産富士山の構成資産である三保松原へのアクセス向上を図るとともに、(都)塚間羽衣線と連結し、三保半島の環状道路網を構築する。

事業概要

(市) 羽衣海岸線

- ・事業箇所
- ・延長・規格
- ・事業着手年度
- ・全体事業費
- ・令和2年度事業内容

静岡市清水区折戸～三保
L=2.2km、W=12.0m(2車線)
平成16年度
1,961百万円
用地物件補償、道路工

(都) 清水港三保線

- ・事業箇所
- ・延長・規格
- ・事業着手年度
- ・全体事業費
- ・令和2年度事業内容

静岡市清水区駒越北町～折戸
L=1.4km、W=20.0～23.0m(4車線)
平成19年度
2,654百万円
街路築造工事、用地取得
物件補償、物件調査



道路整備着手前



整備済み箇所の状況



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2)	市債	その他	
当初予算額	30,460	7,500			22,960
前年度予算額	15,575	7,500			8,075

目的

道路休憩機能の強化による交通環境の向上とともに、観光情報等の発信、大規模災害に備えた防災機能、地域の特色を活かした地域振興機能を併せた地方創生に資する新たな道の駅を整備することで、道の駅を核とした活力ある地域を創造する。

事業概要

静岡市道の駅基本構想に記載した検討過程に基づき、整備検討路線ごとの調査・検討を行ったうえで基本計画を策定し、新たな道の駅を整備する。

- 令和2年度の事業内容
 - ・基本計画の策定
 - ・地質調査等の実施

道の駅のコンセプト

— しずおかの“イキ”が集まる道の駅 —

行き交う（交流） 行き先（目的地化） 広域 地域 生き 粋 生きがい 生きる

6つの基本方針

基本方針1：市内外からヒト・モノを呼び込み、送り出す交流拠点 都市の発展

静岡市へのアクセスの良さ、道路ネットワークを活かし、ヒト・モノの交流拠点をつくる

基本方針2：しずおかを発信する基地 都市の発展

ここに来れば静岡市のことが何でもわかる、静岡市に触れられる、そんな情報発信の基地をつくる

基本方針3：誰もがまた来たくなる場所 暮らしの充実

地域の人たちが活躍することで、誰もが親しみを持ち、何度でも訪れたくなる場所をつくる

基本方針4：困ったときに誰もが頼るよりどころ 暮らしの充実

福祉機能を充実させて市民生活を守り、災害時には防災拠点として活躍する“よりどころ”をつくる

基本方針5：みんなで支える工夫の結集地点 つくり方

機能を維持し続けるため、計画・建設・維持管理・運営のすべてで、産学官金民の工夫を結集させる

基本方針6：新しい発想の創出地点 つくり方

産学官金民のアイデアを積極的に取り入れ、新たな取り組みにも挑戦し続ける

交通安全施設整備事業（自転車走行空間整備）

道路保全課

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10)	市債	その他	
当初予算額	266,800	117,920	85,800	10,600	52,480
前年度予算額	261,000	125,400	99,500	14,000	22,100

目的	自転車や歩行者が、安心して通行できる道路空間の提供
----	---------------------------



事業概要	<p>整備予定箇所の道路の現状（車道や歩道の幅）に応じた整備を実施する。</p> <p>○主な整備手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用通行帯（自転車レーン） 外側線（白線）の外側（路肩）を青色で着色し、自転車の通行位置を明示 ・車道混在（矢羽根マーク・自転車ピクト） 自転車（車道左側端）の通行位置を明示 <p>○主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駿府町北安東線（葵区北安東一丁目付近） ・大谷川左岸大谷線（駿河区大谷一丁目付近） ・（主）静岡清水線（清水区天王南付近） ほか
------	---

安全で快適な自転車走行空間を整備



自転車レーン



矢羽根マーク



自転車ピクト

橋りょう整備事業（道路橋の維持管理・耐震化、トンネル補修） 道路保全課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (5.5/10、2.2/10)	市債	その他	
当初予算額	2,639,110	1,284,250	1,085,900	57,800	211,160
前年度予算額	3,029,100	1,385,600	1,313,800	37,325	292,375

目的	道路橋の損傷を早期補修することによる長寿命化、大規模災害に対し橋桁の落下や倒壊を防止するための耐震化、並びに、トンネルの補修や設備更新等を実施することで、安心して安全に通行できる道路環境を確保する。
----	---



事業概要	1 道路橋健全化事業等 1,366,040千円 ・ 腐食鋼部材塗替えや断面補修 等 ・ 5年に一度の定期点検の実施 ○主な整備予定箇所 ・ (主) 井川湖御幸線（玉機橋） ・ (県) 静岡朝比奈藤枝線（牧ヶ谷橋）ほか
	2 道路橋の耐震化事業 856,970千円 ・ 橋脚の巻立て補強、落橋防止装置の設置 等 ○主な整備予定箇所 ・ (県) 静岡焼津線（石部海上橋） ・ (県) 入江富士見線（桜橋）ほか
	3 道路トンネル補修事業 416,100千円 ・ トンネル設備の更新・点検 等 ○主な整備予定箇所 ・ (国) 150号（新日本坂トンネル）ほか

○道路橋健全化事業(鋼桁塗替え)



○道路橋耐震化事業(橋脚巻立て)



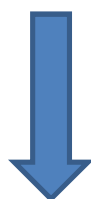
(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	80,000		80,000		
前年度予算額	90,000	16,500	67,500		6,000

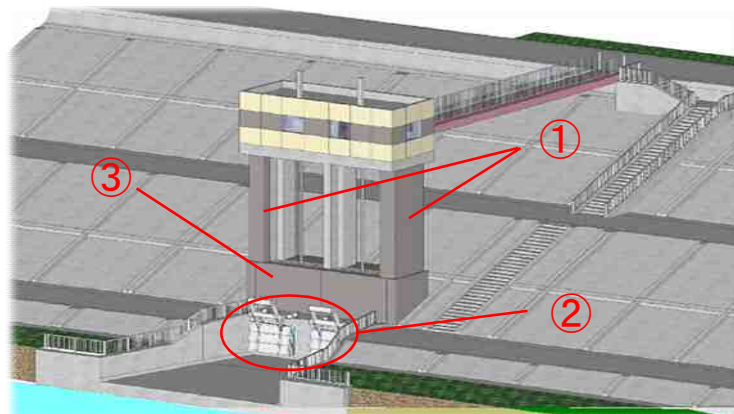
目的	市が管理している重要な河川構造物の耐震化・津波対策を進め、地震、津波に対する被害軽減を図る。
----	--



事業概要	向島排水樋管（清水区蒲原）の耐震化及び操作人の安全確保を目的とする自動閉鎖化に向けた施設整備
------	--



- ①門柱部の耐震化
- ②耐津波ゲートの新設
- ③既設ゲートの自動閉鎖・水密構造化



（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/2、2.2/10)	市債	その他	
当初予算額	585,265	166,750	229,800	5,000	183,715
前年度予算額	574,860	192,530	210,900		171,430

目的	自然災害に備えた法面对策等を実施し、安全で安心な道路環境を確保する。
----	------------------------------------

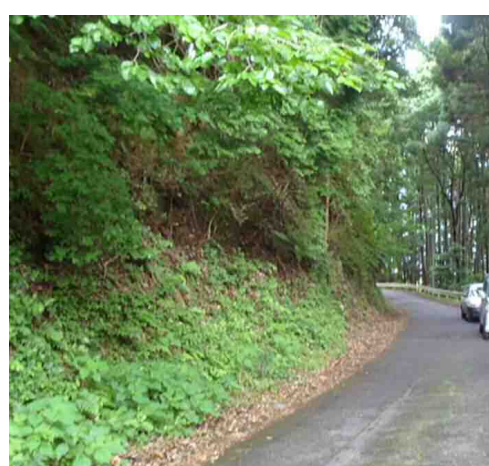


事業概要	<p>道路防災点検等によって緊急・早期に対策が必要と診断された法面の対策設計・工事を進める。</p> <p>○法面对策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変状の原因となっている地下水を排水するため、水抜き排水管を設置する。 ・法面上部からの落石を防止するため、のり面を金網で覆う。 ・法面の風化を防ぐため、コンクリートを吹付けて固める。 <p>○主な整備予定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（主）南アルプス公園線（葵区横沢） ・大原山中線（葵区富厚里） ほか
------	--

道路法面对策事業



（主）南アルプス公園線（葵区横沢）
過去の降雨等の影響により発生した変状の拡大を防止するため、法面对策を実施



大原山中線（葵区富厚里）
過去に降雨等で発生した落石を未然に防止するため、法面对策を実施

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	96,388		66,500		29,888
前年度予算額	86,970		65,000		21,970

目的	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命を守るため、急傾斜地崩壊対策事業を実施し、災害の未然防止を図る。
----	---



事業概要	<p>「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき実施する事業</p> <ol style="list-style-type: none"> <p>県の対策工事を促進するための測量 ほか 18,000千円</p> <p>○県が急傾斜地崩壊危険区域を指定するために必要な測量業務</p> <p>・ 葵区飯間、駿河区手越、清水区馬走 ほか</p> <p>既成宅地防災施設設置費助成制度 10,000千円</p> <p>○保全人家4戸以下の危険箇所に住する住民が行う土砂災害防止施設の設置費用を助成</p> <p>・ 補助率 工事費の1/2以内</p> <p>・ 補助額 最大5,000千円</p> <p>急傾斜地崩壊対策事業負担金 66,500千円</p> <p>○県が実施する急傾斜地崩壊防止事業に係る負担金</p> <p>・ 負担率 工事費の1/10以内</p>
------	---



避難の時間を稼ぐ施設
の設置



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (3/4)	市債	その他	
当初予算額	64,915	19,659		33	45,223
前年度予算額	50,083	22,560		28	27,495

目的	災害復旧の迅速化、まちづくりの円滑な推進などに資するため、地籍を明確にする。
----	--



事業概要	<p>国土調査法に基づく地籍（地番、地目、境界、面積、所有者）の明確化のための地籍調査及び国土調査法19条5項指定の推進ほか</p> <ol style="list-style-type: none"> 地籍調査 <ul style="list-style-type: none"> 駿河区静岡海岸周辺地区（対象面積 36ha） 清水区蒲原地区（対象面積 14ha） 駿河区下川原地区（対象面積 14ha）ほか 国土調査法第19条第5項指定 拡充 <ul style="list-style-type: none"> 道路事業等の測量成果を活用した地籍整備 静岡市地籍調査基本計画改定業務 新規
------	--



地籍調査前（公図、字限図）



地籍調査後（地籍図）

表題部（土地の表示）		調製	余白	不動産番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
地図番号	A11-2	筆界特定	余白		
所在	〇〇市〇〇町二丁目			余白	
①地番	②地目	③地積	m ²	原因及びその日付〔登記の日付〕	
218番	畑		120	余白	
余白	宅地		135.57	②③錯誤、国土調査による成果 〔平成30年7月2日〕	

登記簿の書き換え

*国土交通省HP「地籍調査Webサイト」より引用

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	700				700
前年度予算額					

目的

女性技術者のキャリアアップを支援し、女性技術者が一同に集まり意見交換をすることで、仕事へのモチベーション向上を図る。また、建設業の働き方改革、担い手確保に繋げる。

事業概要

- 女性技術者100人集合！講演会&意見交換会
 ○2020年7月～8月に実施予定 場所 静岡駅周辺
 ○参加者 市女性技術職員、県・他都市女性技術職員、民間女性技術者、理系の女子高校生
- 1 建設業において、女性技術者として活躍している講師を招き、講演会を実施
 - 2 女性技術者に関する課題をテーマに、グループ毎、意見交換会を実施（女性技術者ネットワークの構築）
 - ・理系の女子高校生に参加してもらい、建設業の魅力を伝えていく。
 - ・100人も同じ立場の女性がいると知るだけで、孤独感が薄れ、安心感、連帯感が生まれる。
 - 3 参加者には、さくらももこさんのイラストを使用したノベルティグッズ（ネックストラップを予定）を配布し、対外的にも建設業における女性活躍をPR






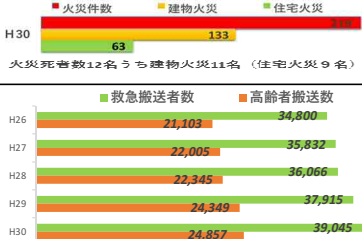
消 防 局

消防局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

～災害から市民の生命や財産を守り、安心・安全に暮らせるまちを実現する～

市民生活を脅かす災害には様々なものがあり、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」や、頻発する大型台風及びゲリラ豪雨による風水害、日常生活において発生しうる火災や救急など、規模や頻度の異なる様々な災害に対応していかなければならない。いかなる災害に対しても、生命を守ることを最優先とし、可能な限り被害を軽減するため、市民や関係機関と協力・連携して災害に備え、立ち向かうまちづくりを進めていく。

動向と課題 複雑多様化する災害とその被害を減らすため、市民一丸となった体制や対策が必要となっている。						
1 巨大地震による甚大な被害の想定 ・静岡県地震被害想定に基づく管轄する3市2町の最大死者数 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th>第3次想定</th> <th>第4次想定</th> </tr> <tr> <td>約2,200人</td> <td>約33,900人</td> </tr> </table>	第3次想定	第4次想定	約2,200人	約33,900人	2 増加する災害出動件数 ・建物火災の過半数が住宅火災であり、死傷者も住宅火災において多く発生している。  ・災害出動件数や高齢者の救急搬送が増加している。 	3 様々な危機 ・テロや武力攻撃事態、感染症の流行など市民生活を脅かす様々な危機が懸念されている。 
第3次想定	第4次想定					
約2,200人	約33,900人					
						

消防政策の施策体系

3次総 ⑨防災・消防 政策3

施策1 火災予防の推進 ①火災被害の低減 ・住宅用火災警報器の設置促進 ・放火防止対策の強化 ②消防法令違反の是正 ・重大違反対象物等に対する重点的な立入検査の実施 ・小規模雑居ビル等への夜間パトロールの実施   	施策2 救急体制の充実 ①応急手当普及啓発活動の促進 ・市民に対する救命講習の実施 ・小中学生の受講促進 ②日勤救急隊の新設 ・日中の救急需要に対応   	施策3 緊急消防援助隊の受入体制の充実 ①消防活動支援情報のICT化促進 ②緊急消防援助隊活動拠点の確保 
--	---	--

令和2年度の主な取組

I 消防庁舎施設保全事業 117,954千円 (34,000千円)

【事業概要】

災害活動拠点としての重要な役割を担う葵消防署の大規模改修工事を実施し、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指す。



築38年が経過している葵消防署庁舎について、静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき計画的な長寿命化を推進するため、老朽化している電気設備、衛生設備、空調設備等の更新を行うと共に、女性消防職員用設備など時代に即した庁舎への機能改善を図る。

また、改修工事期間中における消防体制確保のため、葵消防署管内（静岡市民文化会館修景広場内）に仮設庁舎を設置する。

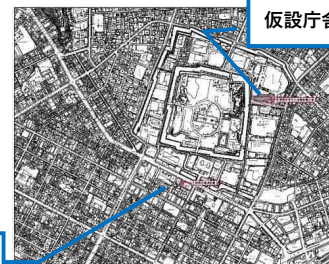
（改修工事期間：令和2年度から令和3年度）



葵消防署



仮設庁舎建設場所



II 消防総合情報システム・消防救急デジタル無線部分更新事業

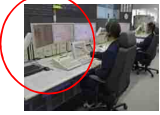
694,000千円（0千円）

【事業概要】

消防救急広域化市町全域からの119番通報に、引き続き迅速・的確に対応していくため、消防総合情報システム・消防救急デジタル無線設備の部分更新を行います。

・消防総合情報システム **新規**

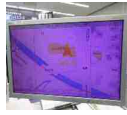
自動出動指定装置



指令伝送装置



地図データ



・消防救急デジタル無線 **新規**

遠隔制御器



無線統制台



デジタル無線基地局



III 消防団員確保対策事業

20,821千円（2,459千円）

【事業概要】

地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。

1 機能別団員制度の導入 **新規**

- ・団員減少による災害対応力の低下を防ぐため、令和2年度より災害活動のみを任務とする機能別団員を導入

2 広報活動の強化

- ・消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演
- ・消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用

3 制度の周知

- ・学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施
- ・消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施

4 消防団活性化の取組

- ・団員と共に組織した消防団活性化プロジェクトを通じ、団員の声に耳を傾け魅力ある消防団実現のための施策を検討



カラーガード隊による広報活動



消防団による排水活動(台風19号)



IV 消防団施設整備事業

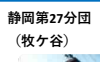
167,403千円（172,088千円）

【事業概要】

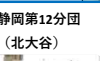
静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。

消防団庁舎建設事業

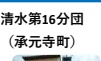
- ・静岡第27分団（牧ヶ谷）
建設・解体工事
- ・清水第16分団（承元寺町）
建設・解体工事
- ・清水第16分団（興津本町）
建設・解体工事
- ・由比第2分団（寺尾）
設計・地質調査・測量・用地取得
- ・静岡第12分団（北大谷）
設計・地質調査・用地取得



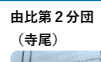
静岡第27分団（牧ヶ谷）



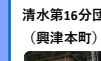
静岡第12分団（北大谷）



清水第16分団（承元寺町）



由比第2分団（寺尾）



清水第16分団（興津本町）



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (定額、1/3)	市債	その他	
当初予算額	438,508	33,838	243,100	157,347	4,223
前年度予算額	428,200	30,386	263,300	125,240	9,274

目的	消防車両等更新計画に基づき車両及び資器材を整備し、現有消防力の維持を図る。
----	---------------------------------------



事業概要	1 常備消防装備整備事業 305,530千円 ・水槽付消防ポンプ自動車 (I-B型) 1台 ・小型動力ポンプ付水槽車 1台 ・救助工作車II型 1台 ・高規格救急自動車 2台 ・高規格救急自動車資器材 2式 ・資機材搬送車 1台 ・指揮車 1台 ・指揮連絡車 1台
	2 非常備消防装備整備事業 132,978千円 ・団指揮車 1台 ・消防ポンプ自動車 (CD-I型) 4台 ・小型動力ポンプ積載車 6台 ・小型動力ポンプ (B-3級) 6台

【常備消防装備整備事業】



水槽付消防ポンプ自動車 (I-B型)



小型動力ポンプ付水槽車



救助工作車II型



高規格救急自動車



資機材搬送車



指揮車

【非常備消防装備整備事業】



団指揮車



消防ポンプ自動車 (CD-I型)



小型動力ポンプ積載車



小型動力ポンプ (B-3級)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	117,954		44,200		73,754
前年度予算額	34,000		25,500		8,500

目的	静岡市アセットマネジメント基本方針に基づく計画的な保全を実施し、消防体制の充実強化を図る。
----	---



事業概要	<p>消防庁舎施設保全事業 【令和2～3年度実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葵消防署 大規模改修工事 外壁改修、屋上防水、電気・衛生・空調設備改修など <p>葵消防署大規模改修工事 築38年が経過している葵消防署庁舎について、静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき計画的な長寿命化を推進するため、老朽化している電気設備、衛生設備、空調設備等の更新を行うとともに、女性消防職員用設備など時代に即した庁舎への機能改善を図る。</p> <p>また、改修工事期間中における消防体制確保のため、葵消防署管内（静岡市民文化会館修景広場内）に仮設庁舎を設置する。</p>
------	---



葵消防署庁舎



現庁舎・仮設庁舎位置図

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	167,403		155,900		11,503
前年度予算額	172,088		167,800		4,288

目的	静岡市消防団施設整備計画に基づき消防団施設を建替え、地域防災力の充実強化を図る。
----	--



事業概要	<p>消防団施設整備事業</p> <p>【令和1～2年度実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡第27分団（牧ヶ谷） 建設・解体工事 ・清水第16分団（承元寺町） 建設・解体工事 ・清水第16分団（興津本町） 建設・解体工事 <p>【令和2～3年度実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由比第2分団（寺尾） 設計・地質調査・測量・用地取得 ・静岡第12分団（北大谷） 設計・地質調査・用地取得
------	--



静岡第27分団(牧ヶ谷)



清水第16分団(承元寺町)



清水第16分団(興津本町)



由比第2分団(寺尾)



静岡第12分団(北大谷)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	694,000		508,600	177,033	8,367
前年度予算額					

目的	市民の生命・身体・財産をも守る消防機関において、119番通報受信を確実にし、出動する事は必須であり、システムの正常安定稼働のために部分更新を実施する。
----	---



事業概要	<p>1 消防総合情報システム 598,000千円 119番通報を受け、出動車両の編成や出動指令をかけるためのシステム ○主な更新機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動出動指定装置 災害種別、規模に応じて出動隊の編成を瞬時に行う装置 ・指令伝送装置 各署所に設置され、指令情報を表示し出力する装置
	<p>2 消防救急デジタル無線 96,000千円 消防、救急活動時に指令センターと現場とで交信する際等に使用する無線設備 ○主な更新機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線統制台 (FC: ファクトリーコンピュータ) 指令システムの障害発生時に代替として出動指令をかけることができる台 ・無線基地局設備

【消防総合情報システム】



自動出動指定装置



指令伝送装置

【消防救急デジタル無線】



無線統制台



デジタル無線基地局

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	20,821	4,430			16,391
前年度予算額	2,459				2,459

目的

地域防災の中核を担う消防団員の入団促進を行うことにより、消防団員を確保し、地域防災力の充実強化を図る。

事業概要

本市において、消防団員の確保は喫緊の課題であり、これまでの実施事業の更なる浸透及び発展と併せ、新たな入団促進対策として、機能別団員制度を導入する。

- 機能別団員制度の導入 **新規** 18,362千円
○団員減少による災害対応力の低下を防ぐため、令和2年度より災害活動のみを任務とする機能別団員を導入
- 広報活動の強化 2,459千円
○消防団のイメージアップのため、カラーガード隊の地域に密着したイベントへの出演
・出演予定 1月消防出初式 ほか年間13回を予定
○消防団活動の情報発信のため、静岡市消防団公式Facebookの活用
・内容 消防団活動、消防防災の啓発に関する情報など
- 制度の周知
○学生消防団活動認証制度の周知のため、学校及び商工会議所への説明会の実施
・説明会 4～5月 商工会議所
10～11月 大学・専門学校
○消防団協力事業所表示制度の周知のため、商工会議所への説明会の実施
・説明会 4～5月 商工会議所
- 消防団活性化の取組
○団員と共に組織した消防団活性化プロジェクトを通じ、団員の声に耳を傾け魅力ある消防団実現のための施策を検討

【カラーガード隊による広報活動】



【令和元年10月 消防フェア】

【消防団による排水活動】



【令和元年10月 台風第19号】

上 下 水 道 局



令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

健全で強靱な上下水道を、子どもたち、孫たちの世代に引き継ぎ、現在のサービス水準を維持・向上していく、持続可能な上下水道事業の実現を目指す。

『しずおか水ビジョン』（2015～）

上下水道事業が一体となって長期的に目指す姿、市民の皆さんへの約束。



令和2年度の主な取組

政策1 危機管理を強化する。

水道 重要な管・施設の地震対策 932,459千円

○水道管の耐震化 706,130千円

葵区大岩町・大岩一丁目、清水区興津本町・興津中町ほか
予定整備延長2,843m

○災害時活動拠点の整備 100,000千円

駿河区中島 耐震性貯水槽設置

○水道施設の耐震化 126,329千円

与一取水場取水井接続部耐震化工事、谷津山配水池耐震補強工事ほか



耐震性貯水槽の設置

下水道 浸水対策<3次総重点プロジェクト> 3,419,581千円

○高橋二・三丁目、飯田町地区 1,139,000千円
(高橋雨水ポンプ場整備)

○川岸町・渋川地区 674,000千円
(巴川右岸雨水2-1号幹線、渋川雨水ポンプ場整備)

予定整備延長622m



高橋雨水ポンプ場 完成イメージ図

重要な管・施設の地震対策 1,414,849千円

緊急搬送路下や防災拠点と浄化センターを接続する重要な管について、管の内面を補強する管更生工等により耐震化を行う。

○城北処理区（葵区大岩町外） 121,000千円

○中島処理区（駿河区曲金六丁目外） 103,000千円

予定整備延長5,050m



内面を補強した後の下水道管

政策2 管・施設を効率的に運用する。

水道 管・施設の老朽化対策 4,506,604千円

- 水道管の更新 3,009,315千円
葵区豊地、駿河区登呂四丁目、清水区草薙ほか 予定整備延長19,313m
- 水道施設の更新 1,497,289千円
城内配水場電気設備更新工事、清水谷津浄水場脱水機棟建築工事ほか



老朽化した水道管



老朽化した水道管から漏水

下水道 管・施設の老朽化対策 4,335,725千円

経年劣化が原因で起こる重大な道路陥没事故や施設の処理機能の低下を未然に防ぐ。

- 南部処理区（清水区築地町外） 515,000千円
- 城北浄化センター（受変電設備改築 外） 590,880千円
- 中島浄化センター（水処理設備改築 外） 556,630千円 予定整備延長5,050m

政策3 環境への負荷を軽減する。

下水道 水環境の保護・改善 1,708,795千円

下水道の未普及解消のため、下水道事業計画区域内の整備を実施する。

- 中島処理区（服織、西豊田、大谷地区） 665,400千円
- 北部処理区（西久保地区） 125,800千円
- 静清処理区（興津、馬走、飯田地区） 103,000千円
- 下水道区域内整備率(見込み) 92.4% 予定整備延長5,977m



下水道管の整備

政策4 お客さまサービスを向上させる。

水道 安全でおいしい水の安定的な供給

- 水道管、水道施設の整備・充実 445,454千円
- 鉛製給水管の更新 220,001千円

水道・下水道 接客窓口サービスなどの充実

- 営業関連包括業務委託 357,339千円



水道管の布設

政策5 信頼される経営を確立する。

水道 財政の健全化 水道料金の改定（平均改定率 14.8%）

老朽化した水道管や水道施設の更新や耐震化を積極的に実施し、水道基盤の強化を図るため、水道料金の改定を予定。（改定案を議会に上程）



●現状

水道管の取り替えに**200年**
総延長2,600km 管路更新率0.5%

水道施設の耐震不足・老朽化
全 214 施設のうち 重要な**22**施設

●目指す姿（令和2～5年度）

水道管の取り替えを**83年**にし
総延長2,600km 管路更新率1.2%

重要な 22 施設のうち
3施設の耐震化・更新完了

※目指す姿に向けて更新等のペースを上げていくと、現行の水道料金では4年間で52億円不足。
52億円の確保 = 14.8%の改定

(千円)

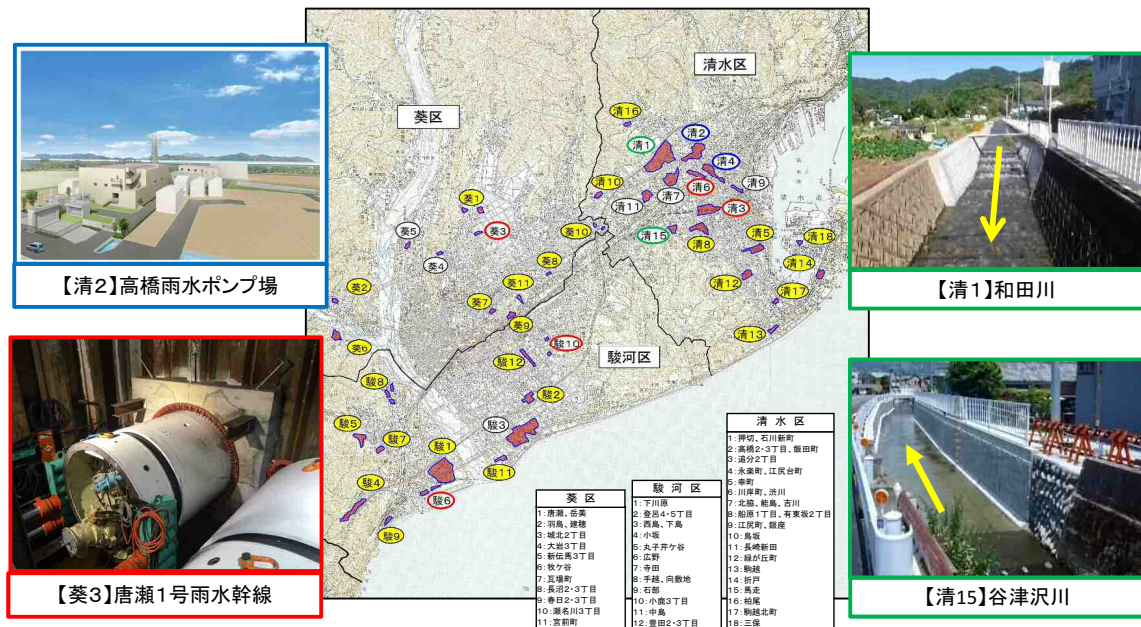
	事業費	特定財源			一般財源、 損益勘定 留保資金
		国・県支出金 (5.5/10、1/2)	市債、企業債	その他	
当初予算額	3,509,581	1,132,380	2,244,780		132,421
前年度予算額	4,615,285	1,410,000	3,105,500		99,785

目的
ゲリラ豪雨や台風に強いまちを実現し、市民の大切な生命と財産を守る。



事業概要	事業内容	概算
1 河川事業	浸水対策推進プランに基づく河川改修事業の実施	90,000千円
	・谷津沢川改修(清15 馬走地区) ・和田川改修(清1 押切、石川新町地区)	
2 下水道事業	雨水ポンプ場、雨水幹線などの整備	3,419,581千円
	・高橋雨水ポンプ場建設(清2 高橋二丁目、飯田町地区)ほか ・唐瀬1号雨水幹線築造工事(葵3 城北二丁目地区)ほか	

【浸水対策推進プラン 事業実施予定箇所図】



令和2年度実施予定箇所 (河川: 2地区、下水: 7地区)

○ : 河川改修工事 (2地区)

○ : 雨水ポンプ場整備 (2地区)

○ : 雨水幹線等整備 (5地区)

○ : 完了地区 (H30末 23地区、R1見込み 2地区)

(千円)

	事業費	特定財源			損益勘定 留保資金等
		国・県支出金 (1/3)	企業債	その他	
当初予算額	3,715,445	19,000	1,668,000	290,898	1,737,547
前年度予算額	2,067,717	87,116	947,000	200,229	833,372

目的
安全でおいしい水を届け続けるために、老朽化した水道管の更新や耐震化対策を積極的に実施し、水道基盤の強化を図る。



事業概要	内容	金額
	1 水道管の耐震化 基幹管路（重要な水道管）の耐震化 ・ 葵区大岩町・大岩一丁目配水管布設替工事 ・ 清水区興津本町・興津中町配水本管布設替工事	706,130千円
	2 水道管の更新 老朽化した水道管の更新 ・ 葵区豊地配水管布設替工事 ・ 駿河区登呂四丁目外配水管布設替工事 ・ 清水区草薙送水管及び配水管布設替工事	3,009,315千円

●現状

水道管の取り替えに**200年**
総延長2,600km 管路更新率0.5% 13.0km/年



漏水多発、水がにごる
水道崩壊のおそれ



老朽化した水道管



老朽化した水道管から漏水

●目指す姿（令和2～5年度までの4年間）

水道管の取り替えを**83年**に
総延長2,600km 管路更新率1.2% 31.0km/年



持続可能な水道事業の実現



教育委員会事務局

教 育 局

教育局 当初予算のポイント

令和4年度（2022年度）の目指すべき姿

～たくましく しなやかな子どもたちを育成～

人口減少社会の到来、グローバル化のさらなる進展など、社会変化が激しい中においても、常に夢と希望を持ち、自らの未来を切り拓いていける『たくましく しなやかな子どもたち』を育成する。

令和2年度の主な取組

【予算の特徴】

- 新学習指導要領の施行、不登校対策、特別支援教育の充実などに対応するための体制を整備(35人学級の完全実施、市独自の特別支援学級の教員加配、日本語指導体制の充実)
- 2月補正予算(学校のICT化の強力な推進)と相まって、トイレリフレッシュ事業の加速化、学校の大規模改修の計画的な実施など、学校施設の現代化を推進

I きめ細やかな教育を推進 327,076千円（174,161千円）

1 一人ひとりに応じた適切な教育支援 120,000千円（新規）

① [新規] 静岡市型35人学級編制の完全実施

市内のどの小・中学校に通っても1クラス35人以下の体制を確立し、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導体制を実現

<モデル事業の効果>

- モデル校では、算数のテストの平均点が10点以上上昇
- すべての子どもが「先生の目が行き届いていると感じる」と回答

2 特別支援教育の推進 198,330千円(167,563千円)

① [新規] 自閉症・情緒障害学級の学習指導の充実

市独自で、7人以上で4学年以上の複数学年が在籍している自閉症・情緒障害学級のスポット校に教員を追加で配置し、充実した学習指導を行う。(R2:4校)

② [拡充] 特別支援教育支援員の配置(R1:209人→R2:219人)



自閉症・情緒障害学級の学習の様子

3 外国人児童生徒の支援体制の充実 8,746千円(6,598千円)

① [拡充] 外国人児童生徒支援加配教員の増員、日本語訪問指導員の増員

日本語指導教室における子どもの日本語の力に応じた学習指導や生活指導体制を充実（外国人児童生徒支援加配教員 R1:2人→R2:3人）日本の学校生活や文化に早くなじめるよう初期段階の日本語指導に力を入れて取り組む。(日本語訪問指導員 R1:15人→R2:20人)



II 安心・安全で快適な教育環境の実現 1,402,100千円（1,133,600千円）

1 小中学校校舎の老朽化対策 730,100千円(777,100千円)

① [継続] 小中学校校舎大規模改修事業

2 小中学校校舎のトイレリフレッシュ 672,000千円(356,500千円)

① [継続] 小中学校校舎トイレリフレッシュ事業

令和元年度補正予算計上分と合わせて、46校で実施
洋式化率60%達成予定



トイレ改修例

Ⅲ 静岡型小中一貫教育の推進 290,352千円(247,868千円)

9年間の一貫した学びを通して「つながる力」を育てるとともに、静岡ならではの特色ある学習に取り組むことにより、地域社会や世界で活躍する子どもを育成する。

1 令和4年度全市一斉静岡型小中一貫教育スタートに向けた取組 40,852千円(893千円)

- ① [継続] 第Ⅱ期実践研究グループ校の実践研究スタート
- ② [新規] 両河内地区小中一貫校化に伴う小学校の新校舎の設計

2 英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト 249,500千円(246,975千円)

- ① [拡充] 英語が堪能な地域人材GETの活用
小学校5、6年生の外国語科授業年間70時間のうち、
1学級当たり R1:年17時間 → R2:年23時間 GETを配置
- ② [継続] 英語検定受験補助
- ③ [継続] イングリッシュキャンプ、カフェ、デイの実施

<本市の英語教育の実績>

- R1全国学力学習状況調査
中3英語
平均正答率 59%
(政令指定都市 3位)
- 英語の勉強が好きと回答
した生徒の割合 58.5%
(全国平均 56%)

3 しずおか学

- ① [継続] しずおか学副読本の活用

Ⅳ 切れ目のない支援 547,876千円(522,474千円)

1 総合的な不登校対策の推進 12,680千円(7,710千円)

- ① [拡充] 訪問教育相談員の配置
訪問教育相談員を増員し、不登校児童生徒の家庭への訪問
及び面談等を通じて孤立感を解消し、その子に合った支援に
マッチングする。(R1:3人→R2:6人)
- ② [継続] 不登校対応研修の実施



<SWsの取組実績>

- 関係機関へ繋いだ件数
1,277件 (R1.12月末)

2 子どもの貧困対策 535,196千円(514,764千円)

- ① [継続] 小中学校、高校へSSWr、SCの配置
- ② [継続] 育英奨学金【貸与型】、篤志奨学金【給付型】
- ③ [継続] 就学援助制度

Ⅴ その他 544,612千円(518,607千円)

1 日本一おいしい学校給食の提供 85,712千円(91,566千円)

- ① [継続] わくわく給食プロジェクト
静岡の自慢のブランド食材を使った特別な
給食を提供(年6回)
- ② [継続] 「全国学校給食甲子園」への挑戦



- (令和元年9月)
- ・ツナのオリーブオイル漬
を使った手巻き寿司
 - ・あべかわもち

2 自然の家の活用推進 2,400千円(401,141千円)

- ① [継続] 南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家
リニューアルオープン
井川本村までのトレイルランニングコースやテラス付宿泊室
の本格供用開始



井川de望月将悟さんとトレイルランニング

3 市立図書館整備事業 456,500千円(25,900千円)

- ① [継続] 中央図書館大規模改修
施設の長寿命化、空調やトイレなどの設備改修に加え、城北公園を見ながら読書ができる
閲覧席を増設するなど内装のリニューアルを行い、読書環境の改善を図る。なお、工事期
間中も中央図書館の場所で本の貸出等に対応するため、臨時窓口を開設する。

【新規】

静岡市型35人学級編制の完全実施（下限撤廃）

教職員課

（千円）

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	120,000				120,000
前年度予算額					

目的	市立小中学校の全ての学年で35人学級を編成し、教員が子どもたちに目の届きやすい教育環境を保障し、子どもたち一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな指導体制を実現する。
----	--



事業概要	<p>静岡市型35人学級編制は、下限が25人と設定されているため、実際には36人以上学級が存在していた。 令和2年度から、下限を撤廃して追加教員を配置し、静岡市型35人学級編制を完全実施する。</p> <p>＜令和2年度に36人以上学級を有する小中学校＞ 小学校16校18学級、中学校5校6学級、計24学級 ※R1.5.1推計</p>			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【現状】</th> <th>【令和2年度～】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 小1～小2：35人学級 小3～中3：条件付き35人学級※ ※25人未満の学級を作らない ※1学年の人数が36～40人と71～74人の場合に、36人以上学級が存在する </td> <td> 小1～中3：35人学級 36人以上の場合、少人数学級と少人数指導を学校の実情に応じて選択 </td> </tr> </tbody> </table> <p>＜期待される効果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学力の向上 平成29年度の実証研究校では、算数のテストの平均点が10点以上上昇 ○不登校や特別な教育的支援を要する児童生徒への支援が充実 研究校では、不登校傾向の子どもが元気に登校するようになった事例や、特別な支援を要する子どもの事情に寄り添った対応が確認された ○「課題を解決する能力」の育成 子どもの学習への意欲や世の中への関心を引き出す授業の充実 <p>➡ 新しい学力観に沿った深い学びの実現と子どもが抱える現代的な教育課題の改善</p>	【現状】	【令和2年度～】	小1～小2：35人学級 小3～中3：条件付き35人学級※ ※25人未満の学級を作らない ※1学年の人数が36～40人と71～74人の場合に、36人以上学級が存在する
【現状】	【令和2年度～】			
小1～小2：35人学級 小3～中3：条件付き35人学級※ ※25人未満の学級を作らない ※1学年の人数が36～40人と71～74人の場合に、36人以上学級が存在する	小1～中3：35人学級 36人以上の場合、少人数学級と少人数指導を学校の実情に応じて選択			



40人学級の授業の様子



18人学級の授業の様子

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	198,330	2,327		53	193,527
前年度予算額	167,563	2,149		8	165,406

目的	特別な支援を必要とする子ども一人一人のもつ可能性を最大限に伸ばすために、適切な教育環境の整備を行う。
----	--

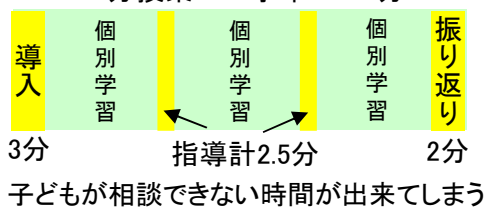


事業概要	<p>誰一人取り残さない特別支援教育を目指した取組を推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 自閉症・情緒障害学級の学習指導の充実 新規 17,090千円 自閉症・情緒障害学級は、異学年でも8人まで同じ学級に編成され、教員が複数学年を同時に指導するため、1人の子どもが教員から学習指導を受ける時間が十分でない。 令和2年度から、市独自に7人以上かつ4学年以上の複数学年が在籍する対象校に教員を追加配置することで、学習指導体制を充実させる試行事業を実施 特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制づくり ユニバーサルデザイン化されたわかりやすい授業の工夫や合理的配慮の提供を各校で普及するとともに、コーディネーター専任化に向けた取組を実施 特別支援教育支援員の配置 165,694千円 学級の中で、落ち着かない子どもや活動に遅れがちな子どもが学校で安心して学べるために、小・中学校に219人を配置 小中学校看護師の配置 3,540千円 学校における医療的ケアを実施するために看護師を配置
------	---

【現在】



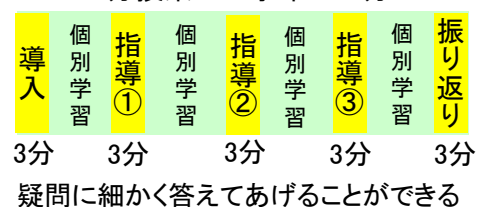
1学年あたりの指導時間
45分授業 ÷ 6学年 = 7.5分



【今後】



1学年あたりの指導時間
45分授業 ÷ 3学年 = 15分



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3、1/4)	市債	その他	
当初予算額	1,402,100	309,482	788,400		304,218
前年度予算額	1,133,600	247,413	504,600		381,587

目的
静岡市アセットマネジメント基本方針に基づき、児童・生徒が安心・安全に教育を受けられる環境整備と、地域住民の避難所としての機能を確保するため、小中学校校舎の老朽化対策とあわせ耐震性能を向上させる大規模改修工事とトイレフレッシュ工事を計画的に進める。



事業概要

1 小中学校校舎大規模改修事業
建築後概ね35～45年を経過した小中学校の校舎を対象に、老朽化対策と耐震性能を向上させる大規模改修を実施
○工事等 730,100千円
(小学校)校舎 清水入江小学校等 合計3校

2 小中学校校舎トイレフレッシュ事業
小中学校のトイレについて、和便器から洋便器への更新、床のドライ化、ブース改修等のリフレッシュ事業を実施
○設計 54,200千円
(小学校) 大河内小学校等 計7校
(中学校) 竜爪中学校等 計6校 合計13校
○工事等 617,800千円
(小学校) 大河内小学校等 計7校
(中学校) 竜爪中学校等 計6校 合計13校

【参考】
元年度11月補正工事 小学校 5校 中学校 3校 計 8校
2月補正工事 小学校 15校 中学校 10校 計 25校

～洋式化率の推移と令和2年度末目標（洋式化率50%）～
H27末 → H28末 → H29末 → H30末 → R1末 → R2末
39.2% 41.9% 43.7% 46.8% 50.2% 60.4%

2.7%UP 1.8%UP 3.1%UP 3.4%UP 10.2%UP

46校工事実施予定
前倒しにより洋式化加速（1年前倒しで目標達成）



トイレ改修前(例)



トイレ改修後(例)

トイレフレッシュ事業

- ・便器の洋式化
- ・床のドライ化
- ・トイレブース改修
- ・内装の改修（床・壁）
- ・給排水設備の改修
- ・電気設備の改修
- ・衛生配管の改修 など

【拡充】

英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト
(グローバル人材の育成)

学校教育課
教育センター

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金 (1/3)	市債	その他	
当初予算額	249,500	23,596		16,303	209,601
前年度予算額	246,975	22,615		16,243	208,117

目的	小中学校の9年間を通じた静岡型小中一貫教育の中で、異なる文化の人々と自信を持ってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情を持ちながら国際的に活躍できるグローバルな子どもたちを育てる。
----	---



事業概要	静岡市英語教育推進指針に沿った取組を推進
	1 英語が堪能な地域人材「GET」の活用 拡充 19,051千円 英語が堪能な地域人材をGlocal English Teacher=GETとして各小学校へ配置し、担任・ALTと共に英語の授業を実施 【配置授業時数】小学校5、6年生の外国語科授業年70時間のうち1学級当たり R1年17時間→R2年23時間 【資格要件】静岡市在住で、海外生活経験のある方、英検準1級相当以上の英語力を有する方など
	2 英語検定受験補助の実施 1,200千円 市立中学校の3年生の希望者を対象に、英語検定3級以上の検定料のうち1,000円を補助
	3 授業以外でも英語に接する機会の提供 240千円 ALTと英語だけで活動するイングリッシュキャンプや、放課後にALTと気軽に英会話を楽しむイングリッシュカフェなどの実施
	4 教員の英語力の向上 1,395千円 海外派遣研修など、教員の英語力を高める研修を充実
★グローバル人材：グローバル(Glocal)とはグローバル(Global)とローカル(local)からの造語で、グローバル人材とは『世界的な規模で考えて、身近なところから行動できる(Think globally, act locally)』人材	



担任と地域人材GETによる授業の様子

<本市の英語教育の実績>

- R1全国学力学習状況調査
中3英語 平均正答率 59%
(政令指定都市 3位)
- 英語の勉強が好きと回答した生徒の割合 58.5%
(全国平均 56%)

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	12,680				12,680
前年度予算額	7,710			960	6,750

目的	不登校児童生徒が増加傾向にある中で、学校の息苦しさの低減、学校が苦手な子との絆の醸成と学習機会の確保を図り、「どの子も置き去りにしないアウトリーチ型支援（積極的に出向き、働きかける支援）体制」の構築を進める。
----	--



事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 訪問教育相談員の配置 拡充 12,680千円 不登校児童生徒の家庭を訪問して、子どもや保護者の孤立感を解消し、変化の兆しがあったときに、適応指導教室や学校など、その子のニーズに合った支援にマッチングする 令和2年度 6人配置（3人増） 不登校対応研修の実施 全教員が不登校対応振り返りシートの結果に基づき、必要な研修を受講することで、教職員の不登校児童生徒への理解対応力を更に向上 相談室（別室指導）教育の充実 誰もが充実した別室指導を受けられるよう、先行的な別室指導体制の研究、市内学校への水平展開
------	---

【令和元年度 訪問教育相談員の成果】

面会が困難な児童生徒50人を延べ404回訪問し、307回の面会実現（R1.12月末現在）

（大きく改善につながったケース）

ケース1

1年以上登校していなかった子どもが保護者と共に登校を再開し、週に1、2回程度通学を開始

ケース2

不登校の中学3年生が、高校進学希望を持つようになり、12月から毎日別室登校するようになった



【不登校対応研修の取組状況】

令和元年12月に研修システムが完成し、令和2年2月全教員を対象に研修を実施した。自身の対応の傾向を振り返り、必要な研修を受講して今後の支援に生かしていく。



(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	71,832			32,933	38,899
前年度予算額	65,076			35,274	29,802

目的	高校、短大(専修学校を含む)、大学及び大学院等に入学又は在学する学生等に学資を貸与して、市の発展に資する優秀な人材を育成する。また、卒業後に静岡市で定住を考えている学生に対する返還免除制度により、移住・定住を促進する。
----	---



事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○対象者 保護者が市内に住所を有し、市内外問わず高校、短大、大学及び大学院等に入学又は在学する学生等 ○貸与額 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生 月額8千円 ・短大生 月額1万5千円 ・大学生等 月額2万円 ○返還免除制度 大学等卒業後に静岡市に居住するなど一定の条件を満たした場合、返還額の最大1/2を免除 ○併給可能制度 静岡市の篤志奨学金(給付型奨学金)をはじめとするほかの奨学金との併給が可能 ○予約採用制度 高校や大学等への進学を安心して準備できるように、進学前に採用を内定(募集期間 7月~10月、内定決定 12月)
------	---

無利子、最高2分の1の返還免除

静岡市育英奨学金は、卒業後「静岡市」で定住を考えている皆さんを応援します。

他の奨学金との併給が可能です。
安心して、進学の準備をしていただくために、**予約採用制度**を用意しました。
篤志奨学金【給付型】もあります。



<制度の利用実績>

- 返還免除制度
申請者数
H29~R1計：26人
- 予約採用制度
利用者数
R1：27人

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	85,712				85,712
前年度予算額	91,566				91,566

目的 給食がおいしく楽しい時間となるよう静岡の自慢のブランド食材を使った特別な給食を提供したり、学校や家庭での食育の推進を図ることにより、給食を通じて静岡への愛着と誇りをもつ子どもたちを育成する。



事業概要	
1 わくわく給食プロジェクト	85,588千円
保護者負担の給食費に、1食あたり300円程度の食材料費を加えた特別献立を提供	
・回数 年6回	
・対象 全市立小中学校	
2 「全国学校給食甲子園」への挑戦	124千円
・地場産物を活用した「静岡ならではの献立」を研究し、「全国学校給食甲子園」へ応募	
・献立の比較研究を行い、献立内容の充実を図る。	

令和元年度 提供献立

7月



- ・ウナギを使った献立 (うなたまちらし)
- ・煎茶餡入りクリーム大福

子どもたちの声

- ・静岡県産のうなぎ、貴重だ！
- ・うなぎが柔らかくておいしい！
- ・煎茶の餡がおいしい！

11月



- ・釜揚げシラス
- ・静岡おでん
- ・緑茶

- ・しらすを久しぶりに食べた！
- ・牛すじが入っていて最高！
- ・普段飲んでいるお茶より、濃くておいしい！

12月



- ・静岡産のローストチキン
- ・静岡産いちごケーキ

- ・チキンがいつもより大きくてジューシーで給食とは思えない！
- ・やっぱりケーキがあると嬉しい！

(千円)

	事業費	特定財源			一般財源
		国・県支出金	市債	その他	
当初予算額	80,984			6	80,978
前年度予算額	64,510			7	64,503

目的

新学習指導要領実施にあたり、学校図書館へのアドバイス体制を強化するなど学校図書館の充実を図り、論理的思考力などの「生きる力」を身に付けた子どもたちの育成を目指す。

事業概要

- 1 学校図書館支援室の組織化 **拡充**
専任の室長を配置して学校図書館支援室の体制強化を図り、学校長への指導（読解力向上策等）を含めた学校訪問により、市内学校図書館の平準化・高度化を進める。
- 2 学校司書の勤務時間拡大 **拡充** 77,915千円
学校司書の勤務時間を授業時間に対応して4時間から5時間へ延長することで、子どもがレファレンスや学習支援を受ける機会を増やして学習意欲の向上に繋げたり、授業における学校図書館の活用を促進して高度な教育を提供する。
- 3 学校司書の研修充実 **拡充** 867千円
学校司書の資質向上と授業支援力を磨くため、専門性を高める研修を2回から4回に増やす。
- 4 学校司書兼務校への対応 2,202千円
引き続き21校を月に1回訪問して環境整備を進め、レファレンスや授業支援を行うことで、子どもが気軽に立ち寄れる学校図書館をつくる。

【令和元年度の学校図書館支援室の取組】

学校図書館支援室を軌道にのせ、学校図書館の授業活用のための準備を行った。

- ・学校図書館活用ガイドラインの作成
- ・指導主事による学校訪問（125校）
- ・学校図書館研修会2回実施



研修を生かした本の展示

【学校司書兼務校（昨年まで学校司書未配置であった学校）への対応】（R1.12月末現在）

学校司書兼支援員が、21校を月に1回 計189回訪問

（学校図書館や子どもの変容）

- ・全ての学校司書兼務校で貸出冊数や授業利用回数が増加（例：玉川中の貸出冊数（H30：32冊 → R1：137冊））
- ・子どもや教職員から「読み聞かせをしてほしい」や「市立図書館から授業に必要な本を借りてきてほしい」などのニーズが生まれた。



学校司書の授業支援の様子